

目 次

【前期】

【区分】

科目番号

時	間			割							
ス	ポ	一	ツ	I	【実習】	OD011022	・	・	1		
知	的	技	法	I	【講義】	OD011016	・	・	3		
情	報	処	理	実	習	I	【実習】	OD011014	・	5	
基	礎		数	学	【講義】	OD011001	・	・	8		
細	胞	生	物	学	I	【講義】	OD011019	・	10		
基	礎		化	学	【講義】	OD011025	・	・	13		
基	礎	物	理	学	【講義】	OD011003	・	・	17		
現	代	文	明	論	【講義】	OD011002	・	・	20		
Scientific English				I	【講義】	OD011005	・	・	22		
解	剖	学	総	論	【講義】	OD011103	・	・	24		
医	療		工	学	【講義】	OD011101	・	・	26		
キャリアデザイン／地域医療					【演習】	OD011202	・	・	28		
医	・	口	腔	医	学	概	論	【演習】	OD011301	・	31
哲				学	【講義】	OD012001	・	・	33		
倫	理	学	入	門	【講義】	OD012002	・	・	35		
ライフコースの社会学					【講義】	OD072008	・	・	37		
比	較	文	化	論	【講義】	OD072011	・	・	39		
福博の歴史と文化探訪					【講義】	OD072012	・	・	41		

【後期】

時	間			割					
ス	ポ	一	ツ	Ⅱ	【実習】	OD011023	・	・	43
知	的	技	法	Ⅱ	【講義】	OD011017	・	・	45
経		済		学	【講義】	OD011010	・	・	47
人	文		科	学	【講義】	OD011026	・	・	48
異	文	化	理	解	【講義】	OD011024	・	・	50
communication training					【演習】	OD011021	・	・	52
課	題	解	決	演	Ⅰ	【演習】	OD011018	・	54
情	報	処	理	実	Ⅱ	【実習】	OD011015	・	56
基	本	操	作	法	実	【実習】	OD011009	・	59

	【区分】	科目番号	
一 般 数 学	【講義】	OD011004	・ ・ ・ ・ ・ 61
細 胞 生 物 学 II	【講義】	OD011020	・ ・ ・ ・ ・ 63
細 胞 化 学	【講義】	OD011011	・ ・ ・ ・ ・ 66
Practical English I	【講義】	OD011007	・ ・ ・ ・ ・ 70
系 統 解 剖 学 I	【講義】	OD011104	・ ・ ・ ・ ・ 72
生 理 学 I	【講義】	OD011105	・ ・ ・ ・ ・ 74
歯 科 理 工 学 I	【講義】	OD011106	・ ・ ・ ・ ・ 76
介 護 施 設 体 験 実 習	【実習】	OD011201	・ ・ ・ ・ ・ 79
ド イ ツ 語 I	【講義】	OD012005	・ ・ ・ ・ ・ 82
中 国 語 I	【講義】	OD012006	・ ・ ・ ・ ・ 84
論 理 学 ・ 日 本 語 表 現 法	【講義】	OD012003	・ ・ ・ ・ ・ 86
心 理 学 入 門	【講義】	OD012004	・ ・ ・ ・ ・ 88

前 期

スポーツⅠ 【実習】

科目番号 OD011022

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口 奈央

担当教員：町田由紀子、橋本 聖子

（一般目標）

スポーツをととして健康管理の方法としてスポーツの基礎技術や戦術について体験的に学修し、体力を向上させると同時に、スポーツを楽しむ態度を養う。また練習やゲーム等をととして心理社会的スキル（目標設定スキルやコミュニケーションスキルなど）について理解し、改善・向上させる。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-4, II-3, II-4

（教育方法）

実習

（実習・演習）

（学習方法）

予習の項目の記載事項を参照すること 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

授業参加態度（50%）服装違反 減点 1 実技試験および授業中の提出物（50%）
評価後、評価結果を呈示する。

（教科書）

特になし

（参考書）

種目のルール等のプリント配布

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/13	町田由紀子、橋本聖子	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・オリエンテーション ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	シラバスを確認する。	1.0
2	4/13	町田由紀子、橋本聖子	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	[2回] 体調管理について考え実践する。 [3回] 基礎知識を理解する。	2] 1.0 3] 1.0
4	4/20	町田由紀子、橋本聖子	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・スポーツ種目の基礎技能を習得する	挨拶をする。 時間を守る。 お互いにコミュニケーションをとる。 積極的に取り組む。	II-3 I-4 II-4 I-4	[4回] 基礎技術を理解する。 [5回] 基礎技能の復習をする。	4] 1.0 5] 1.0
5	4/27	町田由紀子、橋本聖子	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・スポーツ種目の基礎技能を習得する	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	[6回] 戦術を理解をする。 [7回] 戦術を理解をする。 [8回] 戦術を理解をする。	6] 1.0 7] 1.0 8] 1.0
6	4/27	町田由紀子、橋本聖子	ユニット2 スポーツ種目の基礎技術（戦術）	・スポーツ種目の基礎技能（戦術）を習得する	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	[6回] 戦術を理解をする。 [7回] 戦術を理解をする。 [8回] 戦術を理解をする。	6] 1.0 7] 1.0 8] 1.0
7	5/7	町田由紀子、橋本聖子	ユニット2 スポーツ種目の基礎技術（戦術）	・スポーツ種目の基礎技能（戦術）を習得する	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	[6回] 戦術を理解をする。 [7回] 戦術を理解をする。 [8回] 戦術を理解をする。	6] 1.0 7] 1.0 8] 1.0
8	5/11	町田由紀子、橋本聖子	ユニット2 スポーツ種目の基礎技術（戦術）	・スポーツ種目の基礎技能（戦術）を習得する	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	[6回] 戦術を理解をする。 [7回] 戦術を理解をする。 [8回] 戦術を理解をする。	6] 1.0 7] 1.0 8] 1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
9	5/18	町田由紀子、橋本聖子	ユニット3 スポーツ種目の基礎知識・基礎技能 （ニュースポーツ①）	・スポーツ種目の基礎知識・基礎技術を理解する ・チームワークを高める	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	基礎知識・基礎技術を理解をする。	1.0
10	5/25	町田由紀子、橋本聖子	ユニット3 スポーツ種目の基礎知識・基礎技能 （ニュースポーツ②）	・スポーツ種目の基礎知識・基礎技術を理解する ・チームワークを高める	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	基礎知識・基礎技術を理解をする。	1.0
11	6/1	町田由紀子、橋本聖子	ユニット4 スポーツ種目の応用知識・応用技能	・ゲームによる総合技能の習得（動きと戦術）	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 I-4 II-4 II-4	応用技術の復習をする。	1.0
12	6/8	町田由紀子、橋本聖子	ユニット4 スポーツ種目の応用知識・応用技能	・ゲームによる総合技能の習得（動きと戦術・ルールと審判の実践）	挨拶をする。	II-3	[12回] 応用技術の復習をする。 審判の基礎知識を理解する。	[12] 1.0
13	6/15				時間を守る。	I-4	[13回] 審判の基礎知識を理解する。 前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	[13] 1.0
14	6/22				他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-4 II-3	[14回] 審判の基礎知識を理解する。 前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	[14] 1.0
15	6/29	町田由紀子、田橋本聖子	ユニット5 活動のまとめ	・スポーツ全般の知識と技術	挨拶をする。 時間を守る。 他者と協力して目的達成に寄与する。 自身の身体の機能について理解する。	II-3 I-4 II-4 II-4	スポーツ全般の知識と技術を理解する	1.0

知的技法Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011016

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、永嶋哲也

担当教員：松井貴英、住吉燦史郎、宮内孝啓

（一般目標）

大学では専門知識だけでなく、現代社会の様々な問題に対応するための「教養」を身につけることが求められる。この教養を獲得するための手法が「知的技法（アカデミック・スキルズ）」と呼ばれるものである。本講義ではノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方（クリティカル・リーディング）等の知的技法を学ぶことにより、研究成果をまとめて発表することができるようになることを目指す。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-7, I-8, I-9, II-3

（教育方法）

講義。板書・スライド・配布資料を用いながら解説を行う。また、適宜グループ・ワークを課す。

（グループワーク）（プレゼンテーション）

（学習方法）

授業に集中すること。また、毎回の授業へのリアクション・ペーパーを授業終了後に提出すること。（リアクション・ペーパーの提出がなければ出席とみなさない）【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

平常点（授業への参加状況、授業内で課されるワークへの取り組みの状況およびその成果等、これらをもとに総合的に評価する）30%
学期末のレポート提出70%
掲示により成績通知を行う。

（教科書）

指定しない。適宜、講義内容のレジュメ等を配布する。

（参考書）

佐藤望編集（2012）『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』第2版、東京、慶應義塾大学出版会。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/20	松井、住吉、宮内	ユニット1 イントロダクション	「知」と「教養」について理解する	高校までの勉強と大学での勉強の相違点を説明する	I-9	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
2	4/27	松井、住吉、宮内	ユニット1 イントロダクション	問の重要性とその立て方を理解する	一般的な問いと学術的問いの違いを説明する。また、問いを実際に立ててみる。	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
3	4/27	松井、住吉、宮内	ユニット2 ノートの取り方	大学の講義の特徴とノート・テイキングの重要性を理解する	授業や教員ごとのノート・テイキングの方法を説明する	I-7	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
4	5/11	松井、住吉、宮内	ユニット2 ノートの取り方	ノート・テイキングの具体的方法を理解する	アカデミックなノート・テイキングを実際に行うことができるようになる	I-7	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
5	5/18	松井、住吉、宮内	ユニット3 情報収集の方法	文書資料の種類・特徴・利用法を理解する	アカデミックな作業において重視されるべき情報を説明する	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
6	5/18	松井、住吉、宮内	ユニット3 情報収集の方法	資料検索の方法を理解する	資料を検索するステップを説明する	I-7	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
7	5/25	松井、住吉、宮内	ユニット4 講義前半部のまとめ	講義前半部で学んだことの全体像を理解する	知的技法の内実を説明する。与えられた問いの検証に対して見通しを立ててみる	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
8	5/25	松井、住吉、宮内	ユニット5 クリティカル・リーディング	本を読む際に必要な批判的・論理的思考の重要性を理解する	学問的な「批判」の意味を説明する	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
9	6/1	松井、住吉、宮内	ユニット5 クリティカル・リーディング	クリティカル・リーディングの具体的方法を理解する	クリティカル・リーディングを実践する	I-7	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
10	6/8	松井、住吉、宮内	ユニット6 研究発表の準備	研究のアウトプットの方法を理解する	自分自身が持っている問題意識に基づきつつ、かつ客観的な問いを立てる	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
11	6/15	松井、住吉、宮内	ユニット6 研究発表の準備	研究のアウトプットの方法を理解する	自分自身が持っている問題意識に基づきつつ、かつ客観的な問いを立てる	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
12	6/15	松井、住吉、宮内	ユニット7 研究成果作成に向けた取り組み	自分自身の問題意識に合致する文献を検索する	自分自身が立てた問いに関係する文献を探す方法を身につけ、実際に検索する	I-9	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
13	6/22	松井、住吉、宮内	ユニット8 プレゼンテーションの実践	検索し見つけた文献を読み進める	自分の問題意識に合致した文献を読み進め、自身の立てた問いに対する理解を深める	II-3	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
14 15	6/29 6/29	松井、住吉、宮内	ユニット8 プレゼンテーションの実践	レポートの作成に取り掛かる	構成を決める、文体を統一する、参照や引用の方法を学ぶといった、レポート作成に向けた方法を身につけ、それらを守りながらレポートの作成を進める	II-3	[14回] ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する [15回] ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	[14] 1.0 [15] 1.0

情報処理実習Ⅰ 【講義・実習】

科目番号 OD011014

前期：15コマ

評価責任者：内田竜司

担当教員：内田竜司

（一般目標）

本実習において、学生は多様な情報や知識を論理的に分析・考察する能力を獲得するために、情報リテラシーを向上させるとともに、パソコンの基本的な操作、Windows11の基本操作、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトの実践的利用法について修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

I-7, I-8, I-9, II-2, II-3, II-4

（教育方法）

スライドによる解説講義を踏まえた演習課題への取り組みを中心に、内容に応じてアクティブラーニング（ディスカッション、ディベート、グループワーク、問題解決学習、調査学習、等）や双方向学修形式の授業を行う。

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

講義中はデモ画面を注視すること。授業にはUSBメモリーを必ず持参し、授業で作成した提出課題のファイルを保存しておくこと。日頃、パソコンにできるだけふれること。本講義は1学年後期開講の「情報処理実習Ⅱ」の理解に必要である。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

〔形成的評価〕講義時間内で実施する確認テストにより講義内容の理解度を確認する。また、授業で提示する演習課題に取り組み、随時、指導する。

〔フィードバック〕講義時間内で実施する確認テストにより理解度を自己確認できる。また、演習課題については授業時間内に随時、指導するので自己評価し、修正する。

〔総括的評価〕講義時間内で実施する確認テストおよびメールに添付して提出する演習課題について、提出方法を含め評価し、集計後に成績判定を行う。

（教 科 書）

PDFファイル（Moodleにアクセスしてダウンロード）

（参 考 書）

なし。

必要に応じインターネット検索等を活用して、疑問点については自分で調べること。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	5/1	内田	パソコンの基本操作と学内情報システムの利用	パソコンの基本操作とともに、学内情報システムの概要を理解し、その利用法を習得する。	Windows11の基本操作ができる。 学内LAN上の学生メールシステムを利用できる。 パスワードの管理法を実践できる。 インターネットへの接続、e-mailへのファイル添付ができる。	I-7 I-7 I-7 I-7	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
2	5/8	内田	ハードウェアとソフトウェア	パソコン本体と周辺機器、ソフトウェアの概略を理解し、アプリケーションソフトを利用する。	ソフトウェアの役割を説明できる。 マウスを利用した図の描記方法について説明できる。 ファイルの保存について説明できる。 添付ファイルのある電子メールの送受信について説明できる。	I-7 I-7 I-7 I-7	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
3	5/8	内田	情報リテラシーに関する基礎知識	情報リテラシーに関する基礎知識とともに、インターネットを介した各種サービスの概要を理解する。 情報を適切に判断し、情報を通じて決定を下す能力を涵養する。	情報倫理について説明できる。 インターネットと、ネットワークを介したサービスについて説明できる。 インターネットの危険性について説明できる。 情報倫理に配慮したインターネットと、それを介したサービスの活用ができる。 インターネットの危険性に配慮したPCの活用ができる。	I-8 I-8 I-8 I-9 I-9	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
4	5/15	内田	情報の収集	情報検索方法を理解するとともに、検索により収集した情報を活用するためのプレゼンテーションソフトの基本的操作方法を習得する。	情報検索方法について説明できる。	I-7	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					検索エンジンの機能について説明できる。	I-7		
					検索エンジンを使って情報収集ができる。	I-8		
					検索エンジンの機能を利用できる。	I-8		
					収集した情報をプレゼンテーションソフトを使ってまとめることができる。	I-9		
5	5/15	内田	情報の収集と加工 I	著作権について理解するとともに、著作権に配慮した情報の活用方法を習得する。	著作権について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					著作権に配慮したインターネットを利用した情報収集について説明できる。	I-8		
					インターネットを利用して収集した情報を著作権に配慮して活用することができる。	I-9		
					インターネットを利用して収集した情報をプレゼンテーションソフトを使って編集できる。	I-9		
6	5/22	内田	情報の収集と加工 II	引用について理解するとともに、引用のルールを遵守した情報の活用方法を習得する。	引用について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					インターネットを利用した引用方法について説明できる。	I-8		
					文章や画像を引用できる。	I-9		
					インターネットを利用して収集した情報をワープロソフトやプレゼンテーションソフトを使って編集できる。	I-9		
7	5/22	内田	情報の形態 I	情報表現の基礎を理解し、情報の特性について考察する。	通信の歴史について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					2進数、16進数について説明できる。	I-8		
					文字情報について説明できる。	I-8		
					2進数、16進数について調べた情報を編集できる。	I-9		
					文字情報について調べた情報を編集できる。	I-9		
8	5/29	内田	情報の形態 II	情報表現の基礎を理解し、情報の特性について考察する。	音声情報について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					音声情報について調べた情報を編集できる。	I-9		
9	5/29	内田	情報の形態 III	情報の表現の基礎を理解し、情報の特性について考察する。	3 原色について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					画像データについて説明できる。	I-8		
					画像データの加工について説明できる。	I-8		
					3 原色について調べた情報を編集できる。	I-9		
					画像データについて調べた情報を編集できる。	I-9		
					画像データを加工できる。	I-9		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
10	6/5	内田	情報と問題解決	情報を活用するための基礎的な発想法を学ぶとともに、情報解決法の基礎を知る。	フローチャートを説明できる。 モデル化について説明できる。 シミュレーションについて説明できる。 フローチャートを作成できる。 モデル化とシミュレーションにコンピュータを活用できる。	I-8 I-8 I-8 I-9 I-9	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
11	6/5	内田	文書作成Ⅰ	ワープロソフトによる様々な文書作成の基礎について理解する。	ビジネス文書の作成について説明できる。 電子メール文書の作成について説明できる。 ビジネス文書を作成できる。 電子メール文書を作成できる。	I-8 I-8 I-9 I-9	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
12	6/12	内田	文書作成Ⅱ	ワープロソフトによる様々な文書作成の基礎について理解する。	履歴書の作成について説明できる。 送付状（添え状）の作成について説明できる。 履歴書を作成できる。 送付状（添え状）を作成できる。	I-8 I-8 I-9 I-9	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
13	6/12	内田	文書作成Ⅲ	ワープロソフトによる様々な文書作成の基礎について理解する。	歯科医師が作成する業務記録について説明できる。 リコール文書について説明できる。 業務記録を作成できる。 リコール文書を作成できる。	I-8 I-8 I-9 I-9	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
14	6/26	内田	正解のない問題	人により答えが違う問題に対し、それぞれが別解を導き出すプロセスについて理解する。	問題点を抽出し、言語化できる。 他者の意見を傾聴できる。 集団で問題を共通認識できる。 主体的に問題を解決するための行動を起こすことができる。 会議録を作成できる。	I-8 II-2 II-4 II-3 I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
15	7/1	内田	CBT、OSCE、CPX、CSX、歯科医師国家試験	CBT、OSCE、CPX、CSX、歯科医師国家試験について理解する。	各試験の情報を収集できる。 収集した情報をまとめることができる。 各試験の概要を説明できる。 プレゼン資料を作成することができる。	I-8 I-8 I-9 I-9	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0

基礎数学 【講義】

科目番号 OD011001

前期：15コマ

評価責任者：岡田彩子

担当教員：岡田彩子

（一般目標）

歯学領域の学習に必要な数学的基盤を形成し、歯科医師国家試験の計算問題に対応できる数学的素養を養うことを目的とする。数学に不安を持つ学生でも抵抗なく学び、その有用性を実感できるよう、計算の習熟から論理的な考え方まで段階的に習得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-7

（教育方法）

配布資料を利用した講義を中心に行う。

（学習方法）

講義で配布されるプリントをよく読み、実際に問題を解くようにしましょう。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評価）

定期試験で評価する。ただし定期試験で不合格の場合は、再試験を行う。
総合評価はポータルサイトに掲示する。

（教科書）

特になし

（参考書）

「ゼロからわかる歯科臨床論文を読み解く方法 Evidence-based dentistryの実践のために」 康永秀生 監修 新興医学出版社

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/14	岡田彩子	数学の役割	数学が歯科医学にどのように役立つかを理解する。	歯科医学に関連する数学的事例を説明できる。	I-7	数学の復習をする。	1.0
2	4/14	岡田彩子	数の体系	整数・有理数・無理数・実数の体系を理解する。	多項式の展開や因数分解を用いて式の簡略化ができる。	I-7	前回の復習をするとともに、数の体系について予習を行う。	1.0
3	4/21	岡田彩子	単位換算・濃度計算	比と割合の基本概念を理解し、単位換算や濃度計算を正しく行えるようにする。	単位を正しく換算し、濃度を計算できる。	I-7	前回の復習をするとともに、単位換算と濃度計算について予習を行う。	1.0
4	4/28	岡田彩子	因数分解・展開	因数分解と展開の公式を理解する。	二次方程式の解法に因数分解を活用できる。	I-7	前回の復習をするとともに、因数分解と展開について予習を行う。	1.0
5	5/12	岡田彩子	一次関数	一次関数の定義とグラフを理解する。	一次関数の式からグラフを描ける。	I-7	前回の復習をするとともに、一次関数について予習を行う。	1.0
6	5/12	岡田彩子	二次関数	二次関数の性質とグラフを理解する。	二次関数の解の公式を用いて解を求め、グラフを描ける。	I-7	前回の復習をするとともに、二次関数について予習を行う。	1.0
7	5/19	岡田彩子	複素数	虚数単位と二次方程式の拡張を理解する。	負の平方根を複素数で表現できる。	I-7	前回の復習をするとともに、複素数について予習を行う。	1.0
8	5/19	岡田彩子	不等式	一次・二次不等式の解法を理解する。	不等式をグラフで表し、解を説明できる。	I-7	前回の復習をするとともに、不等式について予習を行う。	1.0
9	5/26	岡田彩子	三角比	三角比の定義を理解する。	角度と辺の比を計算できる。	I-7	前回の復習をするとともに、三角比について予習を行う。	1.0
10	6/2	岡田彩子	ベクトル	ベクトルの定義と演算を理解する。	ベクトルを用いて方向や力を表現できる。	I-7	前回の復習をするとともに、ベクトルについて予習を行う。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
11	6/9	岡田彩子	指数	指数法則を理解する。	指数を含む式を正しく計算できる。	I-7	前回の復習をするとともに、指数について予習を行う。	1.0
12	6/16	岡田彩子	対数	対数の定義と性質を理解する。	pH計算などに対数を応用できる。	I-7	前回の復習をするとともに、対数について予習を行う。	1.0
13	6/16	岡田彩子	微分	微分の基本概念を理解する。	簡単な関数の微分を計算できる。	I-7	前回の復習をするとともに、微分について予習を行う。	1.0
14	6/23	岡田彩子	積分	積分の基本概念を理解する。	簡単な関数の積分を計算できる。	I-7	前回の復習をするとともに、積分について予習を行う。	1.0
15	6/23	岡田彩子	総まとめ	前期で学んだ数学の基礎を整理する。	歯学部で必要な数学を説明できる。	I-7	これまでの復習を行う	1.0

細胞生物学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011019

前期：30コマ

評価責任者：日高真純

担当教員：日高真純
藤兼亮輔

（一般目標）

生体は、それを構成する細胞から器官系統のレベルに至るまで、互いに情報を伝達し合うことにより統一され、個体としての機能を発揮している。本授業では生体の構成単位である細胞の概念、細胞及び細胞小器官の構造と機能、細胞を構成する成分の構造と機能、エネルギーの獲得、情報伝達などについて学習し、生命現象の基礎を理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-1

（教育方法）

教科書に基づいた板書、資料プリント、及びプロジェクター等を用いた解説、レポート作成、および演習問題（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

授業前に下記の「予習の項目」の該当箇所を読んで講義内容の全体像をつかむこと。また、授業後には該当箇所の図を説明できるように復習すること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 30.0 時間】

（評 価）

中間試験：40%、定期試験：60%、講義態度（レポート提出状況、出席状況等）も考慮する。
中間試験後に解説を行う。すべての試験答案と評価を開示して質問を受け付ける。

（教 科 書）

B. Alberts他著、中村桂子他監訳「Essential 細胞生物学」第5版、南江堂、2021

（参 考 書）

和田 勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」、第4版、羊土社、2020
（生物を習ったことのない学生でもわかるように図を入れてやさしく解説してある）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/8	[1回] 日高	ユニット1 細胞とは	細胞の概要を知る。	生物に共通するしくみについて説明する。	Ⅲ-1	[1回] 教科書の1～38頁	1] 1.0
2	4/8	[2回] 日高			原核生物と真核生物を比較し、その共通点と相違点を説明する。	Ⅲ-1	[2回] 教科書の1～38頁	2] 1.0
					細胞小器官の構造と機能について説明する。	Ⅲ-1		
3	4/13	[3回] 日高	ユニット2 細胞の化学成分	細胞内分子の構造と機能を理解する。	化学結合の種類を説明する。	Ⅲ-1	[3回] 教科書の39～80頁	3] 1.0
4	4/13	[4回] 日高			細胞内の小分子の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	[4回] 教科書の39～80頁	4] 1.0
					細胞内の巨大分子の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1		
5	4/15	[5回] 藤兼	ユニット3 エネルギー、触媒作用、生合成	生体内エネルギーの形と触媒作用のしくみを理解する。	化学反応のエネルギー変化について説明する。	Ⅲ-1	[5回] 教科書の81～88頁	5] 1.0
6	4/15	[6回] 藤兼			酵素の構造と、酵素が化学反応を触媒するしくみを説明する。	Ⅲ-1	[6回] 教科書の88～115頁	6] 1.0
					活性運搬体の構造とエネルギーの受け渡しのしくみを説明する。	Ⅲ-1		
7	4/22	[7回] 藤兼	ユニット4 タンパク質の構造と機能	タンパク質の構造と機能を理解する。	タンパク質のなりたちと化学的構造を説明する。	Ⅲ-1	[7回] 教科書の117～137頁	7] 1.0
8	4/22	[8回] 藤兼			生体内におけるタンパク質の機能を説明する。	Ⅲ-1	[8回] 教科書の137～172頁	8] 1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
9	5/11	[9回] 日高	ユニット5 DNAと染色体	DNAの構造と遺伝情報の流れ（セントラルドグマ）を理解する。	DNAを構成するヌクレオチドと二重らせん構造を説明する。	Ⅲ-1	[9回] 教科書の173～178頁	[9] 1.0
10	5/13	[10回] 日高 [11回] 日高			DNAの相補的塩基対合を説明する。	Ⅲ-1	[10回] 教科書の178～197頁	[10] 1.0
11	5/13				遺伝情報がDNAに担われていることを示した実験について説明する。	Ⅲ-1	[11回] 教科書の178～197頁、227～228頁	[11] 1.0
					遺伝子とは何かを説明する。	Ⅲ-1		
					ヌクレオソーム、クロマチン構造、テロメア、セントロメアなどの染色体の構造を説明する。	Ⅲ-1		
					分子生物学のセントラルドグマとは何かを説明する。	Ⅲ-1		
12	5/18	日高・藤兼	中間試験（ユニット1～5）	ユニット1～5に関する知識習得を確認する。	ユニット1～5に関する演習問題を解く。	Ⅲ-1	教科書の365～388頁	1.0
13	5/20	日高・藤兼	中間試験（ユニット1～5）の復習	ユニット1～5に関する知識習得を確認する。	ユニット1～5に関する演習問題の復習をする。	Ⅲ-1	教科書の1～197頁、227～228頁	1.0
14	5/20	[14回] 日高	ユニット6 膜の構造	膜の構造と性質を理解する。	膜をつくる脂質二重層の成分や性質を説明する。	Ⅲ-1	[14回] 教科書の1～197頁、227～228頁	[14] 1.0
15	5/25	[15回] 日高			リン脂質の種類、構造や性質を説明する。	Ⅲ-1	[15回] 教科書の365～388頁	[15] 1.0
16	5/27	[16回] 日高	ユニット7 膜を横切る輸送	輸送体タンパクによる膜を隔てた物質輸送のしくみ、および、イオンチャネルによる膜電位の発生、伝導のしくみを理解する。	細胞内液と細胞外液、細胞膜の物質透過性を説明する。	Ⅲ-1	[16回] 教科書の389～392頁	[16] 1.0
17	5/27	[17回] 日高			輸送体やチャネルによる膜を隔てた物質輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	[17回] 教科書の392～425頁	[17] 1.0
18	6/1	[18回] 日高			受動輸送と能動輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	[18回] 教科書の392～425頁	[18] 1.0
					細胞膜の選択的イオン透過性を説明する。	Ⅲ-1		
					イオンの平衡電位、静止膜電位の形成機序を説明する。	Ⅲ-1		
					イオンチャネル機構による活動電位の発生と伝達のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					細胞の興奮と機能の発現を説明する。	Ⅲ-1		
19	6/3	[19回] 藤兼	ユニット8 細胞が食物からエネルギーを得るしくみ	食物の代謝によるエネルギー産生と備蓄のしくみを理解する。	食物の分解過程とエネルギー獲得の概要を説明する。	Ⅲ-1	[19回] 教科書の427～430頁	[19] 1.0
20	6/3	[20回] 藤兼			解糖による糖からのエネルギー取り出しのしくみを説明する。	Ⅲ-1	[20回] 教科書の430～437頁	[20] 1.0
21	6/8	[21回] 藤兼			脂肪酸β酸化による脂肪酸からのエネルギーの取り出しのしくみを説明する。	Ⅲ-1	[21回] 教科書の428～453頁	[21] 1.0
					クエン酸回路による糖と脂肪酸の完全酸化とエネルギー捕捉のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					グリコゲンや脂肪によるエネルギーの備蓄とその利用について説明する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
22	6/10	[22回] 藤兼	ユニット9 ミトコンドリアと葉緑体におけるエネルギー生産	ミトコンドリアと葉緑体の構造と機能を理解する。	ミトコンドリアと葉緑体の構造について説明する。	Ⅲ-1	[22回] 教科書の455～463頁	[22] 1.0
23	6/10	[23回] 藤兼			ミトコンドリアの酸化的リン酸化によるATP合成について説明する。	Ⅲ-1	[23回] 教科書の464～469頁	[23] 1.0
24	6/15	[24回] 藤兼			電子伝達系とプロトンのくみ出しによるエネルギー変換のしくみを説明する。	Ⅲ-1	[24回] 教科書の469～494頁	[24] 1.0
					光合成（明反応と暗反応）による糖合成におけるエネルギー変換のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
25	6/17	[25回] 日高	ユニット10 細胞内区画とタンパク質の輸送	輸送タンパク質の選別と小胞とゴルジ装置を用いた細胞内外輸送のしくみを理解する。	膜で囲まれた細胞小器官の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	[25回] 教科書の495～531頁	[25] 1.0
26	6/17	[26回] 日高			シグナル配列によるタンパク質の選別のしくみを説明する。	Ⅲ-1	[26回] 教科書の495～531頁	[26] 1.0
27	6/22	[27回] 日高			SRP受容体と小胞体シグナル配列を利用した粗面小胞体でのタンパク質成熟過程を説明する。	Ⅲ-1	[27回] 教科書の495～531頁	[27] 1.0
					タンパク質の膜への組み込みのしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					小胞による細胞内輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					ゴルジ装置によるタンパク質の修飾と輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					エキソサイトーシスとエンドサイトーシスによる分子の輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
28	6/24	[28回] 日高	ユニット11 細胞のシグナル伝達	細胞間のシグナル伝達における様々な受容体の構造と機能を理解する。	内分泌型、パラクリン型、神経型、接触型など細胞間シグナル伝達の様式を説明する。	Ⅲ-1	[28回] 教科書の533～545頁	[28] 1.0
29	6/24	[29回] 日高			シグナル分子の種類と性質について説明する。	Ⅲ-1	[29回] 教科書の533～557頁	[29] 1.0
30	6/29	[30回] 日高			細胞内受容体と細胞膜受容体の種類を列記する。	Ⅲ-1	[30回] 教科書の557～572頁	[30] 1.0
					細胞膜受容体の種類と働きを説明する。	Ⅲ-1		
					Gタンパク共役型受容体と三量体Gタンパクの種類と機能について説明する。	Ⅲ-1		
					二次メッセンジャーの種類と、それらを介する情報伝達について説明する。	Ⅲ-1		
					受容体チロキナーゼとシグナルタンパク複合体について説明する。	Ⅲ-1		
					細胞内情報伝達系コミュニケーションについて説明する。	Ⅲ-1		

基礎化学 【講義】

科目番号 OD011025

前期：30コマ

評価責任者：林 道夫

担当教員：林 道夫、谷口 卓

（一般目標）

様々な原子が色々な結合により多種多様な分子を構成し、それらが合わさって細胞、組織、器官を形成し、最終的にヒトの体が構成される。その原子から多種多様な分子までを表現するのが化学であり、生化学、生理学、薬理学といった基礎科目の基礎となる。この科目では、生体を構成する原子の構造から、生体の主要4元素などからなる高分子の構造や特徴、さらに、生体に含まれる気体、液体、固体といった物質を扱う理論などを学ぶ。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-1

（教育方法）

教科書と配布プリントを基にスライドを用いた講義を行い、演習問題により知識の定着を図る。

（ディスカッション・ディベート）

（学習方法）

講義前に下記の予習の項目に記載された箇所を読んでおくこと。講義後は講義で習ったことや演習問題の復習を行うこと。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：30.0時間】

（評価）

中間試験と定期試験の比率を3:7とし、総合的に判定する。総合評価はポータルサイトに掲示する。

（教科書）

Alberts B. 他 著、中村桂子他 監訳 『Essential 細胞生物学』 南江堂 2021年

（参考書）

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/8	林	基礎化学と口腔医学	化学的知識が歯学・医学には必須であることを理解する。	化学的知識が歯学・医学には必須であることを述べる。	Ⅲ-1	教科書 p. 52, 58	1.0
			生命と水	生命と水との関わりについて理解する。	地球での生命の誕生における水的重要性を述べる。	Ⅲ-1		
					ヒトが生きていく上で水が重要であることを述べる。	Ⅲ-1		
2	4/10	[2回] 林	生体を構成する最小の物質の構造	ヒトの体を理解するために最小構成単位である物質の構造を理解する。	全ての物質は最小構成単位である物質、原子からなることを説明する。	Ⅲ-1	[2回] 教科書 p. 40-41	[2] 1.0
3	4/15				原子と分子と元素の違いを述べる。	Ⅲ-1	[3回] 教科書 p. 41-43	[3] 1.0
4	4/17				水素原子や炭素原子を例に原子の構成を説明する。	Ⅲ-1	[4回] 教科書 p. 43-44, 66	[4] 1.0
					原子同士が構造を作る際に重要な条件を述べる。	Ⅲ-1		
					周期表を説明する。	Ⅲ-1		
					元素の分類方法を説明する。	Ⅲ-1		
					水素からカルシウムまでの元素の電子式を描ける。	Ⅲ-1		
					それぞれの物質がどれくらい含まれるかを議論するために、物質の量の表し方を説明する。	Ⅲ-1		
5	4/21	林	生体を構成する結合	生体を構成する一般的な結合を理解する。	原子間の一般的な結合、共有結合を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 50-51	1.0
					ヒトの体を構成する主要4元素を列挙し、その特徴を述べる。	Ⅲ-1		
					いろいろな化学式の表し方を列挙する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	4/22	林	炭素骨格（１）	炭素を骨格とする有機分子を理解する。	有機分子と無機分子を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p.44-46, 66, 68	1.0
					炭素が有機分子の骨格となれることを説明する。	Ⅲ-1		
			炭素骨格（２）	炭素骨格が作る特別な共有結合を理解する。	特別な共有結合である二重結合や三重結合を説明する。	Ⅲ-1		
7	4/24	林	生体における水の役割	生命活動を支えている水の重要性について理解する。	水分子に特徴的な構造である極性共有結合を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p.45, 47, 68-70	1.0
					液体としての水の構造に関する特殊性を説明する。	Ⅲ-1		
					親水性物質と疎水性物質を説明する。	Ⅲ-1		
8	4/28	[8回] 林	生体で働くイオン	多くの生体反応で重要な役割を果たすイオンを理解する。	イオンについて説明する。	Ⅲ-1	[8回] 教科書 p.45-47 [9回] 教科書 p.46-47	[8] 1.0 [9] 1.0
9	5/1				体液中にみられる陽イオンと陰イオンをそれぞれ列挙する。	Ⅲ-1		
					電気的な性質の異なる原子間の電子のやりとり、イオン結合について説明する。	Ⅲ-1		
					イオン結合でできた物質、塩の表し方を説明する。	Ⅲ-1		
					イオン結晶、塩を説明する。	Ⅲ-1		
					生体内に存在する塩を挙げる。	Ⅲ-1		
					配位結合を説明し、配位結合の例を列挙する。	Ⅲ-1		
10	5/8	林	生体のpHとホメオスタシス（１）	生体内のpHを理解する。	水溶液の性質（酸と塩基）を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p.49-50, 69	1.0
					水の性質を表す指標であるpHを説明する。	Ⅲ-1		
					ヒトの体液のpHやう蝕の臨界pHを述べる。	Ⅲ-1		
11	5/12	林	生体のpHとホメオスタシス（２）	生体の持つpH変動を抑えるメカニズムを理解する。	強酸、弱酸、強塩基、弱塩基をそれぞれ列挙する。	Ⅲ-1	教科書 p.50, 67	1.0
					緩衝を説明する。	Ⅲ-1		
					ヒトの体内の緩衝系である重炭酸緩衝系の緩衝作用を説明する。	Ⅲ-1		
					ヒトの体内の緩衝系であるリン酸緩衝系の緩衝作用を説明する。	Ⅲ-1		
12	5/13	林	ミネラル	生体に重要なミネラルを理解する。	ミネラルを説明する。	Ⅲ-1	教科書 p.133, 148	1.0
					ヘモグロビンの構成成分である鉄を説明する。	Ⅲ-1		
					甲状腺ホルモンの構成成分であるヨウ素を説明する。	Ⅲ-1		
					タンパク質の構造に重要な硫黄を説明する。	Ⅲ-1		
13	5/19	林、 谷口	中間試験					1.0
14	5/20	谷口	タンパク質を形作る力	タンパク質などにみられる弱い結合を理解する。	静電引力を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p.47-48, 70-71	1.0
					ファンデルワールス引力を説明する。	Ⅲ-1		
					疎水効果を説明する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
15	5/22	[15回] 林	生体分子で重要な官能基	ヒトの体を構成する有機分子の構成要素である官能基（基）を理解する。	化合物の特性を示す原子の集団、官能基について説明する。	Ⅲ-1	[15回] 教科書 p. 50-51, 66-67, 74	[15] 1.0
16	5/27				カルボキシ基とアルデヒド基・ホルミル基の構造や特徴を説明する。	Ⅲ-1	[16回] 教科書 p. 66, 109	[16] 1.0
17	5/29				ケトン基・カルボニル基とメチル基やアルキル基の構造や特徴を説明する。	Ⅲ-1	[17回] 教科書 p. 67, 76, 78	[17] 1.0
					アミノ基やチオール基・スルフィドリル基、ヒドロキシ基の構造や特徴を説明する。	Ⅲ-1		
					リン酸基・ホスホリル基の構造や特徴を説明する。	Ⅲ-1		
					リン酸やリン酸イオンについて説明する。	Ⅲ-1		
18	6/2	林	生体分子を構成する結合	生体内で重要な結合を理解する。	グルコースからデンプンやグリコーゲンを生成する際に重要なグリコシド結合の構成や構造的な特徴を述べる。	Ⅲ-1	教科書 p. 53, 67, 76-77, 79, 119, 136	1.0
					スフィンゴ脂質に含まれるアミド結合の構成や構造的な特徴を述べる。	Ⅲ-1		
					タンパク質の構造に重要なペプチド結合の構成や構造的な特徴を述べる。	Ⅲ-1		
					タンパク質の高次構造形成に重要なジスルフィド結合の構成や構造的な特徴を述べる。	Ⅲ-1		
					核酸の構造に重要なホスホジエステル結合の構成や構造的な特徴を述べる。	Ⅲ-1		
19	6/3	[19回] 谷口	生体分子の分類	生体分子を例に、官能基や結合をもとにした分類について理解する。	アルカンを説明する。	Ⅲ-1	[19回] 教科書 p. 66-67	[19] 1.0
20	6/5				アルコールやアルデヒドを説明する。	Ⅲ-1	[20回] 教科書 p. 66-67	[20] 1.0
21	6/10				カルボン酸やケトンを説明する。	Ⅲ-1	[21回] 教科書 p. 67	[21] 1.0
					エーテルを説明する。	Ⅲ-1		
					アミンを説明する。	Ⅲ-1		
					アミド、イミンを説明する。	Ⅲ-1		
22	6/12	林	生体内の化学反応（１）	生体の物質の量を議論するために、物質量と化学反応式について理解する。	物理量の単位とその接頭語を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 41	1.0
					物質量を説明する。	Ⅲ-1		
					有効数字、科学的記数法、概数を説明する。	Ⅲ-1		
					生体内で生じる化学反応の反応式の書き方を説明する。	Ⅲ-1		
23	6/16	[23回] 林	生体内の化学反応（２）	生体内で生じる酸化還元反応を理解する。	酸化と還元の見方を説明する。	Ⅲ-1	[23回] 教科書 p. 87-88, 438-440	[23] 1.0
24	6/17				酸化数を説明する。	Ⅲ-1	[24回] 教科書 p. 87-88, 440	[24] 1.0
					酸化剤と還元剤を説明する。	Ⅲ-1		
					脂肪酸の分解を例に酸化反応を説明する。	Ⅲ-1		
					脂肪酸の合成を例に還元反応を説明する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
25	6/19	林	物質の三態	物質の三態について理解する。	物質の三態を列挙する。	Ⅲ-1		1.0
					物質の三態間の状態変化を説明する。	Ⅲ-1		
					状態図を説明する。	Ⅲ-1		
26	6/24	林	気体の性質	気体の性質について理解する。	圧力の表し方を説明する。	Ⅲ-1		1.0
					気体の法則（ボイル、シャルル、ボイル・シャルル、気体の状態方程式）を説明する。	Ⅲ-1		
					混合気体と分圧の法則を説明する。	Ⅲ-1		
27	6/24	林	液体の性質（1）	水溶液の濃度の表し方を理解する。	溶液中の溶質、溶媒を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 41	1.0
					水などの溶媒に溶けた物質の濃度を定義する、モル濃度や質量パーセント濃度について説明する。	Ⅲ-1		
28	6/26	林	液体の性質（2）	気体が溶けた際の水溶液の濃度の表し方を理解する。	溶液に対する固体の溶解度の特徴を説明する。	Ⅲ-1		1.0
					溶液に対する気体の溶解度の特徴を説明する。	Ⅲ-1		
29	7/1	林	液体の性質（3）	体液などにおける浸透圧とコロイドを理解する。	浸透圧を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 394-395	1.0
					体内の浸透圧の例を列挙する。	Ⅲ-1		
					アルブミンタンパク質を例にコロイドを説明する。	Ⅲ-1		
30	7/1	林	生体内の化学反応（3）	化学平衡を理解する。	化学平衡の定義を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 95	1.0
					化学平衡の法則（質量作用の法則）を説明する。	Ⅲ-1		
					ルシャトリエの原理（平衡移動の原理）を説明する。	Ⅲ-1		

基礎物理学 【講義】

科目番号 OD011003

前期：31コマ

評価責任者：佐藤 平

担当教員：佐藤 平

（一般目標）

初歩的な概念から物理学の基礎的な構造を理解する。さらに自然科学の基礎としての物理学の基本的な法則や概念を学ぶ。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-7

（教育方法）

教科書と配布資料を中心とした講義を行う。

（実習・演習）

（学習方法）

講義内容に該当する教科書の項目を、毎回事前に通読しておく。

講義内容に関連する演習問題プリントを配布するので、その問題を自ら解くことによって講義後の復習や習得知識の定着に努めること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 31.0 時間】

（評 価）

定期試験60%、中間テスト40%として、総合的に評価する。

必要に応じて不足している習得知識について個別説明を行い、今後の学習方法の改善に関して個々のフィードバックを行う。

（教 科 書）

原康夫著『第3版 物理学入門 新装版』学術図書出版社

（参 考 書）

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/8	佐藤 平	物理量の測定と単位	物理量の単位と誘導単位について理解する。	物理量を説明する。 物理量の単位を説明する。	I-7 I-7	教科書の0章を通読しておく。	1.0
2	4/8	佐藤 平	運 動	位置、速度、加速度の定義とこれらの関係性について学び、直線運動や平面運動の記述方法を理解する。	直線運動における変位・速度・加速度の定義を説明する。 平均速度と瞬間速度、平均加速度と加速度の違いを説明する。 等速直線運動・等加速度直線運動を説明する。	I-7 I-7 I-7	教科書の第1章を通読しておく。	1.0
3	4/9	佐藤 平	運 動	位置、速度、加速度の定義とこれらの関係性について学び、直線運動や平面運動の記述方法を理解する。	自由落下・鉛直投げ上げを説明する。 平面運動の変位・速度・加速度の定義を説明する。 放物運動を説明する。	I-7 I-7 I-7	教科書の第1章を通読しておく。	1.0
4	4/15	佐藤 平	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	運動の第一法則、第二法則、第三法則を説明する。 運動量・力積の定義を説明する。 運動量と力積の関係を説明する。 力の合成と分解を説明する。	I-7 I-7 I-7 I-7	教科書の第2章を通読しておく。	1.0
5	4/15	佐藤 平	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	力のつり合いを説明する。 運動方程式を説明する。	I-7 I-7	教科書の第2章を通読しておく。	1.0
6	4/16	佐藤 平	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	重力・垂直抗力・張力・弾性力・摩擦力を説明する。 剛体の運動を説明する。	I-7 I-7	教科書の第2章を通読しておく。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
7	4/22	佐藤 平	仕事とエネルギー	仕事、エネルギーの定義とこれらの関係性について学び、力学的エネルギー保存則を適用する方法を理解する。	仕事と仕事率の定義を説明する。 運動エネルギーとポテンシャルエネルギーを説明する。 仕事と運動エネルギーの関係を説明する。	I -7 I -7 I -7	教科書の第3章を通読しておく。	1.0
8	4/22	佐藤 平	仕事とエネルギー	仕事、エネルギーの定義とこれらの関係性について学び、力学的エネルギー保存則を適用する方法を理解する。	保存力を説明する。 力学的エネルギー保存則を説明する。 エネルギー保存則を説明する。	I -7 I -7 I -7	教科書の第3章を通読しておく。	1.0
9	4/23	佐藤 平	周期運動	等速円運動、単振動の基本事項、減衰振動、強制振動について理解する。	等速円運動を説明する。 周期運動と周期を説明する。	I -7 I -7	教科書の第4章を通読しておく。	1.0
10	4/30	佐藤 平	周期運動	等速円運動、単振動の基本事項、減衰振動、強制振動について理解する。	単振動を説明する。	I -7	教科書の第4章を通読しておく。	1.0
11	5/7	佐藤 平	圧 力	広がりのある連続した物体の力学について理解する。（圧力）	圧力とその単位を説明する。 浮力とアルキメデスの法則を説明する。	I -7 I -7	教科書の第5章を通読しておく。	1.0
12	5/13	佐藤 平	固体力学	広がりのある連続した物体の力学について理解する。（固体力学）	弾性変形と塑性変形を説明する。 応力とひずみの関係を説明する。	I -7 I -7	教科書の第5章を通読しておく。	1.0
13	5/13	佐藤 平	固体力学	広がりのある連続した物体の力学について理解する。（固体力学）	応力とひずみの関係を説明する。 ヤング率を説明する。	I -7 I -7	教科書の第5章を通読しておく。	1.0
14	5/14	佐藤 平	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	温度、熱量、比熱の定義を説明する。 物質の相変化を説明する。	I -7 I -7	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
15	5/20	佐藤 平	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	熱力学の第一法則と第二法則を説明する。	I -7	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
16	5/20	佐藤 平	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	熱機関を説明する。	I -7	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
17	5/21	佐藤 平	波 動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	波動の定義を説明する。 波の数学的表記法を説明する。 波の干渉を説明する。	I -7 I -7 I -7	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
18	5/28	佐藤 平	波 動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	音波の定義を説明する。 ドップラー効果を説明する。	I -7 I -7	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
19	5/28	佐藤 平	波 動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	光波の定義を説明する。 光の回折、屈折、反射を説明する。	I -7 I -7	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
20	6/3	佐藤 平	原子物理学	原子の構造、光および電子の波動的性質と粒子的性質について学び、X線、レーザー、半導体の基本事項を理解する。	ニュートン物理学と現代物理学の違いを説明する。 原子の構造を説明する。 光の二重性を説明する。 電子の二重性を説明する。	I -7 I -7 I -7 I -7	教科書の第10章を通読しておく。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
21	6/3	佐藤 平	原子物理学	原子の構造、光および電子の波動的性質と粒子的性質について学び、X線、レーザー、半導体の基本事項を理解する。	原子の定常状態と線スペクトルを説明する。 元素の周期律を説明する。 絶縁体と半導体を説明する。 レーザーの原理を説明する。	I-7 I-7 I-7 I-7	教科書の第10章を通読しておく。	1.0
22	6/4	佐藤 平	確認演習	知識の定着を確認する。	これまでに学習した知識の定着を確認する。	I-7	これまでの学習内容を整理しておく。	1.0
23	6/10	佐藤 平	核物理学	原子の構造と原子核を構成する要素を理解する。	原子核の基本構造を説明する。 陽子と中性子を説明する。 核エネルギーを説明する。 原子核の崩壊について説明する。	I-7 I-7 I-7 I-7	教科書の第11章を通読しておく。	1.0
24	6/10	佐藤 平	核物理学	原子の構造と原子核を構成する要素を理解する。	原子力発電を説明する。 核反応式を説明する。 半減期を説明する。 放射能と被曝について説明する。	I-7 I-7 I-7 I-7	教科書の第11章を通読しておく。	1.0
25	6/11	佐藤 平	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。（電荷と電流）	電流の定義を説明する。 クーロンの法則を説明する。	I-7 I-7	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
26	6/11	佐藤 平	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。（電荷と電流）	電場と電位を説明する。 キャパシターを説明する。	I-7 I-7	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
27	6/17	佐藤 平	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。（電荷と電流）	電圧と抵抗を説明する。 オームの法則を説明する。	I-7 I-7	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
28	6/17	佐藤 平	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。（電荷と電流）	キルヒホッフの法則を説明する。 電力と電力量を説明する。 ジュール熱を説明する。	I-7 I-7 I-7	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
29	6/18	佐藤 平	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。（電磁気学）	ガウスの法則を説明する。 電磁誘導を説明する。	I-7 I-7	教科書の第9章を通読しておく。	1.0
30	6/24	佐藤 平	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。（電磁気学）	ファラデーの法則を説明する。	I-7	教科書の第9章を通読しておく。	1.0
31	6/25	佐藤 平	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。（電磁気学）	自己誘導と相互誘導を説明する。 電磁波について理解する。	I-7 I-7	教科書の第9章を通読しておく。	1.0

現代文明論 【講義】

科目番号 OD011002

前期：15コマ

評価責任者：谷口奈央

担当教員：各担当教員、社会医歯学部門教員

（一般目標）

人類の文明・文化の意義を理解し、その歴史を形成する創造性と社会性との重要性を知り、変動期にある現代社会の諸問題に協力し合って取り組む姿勢を培うと共に、未来への対応すべき方向性を探る。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-1, I-6, VI-1

（教育方法）

学内外の各種分野の講師によるオムニバス形式の講義。必要に応じてプリントを配布し、スライド等も使用する。

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）

（学習方法）

オムニバス形式による授業であるので、予習はインターネットで各講師の情報についてレポートにまとめる。復習は、授業中のメモをもとに、授業の内容をまとめて、次回の講師の情報（上記）の内容とともに提出する。また講師による問題提起に対してグループで解決に向けて議論することもある。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評価）

毎回の小論文（70%）、出席状況（30%）、小論文へのコメントでフィードバックする。

（教科書）

オムニバス形式の授業のため教科書は用いない。当日配布の講義資料のみ。

（参考書）

当日配布の講義資料を参考とする。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOS）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/10	水田祥代 福岡学園・ 理事長	ユニット1 大学教育	大学の歴史と役割を学ぶ。	「大学の教育」について説明できる。	I-1	大学の教育	1.0
2	4/13	小川雄平 九州情報大 学大学院・ 教授	ユニット4 国際性	国際性、偏見や先入観にと らわれない広い視野を学 ぶ。	「東北アジアの越境地域経済協 力の課題と展望」について説明 できる	I-6	東北アジアの緊張緩和を考 える	1.0
3	4/20	稲月 正 北九州市立 大学・教授	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「日本の現代社会の諸問題」につ いて説明できる。	I-6	生活困窮者への社会的支援	1.0
4	4/27	高次美佳 福岡市身体 障害者福祉 協会・相談 員	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について 学ぶ。	「新しい社会保障と歯科医療の可 能性」について説明できる。。	I-6	障がい者の人権について	1.0
5	5/11	円谷裕二 九州大学・ 名誉教授	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「新しい社会保障と歯科医療の可 能性」について説明できる。	I-6	現代科学の見方と日常の見 方	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	5/18	高瀬文広	ユニット2 文化的活動	学問や芸術や競技等の文化的活動、文化にまつわる歴史性や地方性を学ぶ。	「異文化コミュニケーション論」について説明できる。	I-6	異文化体験と対人コミュニケーション論	1.0
7	5/25	岡田賢司 介護老人保健施設サンシャインシティ・施設長	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「新型コロナウイルス感染症」について説明できる。	I-6	新型コロナウイルス感染症を中心とした感染症のトピックス	1.0
8	6/1	大重優花 福岡大学・助手	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「日本の現代社会の諸問題」について説明できる。	I-6	在来知と外来知の融合による産業革命からみる文明の発展と現代社会	1.0
9	6/8	奥田 貴介 おくだ総合法律事務所	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「医療の安全管理」について説明できる。	I-6		1.0
10	6/9	鶴田直之 福岡大学・教授	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「生活困窮者への社会的支援」について説明できる。	VI-1	AIを活用してスマートに生きる	1.0
11	6/15	出田妙子 薬害肝炎訴訟原告団	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「薬害肝炎訴訟」について説明できる。	I-6	薬害肝炎訴訟について	1.0
12	6/22	新井優花 福岡市口腔保健支援センター・係長	ユニット6 地域医療	地域医療の現状と課題を把握し、課題解決について学ぶ	「地域保健の現状と課題」について説明できる。	I-6	地域（福岡市）の保健事業における現状と課題・グループディスカッション（PBL）	1.0
13	6/22	新井優花 福岡市口腔保健支援センター・係長	ユニット6 地域医療	地域医療の現状と課題を把握し、課題解決について学ぶ	「地域保健の現状と課題」について説明できる。	I-6	地域（福岡市）の保健事業における現状と課題・グループディスカッション（PBL）	1.0
14	6/29	樋口勝規 福岡歯科大学・客員教授	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「医療の安全管理」について説明できる。	I-6	患者安全を目指した医療安全文化	1.0
15	6/30	中畑高子 福岡歯科大学・客員教授	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「病院のチーム医療」について説明できる。	I-6	看護とチーム医療	1.0

Scientific English I 【講義】

科目番号 OD011005

前期：15コマ

評価責任者：岡島 勇太

担当教員：岡島 勇太、壬生 正博

（一般目標）

本講義の目標は、コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができるよう英語力を向上させることにある。英語は既に国際語として定着しており、医学、歯学を志す者にとって、最新の情報を得るためには英語の学習は必要不可欠である。本授業では、将来的にEBM（Evidence-Based Medicine）に繋がる英語力を向上させるために、科学、健康、医療等に関する最新のトピックを取り上げる。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

VI-4

（教育方法）

基本的な生命科学英文を教材としての読解練習

既習事項の理解度を確認する中間試験など

授業中の発表

（グループワーク）

（学習方法）

テキストの情報を辞書等を利用して十分に理解し、その上で練習問題を解くこと。また、興味のある内容はインターネット等で事前に調べておくこと。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

出席、授業態度、中間試験、定期試験等により総合評価する：試験後に成績通知

（教科書）

Mysteries in Science (Nan'un-do)

基本的な科学、健康、医療等に関する英語の習得に役に立つ。

（参考書）

Japanese-English dictionary、

English-Japanese dictionary

英語力の向上のため、各自に合った辞書を選定し使用すること（選定は学習者に一任）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/14	岡島、壬生	ユニット1 Parasitic Butterflies and Their Host Ants	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 1)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
2	4/14	岡島、壬生	ユニット1 Parasitic Butterflies and Their Host Ants, ユニット 2 Where Have All the Honeybees Gone?	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 1 & Unit 2)	使用テキストの各ユニットの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
3	4/21	岡島、壬生	ユニット2 Where Have All the Honeybees Gone?	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 2)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
4	4/28	岡島、壬生	ユニット3 He or She?	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 3)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
5	5/12	岡島、壬生	ユニット3 He or She?, ユニット4 Brain Regeneration	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 3 & Unit 4)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
6	5/19	岡島、壬生	ユニット4 Brain Regeneration	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 4)	使用テキストの各ユニットの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
7	5/26	岡島、壬生	ユニット5 Now You see it, Now you Don't: The Invisible Gorilla	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 5)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
8	5/26	岡島、壬生	ユニット5 Now You see it, Now you Don't: The Invisible Gorilla, ユニット6 Be Careful of Paper-Cuts	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 5 & Unit 6)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
9	6/2	岡島、壬生	ユニット6 Be Careful of Paper-Cuts	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 6)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
10	6/9	岡島、壬生	ユニット7 Baby Corals Dance Their Way Home	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 7)	使用テキストの各ユニットの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
11	6/16	岡島、壬生	ユニット7 Baby Corals Dance Their Way Home, ユニット8 Monarch Butterfly Migration	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 7 & Unit 8)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
12	6/23	岡島、壬生	ユニット8 Monarch Butterfly Migration	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 8)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
13	6/23	岡島、壬生	ユニット9 No Polar Bears in the Antarctic	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 9)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
14	6/30	岡島、壬生	ユニット9 No Polar Bears in the Antarctic, ユニット10 Wish Upon a Shooting Star	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 9 & Unit 10)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
15	6/30	岡島、壬生	ユニット10 Wish Upon a Shooting Star	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(Unit 10)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0

解剖学総論 【講義】

科目番号 OD011103

前期：15コマ

評価責任者：児玉 淳

担当教員：林 慶和

（一般目標）

人体の構造と機能を深く理解するために必要な解剖学の基本的知識を修得する。基本的知識は骨学、関節・靭帯学、筋学、脈管学、神経学、内臓学の系統別に使用される解剖学用語の理解とともに修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-2, Ⅲ-6

（教育方法）

教科書や配布されるプリントを用いた講義を行う。

講義の進行具合に応じて小テストを行う。

（実習・演習）

（学習方法）

該当する教科書の項目について予習を行い、講義中はメモを取る。

復習は欠かさず行い、課される課題を提出する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

定期試験（90%）平常点（10%）（小テストの成績）により評価する。

小テストの詳細については初回講義時に説明する。

出席状況および講義途中退室等の受講態度が芳しくない場合は平常点に反映させる。

総合評価をポータルサイトに掲示する。

（教科書）

1. 森 於菟 他著 分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靭帯学・筋学）、第2巻（脈管学・神経学）第11版 金原出版 1992

2. 口腔解剖学 第2版 医歯薬出版

口腔医学を学ぶために必要な人体の構造をまとめている（1年から6年まで使用します）

（参考書）

1：イラスト解剖学 松村譲児 中外医学社

2：人体解剖学 改訂42版 藤田恒太郎 南江堂

3：ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第2版 医歯薬出版

4：解剖学講義 第3版 南山堂

上記参考書はテキストとして広く知られており、基礎から臨床関連知識まで幅広く網羅している。

（1年から6年まで使用します）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/7	林	ユニット1 解剖学総論	解剖学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	人体の構成と解剖学用語および解剖学の歴史を説明できる。 Ⅲ-2 体の区分（頭、頸、体幹、上肢、下肢）と境界を示説することができる。 Ⅲ-2 方向用語（左右、上下、外・内側等）を説明できる。 Ⅲ-2 基準平面（フランクフルト水平面等）について説明できる。 Ⅲ-2	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靭帯学・筋学）P1-8, 口腔解剖学 第2版 P1-4）	1.0
2	4/9	林	ユニット2 歯牙解剖学総論	歯の解剖学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	歯の基本形態を説明できる。 Ⅲ-6 歯種について説明できる。 Ⅲ-6 歯および歯列の方向用語について説明できる。 Ⅲ-6	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靭帯学・筋学）P9-25, 口腔解剖学 第2版 P2-4）	1.0
3	4/16	林	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の形態分類と種類が説明できる。 Ⅲ-2 骨の基本的構造が説明できる。 Ⅲ-2 骨の表面形状とその機能について説明できる。 Ⅲ-2	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靭帯学・筋学）P9-25, 口腔解剖学 第2版 P2-4）	1.0
4	4/21	林	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の成長様式が説明できる。 Ⅲ-2 骨の名称を列挙できる。 Ⅲ-2	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靭帯学・筋学）P9-25, 口腔解剖学 第2版 P2-4）	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
5	4/23	林	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の名称を列举できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学)P9-25, 口腔解剖学 第2版 P2-4)	1.0
6	4/28	林	ユニット4 関節・靱帯学	関節・靱帯学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の連結を説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学)P173-180, 口腔解剖学 第2版 P31-36)	1.0
7	4/30	林	ユニット5 筋学総論	筋学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨格筋、内臓筋や筋の構造について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学)P249-263, 口腔解剖学 第2版 P18-19)	1.0
					全身の代表的な骨格筋を列举できる。	Ⅲ-2		
8	5/7	林	ユニット5 筋学総論	筋学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨格筋の起始・停止を説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学)P249-263, 口腔解剖学 第2版 P18-19)	1.0
					骨格筋の運動用語（転、旋、回、挙上、下制、屈、伸）を説明できる。	Ⅲ-2		
					骨格筋の支配神経について説明できる。	Ⅲ-2		
9	5/14	林	ユニット6 脈管学総論	脈管学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する	脈管系の命名法と主要な動脈、静脈を列举できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第2巻（脈管学・神経学）P1-5, 口腔解剖学 第2版 P37-43)	1.0
					肺循環、体循環、リンパ循環について説明できる。	Ⅲ-2		
10	5/21	林	ユニット7 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	神経系の成立と中枢神経系と末梢神経系の分類が説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第2巻（脈管学・神経学）P185-193, 口腔解剖学 第2版 P57-58)	1.0
					神経単位（ニューロン）について説明できる。	Ⅲ-2		
					大脳、間脳、中脳、小脳、橋、延髄について説明できる。	Ⅲ-2		
11	6/4	林	ユニット7 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	脳神経、脊髄神経、自律神経系（交感神経、副交感神経）について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第2巻（脈管学・神経学）P185-193, 口腔解剖学 第2版 P57-58)	1.0
					一般体性運動性、一般体性感覚性、一般臓性運動性、一般臓性感覚性、特殊体性感覚性、特殊臓性感覚性、特殊臓性運動性について説明できる。	Ⅲ-2		
12	6/9	林	ユニット7 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	一般体性運動性、一般体性感覚性、一般臓性運動性、一般臓性感覚性、特殊体性感覚性、特殊臓性感覚性、特殊臓性運動性について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第2巻（脈管学・神経学）P185-193, 口腔解剖学 第2版 P57-58)	1.0
					中枢、末梢、灰白質、白質、野、核、節、伝導路等を説明できる。	Ⅲ-2		
13	6/11	林	ユニット8 内臓学総論	内臓学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	実質性の臓器、中空性の臓器の構造について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（口腔解剖学 第2版 P79-81)	1.0
					消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌器系に分類でき各臓器名を説明できる。	Ⅲ-2		
14	6/18	林	ユニット8 内臓学総論	内臓学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	口腔の基本的な構造を説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。（口腔解剖学 第2版 P79-81)	1.0
15	6/25	林	ユニット8 内臓学総論	内臓学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	臓器が納められる体腔と間膜について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（口腔解剖学 第2版 P79-81)	1.0

医療工学 【講義】

科目番号 OD011101

前期：16コマ
 評価責任者：都留 寛治
 都留 寛治
 丸田 道人
 担当教員：梶本 昇
 佐藤 平
 城崎 由紀（九州工業大学）

（一般目標）

医歯学系の学生にとって重要な材料学の基本的な知識や考え方を学ぶ。また必須となる個体物性や臨床で使用する医療機器の原理などを学び、医歯学系科目に応用していくための準備をする。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-21

（教育方法）

教科書および配布プリントを使用し、板書や液晶プロジェクターにより図表を掲示しながらの講義。

（学習方法）

授業前に下記教科書の該当部分を読んで予習しておく。また授業中に配布するプリントなどを基に授業後に教科書とノートを参考に復習する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

定期試験（100%）

必要に応じて不足している習得知識についての説明を行い、今後の学習方法などに関して改善方法を個別にフィードバックする。

（教科書）

中嶋 裕他監修『スタンダード歯科理工学第8版』、学建書院、2024
 （後期の歯科理工学の教科書としても使用する）

（参考書）

原 康夫著『第3版 物理学入門 新装版』学術図書出版社（基礎物理学の教科書）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/9	梶本 昇	歯科医療と工学	歯科理工学の目的・意義を理解する。	歯科医療の流れを知る。	Ⅲ-21	教科書「歯科材料概論」を通読	1.0
2	4/9	丸田 道人	歯科医療と工学	歯科理工学の目的・意義を理解する。	歯科医療と工学の関わりを知る。	Ⅲ-21	教科書「歯科材料概論」を通読	1.0
3	4/16	都留 寛治	歯科材料の種類	歯科医療で用いる材料の種類を理解する。	歯科医療で用いる材料を有機、無機、金属、複合材料に分類できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
4	4/16	都留 寛治	歯科材料の構造	歯科医療で用いる材料の構造を理解する。	原子の構造を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
					化学結合を説明できる。	Ⅲ-21		
5	4/23	都留 寛治	歯科材料の性質	歯科医療で用いる材料の性質を理解する。	歯科材料の機械的性質を理解する。	Ⅲ-21	教科書「材料の性質」の「機械的性質」を通読	1.0
6	4/23	都留 寛治	歯科材料の性質	歯科医療で用いる材料の性質を理解する。	歯科材料の化学的性質を理解する。	Ⅲ-21	教科書「材料の性質」の「物理的性質」および「化学的性質」を通読	1.0
					歯科材料の物理的性質を理解する。	Ⅲ-21		
7	4/30	佐藤 平	歯科材料の加工	歯科治療における材料の成形加工を理解する。	鋳造による金属材料の成形加工法の特徴を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「鋳造用材料」の「概要」、「歯科用器械」の「CAD/CAMシステム」を通読	1.0
					CAD/CAM法による修復物作製法の特徴を説明できる。	Ⅲ-21		
					デジタル加工技術の応用例を説明できる。	Ⅲ-21		
8	4/30	佐藤 平	歯科材料の構造	歯科医療で用いる材料の構造を理解する。	元素の周期表を列記できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
					イオンを説明できる。	Ⅲ-21		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
9	5/7	佐藤 平	歯科材料と化合物命名法	歯科材料に関連する化合物命名法の規則を理解する。	歯科材料に関連する化合物の命名規則を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
10	5/14	佐藤 平	歯科材料の化学反応	歯科材料に関連する化学反応を理解する。	酸塩基反応を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
					重合反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					電気化学的反応を説明できる。	Ⅲ-21		
11	5/21	佐藤 平	無機材料の特徴	無機材料の特徴を理解する。	無機材料の種類を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「無機材料」を通読	1.0
					無機材料の特性を説明できる。	Ⅲ-21		
12	5/27	城崎 由紀	生体材料の性質	生体材料の開発と応用展開を知る。	近年の生体材料を知る。	Ⅲ-21	[12回]教科書「生体材料の安全性と適合性」を通読	[12] 1.0
13	5/27				生体材料の基本要件を説明できる。	Ⅲ-21	[13回]教科書「生体材料の安全性と適合性」を通読	[13] 1.0
14	6/4	佐藤 平	金属材料の特徴	金属材料の特徴を理解する。	金属材料の種類を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「金属材料」を通読	1.0
					金属材料の特性を説明できる。	Ⅲ-21		
15	6/18	佐藤 平	有機材料の特徴	有機材料の特徴を理解する。	高分子の定義と重合反応を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「有機高分子材料」を通読	1.0
					代表的な高分子の構造と性質を説明できる。	Ⅲ-21		
					有機材料の特徴を説明できる。	Ⅲ-21		
16	6/25	佐藤 平	複合材料の特徴	複合材料の特徴を理解する。	複合材料の種類を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「複合材料」を通読	1.0
					複合材料の特性を説明できる。	Ⅲ-21		

キャリアデザイン／地域医療 【演習】

科目番号 OD011202

前期：15コマ

評価責任者： 都築 尊（咬合修復学講座 有床義歯学分野）
 都築 尊（咬合修復学講座 有床義歯学分野）
 児玉 淳（生体構造学講座 機能構造学分野）
 大城 希美子（口腔治療学講座 歯周病学分野）
 内田 竜司（教育支援・教学 I R 室）
 担当教員： 岡 暁子（成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野）
 齊藤 淳一（れおファミリー歯科）
 白井 義英（白井歯科）
 清水 慶隆（広島大学歯学部附属病院麻酔科）
 田中 勝寛（田中歯科医院）
 高橋 宏昌（佐世保衛生隊診療所）

（一般目標）

口腔歯学部新入生としてプロフェッショナルリズムにもとづいた大学での学びの姿勢を身につけるために、先輩歯科医の多様なキャリアやプロフェッショナルリズム体験をロールモデルとして共有するとともに、地域医療の成り立ちについて理解を深め、これらを基に自分自身のキャリアプランを考える。

また、PROGテスト受験によりメタ認知（自分を客観視する能力）の必要性や向上させる方法について理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-4, I-5, I-6, I-7, I-8, I-9, II-2, II-3, II-4, V-2, V-3, V-5

（教育方法）

講義、ディスカッション・ディベート、グループワーク（小グループ討論、プレゼンテーション、全体討議）、その他のアクティブラーニング（シンク・ペア・シェア、ジグソー学習）

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

予習方法：受講前にシラバスに目を通し、不明部分については調べておくこと。

復習方法：授業時間に配布するプリントの記載事項を完成させて提出する。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評価）

授業受講態度。

提出物。

PROGテストの受験：※正当な理由なく未受験の場合は0点。

総合評価をポータルサイトに掲示する。

（教科書）

なし。

（参考書）

NHK プロフェッショナル仕事の流儀「ぶれない志、革命の歯科医療～歯科医・熊谷崇」（2014年10月27日放映）：歯科医療のプロフェッショナルリズムについて考察するための視覚教材として使用する。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/7	都築、児玉、大城、内田	1 PROGテスト	メタ認知を得るためにPROGテストを受験する。	PROGテスト受験に参加できる。	I-7	PROGテストに真摯に取り組むために体調を整え、身体を休める。（PROGテスト受験）	1.0
2	4/14	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での学びを知る。	生徒と学生の違いを説明できる。	I-8	高校までの学習への取り組みを振り返る。また授業前に大学入学時の決意を明文化する。	1.0
					高校までの学習について説明できる。	I-8		
					大学での学びについて説明できる。	I-8		
3	4/21	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での「大人」の学びを体験的に知る。（答えのない問題1）	問題点を抽出できる。	I-8	「答えのない問題」とは何か、考える。	1.0
					問題点を言語化できる。	I-7		
					他者の意見を傾聴できる。	II-3		
					集団で「問題」を共通認識できる。	I-8		
					主体的に問題を解決するための行動を起こすことができる。	I-9		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
4	4/28	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での「大人」の学びを体験的に知る。（答えのない問題2）	問題点を抽出できる。 問題点を言語化できる。 他者の意見を傾聴できる。 集団で「問題」を共通認識できる。 主体的に問題を解決するための行動を起こすことができる。	I-8 I-7 II-3 I-8 I-9	前回（第3回）の反省をし、ディスカッションに積極的に参加するために必要なことを考える。	1.0
5	5/12	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での「大人」の学びを体験的に知る。（対話的鑑賞法1）	作品を見て気付いたことを列挙できる。 自分の気づきを言語化できる。 他者の意見を傾聴できる。 他者の意見から多様な視点や解釈の存在を発見できる。 作品について自らの考えを記述できる。	I-8 I-7 II-3 II-4 I-8	「対話的鑑賞法」とは何か、考える。	1.0
6	5/19	齊藤、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナリズムを知る。（1）	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話を反芻し、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0
7	5/26	都築、内田	11 メタ認知の必要性と能力の向上方法	PROGテストの結果を踏まえ、6年間の大学生活で自己の能力を向上させるための方略を考える。	PROGテスト（リテラシー・コンピテンシー）について説明できる。 メタ認知について説明できる。 テスト結果を評価できる。 自身の能力の向上に必要なことを列挙できる。 テスト結果を今後の大学生活に適用できる。	I-7 I-7 I-8 I-8 I-9	授業後すぐに自分自身の能力向上に必要な取り組みを開始する。	1.0
8	5/26	高橋、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナリズムを知る。（2）	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話を反芻し、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0
9	6/2	内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナリズムを知る。（3）	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	前回（第5回）の反省をし、ディスカッションに積極的に参加するために必要なことを考える。	1.0
10	6/2	白井、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナリズムを知る。（4）	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話を反芻し、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0
11	6/9	田中、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナリズムを知る。（5）	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話を反芻し、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0
12	6/16	清水、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナリズムを知る。（6）	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話を反芻し、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
13	6/23	都築、岡、内田	10 自分のキャリアをデザインする	ロールモデルのキャリアパスから学んだプロフェッショナリズムを踏まえ、未来の自分のキャリアパスを想像／創造する。	自分のキャリアについて具体的に述べることができる。 他者のキャリアについて傾聴できる。 他者のキャリアから多様な視点や解釈の存在を発見できる。 歯科医師としてどのように社会に貢献したいか述べるができる。	I-9 II-2 I-6 I-9	自分自身のキャリアプランを実現するために必要なことを考える。	1.0
14	6/30	都築、岡、内田	7 地域包括ケアシステムと歯科医療	地域包括ケアシステムの中で歯科医師はどんな貢献ができるかを知る。	地域包括ケアシステムについて説明できる。 多職種連携について説明できる。 地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割を説明できる。	V-5 V-2 V-3	地域包括ケアシステムについて考える。	1.0
15	6/30	都築、内田	3 プロフェッショナリズム	プロフェッショナリズムについて知る。	プロフェッショナルについて説明できる。 プロフェッショナリズムについて説明できる。 歯科医師のプロフェッショナリズムについて説明できる。	I-4 I-5 I-6	プロフェッショナル、プロフェッショナリズムについて考える。	1.0

医・口腔医学概論 【演習】

科目番号 OD011301

前期：15コマ

評価責任者：香川豊宏、谷口奈央、森田浩光

担当教員：関係講座・分野・診療科教員

（一般目標）

1. 医療人としての自覚と口腔医学の概念を学ぶ。
2. 学部・病院の体験を通じ、将来指導的立場にたつ者となる自覚を強めるとともに口腔医学に係る課題を理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

I-1

（教育方法）

講義、病院、学部見学

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（実習・演習）

（学習方法）

あらかじめ、福岡歯科大学および医科歯科総合病院の講座・分野・診療科をホームページで把握し、授業後にレポート・ポートフォリオを作成する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

出席、講義毎のレポート、見学体験講座・分野・診療科毎のポートフォリオによる評価を行い、評価されたレポート、ポートフォリオを返却する。

（教 科 書）

なし

（参 考 書）

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/9	森田	ユニット1 口腔医学総論	口腔医学の歴史と学問体系を理解する。	口腔医学の概念を説明できる。	I-1	口腔医学の概念、医学史	1.0
					医学・歯学史を説明できる。	I-1		
2	4/10	吉永、西尾	ユニット2 口腔医学各論2	歯科診療中の保存治療を概説できる。臨床医学を学習する理由を理解する。	歯周病治療の概略を説明できる。	I-1	歯周治療、整形外科治療の役割	1.0
					医学の中の整形外科の意義を概説できる。	I-1		
3	4/16	松崎、得能	ユニット2 口腔医学各論2	歯科診療中の保存治療を概説できる。臨床医学を学習する理由を理解する。	歯科保存治療の概略を説明できる。	I-1	保存治療、内科治療の役割	1.0
					医学の中の内科学の意義を概説できる。	I-1		
4	4/17	山野、古村	ユニット2 口腔医学各論4	歯学部で臨床医学を学習する理由を理解する。	歯科に関わる耳鼻咽喉科の意義を概説できる。	I-1	耳鼻咽喉科学、皮膚科学の役割	1.0
					歯科に関わる皮膚科の意義を概説できる。	I-1		
5	4/23	田中、梅津	ユニット2 口腔医学各論6	歯学部で機能系基礎医学を学習する理由を理解する。	歯学における機能系基礎医学（生化学、感染生物学）の意義を説明できる。	I-1	機能系基礎医学（生化学・感染生物学）の内容	1.0
6	4/24	永嶋、柴田	ユニット2 口腔医学各論6	歯学部で機能系基礎医学を学習する理由を理解する。	歯学における機能系基礎医学（生理学・薬理学・分子生物学）の意義を説明できる。	I-1	心身医学、医療倫理の学習内容	1.0
7	4/30	八田、藤田、日高	ユニット2 口腔医学各論7	医療人における人格の涵養および教養の意義を理解する。	心身医学の概念を説明できる。	I-1	機能系基礎医学（生理学・薬理学・分子生物学）の内容	1.0
					医療倫理学・人文科学の意義を説明できる。	I-1		
8	5/1	平田、北尾	ユニット2 口腔医学各論8	研究マインドとは何か説明できる。	歯科医師の研究心・探求心と生涯学習の意義を説明できる。	I-1	基礎科学が医療に貢献する例	1.0
9	5/8	松浦、都築、加倉	ユニット2 口腔医学各論9	歯科診療中の補綴治療を概説できる。	補綴歯科治療の概略を説明できる。	I-1	補綴治療、インプラント治療の役割	1.0
					口腔インプラント治療の概略を説明できる。	I-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
10	5/15	谷口、今井	ユニット2 口腔医学各論 1	高齢社会の地域医療連携の問題点を理解する。	公衆衛生・地域医療における歯科の重要性を説明できる。	I-1	人口減少社会における保健医療介護福祉の問題点	1.0
11	5/22	香川、谷口、森田	ユニット2 口腔医学各論 10	医・口腔医学の内容を説明し、口腔歯学部学生としての自覚を認識できる。	口腔医学の内容を説明できる。	I-1	総論・各論知識の確認（客観試験）および病院での臨床の現場や研究室での研究（オリエンテーション）	1.0
12	5/29	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。①	I-1	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
13	6/5	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。②	I-1	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
14	6/12	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。③	I-1	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
15	6/19	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。③	I-1	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0

哲学 【講義】

科目番号 OD012001

前期：15コマ

評価責任者：永嶋哲也

担当教員：永嶋哲也

（一般目標）

物事を自分自身で正しく考えることができるような教養ある歯科医師となるために、一般教養科目の根源である哲学が取り扱ってきたさまざまな問題を知り、物事を根本から論理的に考察する過程をたどることによって、人間という存在の全体について自分自身で考える。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-8, I-9, II-1, II-2

（教育方法）

板書中心の講義形式。

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）

（学習方法）

授業を集中して聴く。考えをまとめ受講生間で意見交換（小グループでのディスカッション）をする。

教科書は指定しないので、予習は指定のキーワードについて内容をネット等で調べ、自分自身で考察し自説を考えておく。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

出席、授業態度などの平常点（20%）、ノートおよびミニレポート提出による達成度評価（30%）、学期末レポート（50%）などを総合評価する。

提出をしたノート、ミニレポートは、コメント（フィードバック）が記され、次回もしくは次々回の講義時に返却される。

（教科書）

使用せず。授業において適宜プリントが詳細資料として配布される。

（参考書）

野矢茂樹『哲学の謎』講談社現代新書、1996（対話形式のわかりやすい言葉遣いで哲学の問題を紹介した入門書）

村松茂美ほか『はじめて学ぶ西洋思想 ー思想家たちとの対話ー』ミネルヴァ書房、2005（さまざまな哲学者とその思想をコンパクトに紹介した哲学史の教科書）

そのほか講義の中で適宜紹介される。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/20	永嶋哲也	ユニット1 イントロダクション	哲学とはどういう学問か理解する	哲学がどのように始まったか述べる	I-9	キーワード「愛する、知る」	1.0
2	4/24	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「ある」「存在する」が持つ哲学上の問題点を説明する	I-8	キーワード「ある、存在する」	1.0
3	4/24	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「ある」「存在する」という表現のさまざまな意味を理解し区別する	I-8	キーワード「硬さがある、関係がある」	1.0
4	5/1	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「存在する」にかかわる哲学的意味を説明する	I-8	キーワード「欠席者がいる、神がいる、命がある」	1.0
5	5/1	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	実体と働きの区別を用いて心の存在にかかわる諸問題を整理する	I-8	キーワード「心がある」	1.0
6	5/8	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	他者の痛みについて原理的な議論をする	II-2	キーワード「他人の痛みがわかる」	1.0
7	5/15	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	心に関する機能主義について説明する	I-8	キーワード「機能主義」	1.0
8	5/22	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	こころは「脳である」と言えるかどうか説明する	I-8	キーワード「心脳同一説、還元主義」	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
9	5/29	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	機械もこころを持てるかの原理的可能性について説明する	I-8	キーワード「人工知能」	1.0
10	6/5	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	人間の認識について、プログラムによる出力との異同から説明する	I-8	キーワード「特異点、アラン・チューリング」	1.0
11	6/12	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	動作・振舞いと区別される行為について意味を説明する	II-1	キーワード「行動主義」	1.0
12	6/19	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	意志について「意図的・自覚的」という側面から説明する	II-1	キーワード「行為論」	1.0
13	6/19	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	他者の意志について人間以外の動物との比較から説明する	II-2	キーワード「物理主義、決定論」	1.0
14	6/26	永嶋哲也	ユニット6 因果と自由の謎	自由意志を因果連鎖との関連で考える	因果連鎖による決定論を物理法則と確率論との関連から説明する	I-8	キーワード「ラプラスのデーモン」	1.0
15	6/26	永嶋哲也	ユニット6 因果と自由の謎	自由意志を因果連鎖との関連で考える	因果連鎖による決定論を否定して意志の自由を擁護する	II-1	キーワード「自由意志」	1.0

倫理学入門【講義】

科目番号 OD012002

前期：15コマ

評価責任者：学生部長 永嶋哲也

担当教員：森 龍之介

（一般目標）

わたしたちは、個人的にであれ、社会的にであれ、「肉食はわるいことか」「死刑は廃止されるべきか否か」「そもそもよいとか正しいとかというのはどのような意味なのか」といった問いにゆきあたることがあります。通常このような問題は「倫理学」が扱う領域とされてきましたが、ことによると、多くの人からは「学問的に扱えるものではない」「数学や物理学などのように「正解」はない」といった具合で理解されているかもしれません。しかし、倫理学者・哲学者たちによる既存の議論を振り返ってみると、諸々の問いをていねいに分析し、倫理・道徳にかんするさまざまな意見はどのように根拠づけられるか検討することによって、日常的感覚・直観のレヴェルを脱した視点に立つことも可能であるということがわかります。したがって、この講義では、さまざまな倫理学の議論を紹介し、それを検討することを通じて、受講者自身が倫理・道徳にかんする主題をうまく考えてゆくための方法について、一定の理解を得ることを目指します。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-4, I-5, I-6, I-7, I-8, II-1, II-2, II-3

（教育方法）

配布資料と板書を利用した講義形式で行う。

（その他AL）

（学習方法）

予習：前回まで話の流れを、配布資料やメモを熟読することによって、再確認する。また、予告された次回の主題にかんして、自らの関心に沿って知識を深めておく。復習：記憶の鮮明なうちに講義内容を振り返る。また、リアクション・ペーパーの質問に対して、提出したものと別の回答を考え直してみる。（リアクション・ペーパーの提出は出席要件です。）【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

リアクション・ペーパー（3点×15回＝45点）と最終レポート（55点）の成績で評価する。
総合評価をポータルサイトに掲示する。

（教科書）

教科書は使用しない。各回で資料を配布する。

（参考書）

伊勢田哲治『倫理思考トレーニング』筑摩書房、2025。
その他の参考文献については、講義中に適宜紹介する。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/20	森	【ユニット1】イントロダクション	講義の主題を理解する。	①導入・倫理学とは何か：講義の主題である「倫理」や「道徳」等の言葉について理解を深め、講義の全体像と目的に即した主体的学修をはじめることができる。	I-7	倫理学の扱う事柄とはどのようなものかについて、調べ、考える。	1.0
2	4/24	森	【ユニット2】倫理と論理	「倫理的問題」とはいかなるものかを理解する。また、そうした問題をうまく考えるためのすべを身につける。	②ケーススタディ1：安楽死と尊厳死にまつわる問題を説明できる。また、そうした倫理的問題にかかわる推論のための道具立てを使いこなすことができる。	I-6	安楽死と尊厳死について調べ、考える。	1.0
3	4/24	森	【ユニット2】倫理と論理	「倫理的問題」とはいかなるものかを理解する。また、そうした問題をうまく考えるためのすべを身につける。	③ケーススタディ2：死刑制度にまつわる問題を説明できる。また、そうした倫理的問題にかかわる推論のための道具立てを使いこなすことができる。	I-6	死刑制度について、調べ、考える。	1.0
4	5/1	森	【ユニット3】倫理の根拠	倫理に関する通俗的見解の性格を理解する。	④文化的相対主義：文化的相対主義とはなにか、弱点をふまえて説明できる。	II-2	文化的相対主義について調べ、考える。	1.0
5	5/1	森	【ユニット3】倫理の根拠	倫理に関する通俗的見解の性格を理解する。	⑤倫理的主観主義：倫理的主観主義とはなにか、弱点をふまえて説明できる。	II-2	倫理的主観主義について調べ、考える。	1.0
6	5/8	森	【ユニット4】規範倫理①	帰結主義の考え方と問題点を理解する。	⑥利己と利他：行為の帰結と道徳的価値の結びつきについて、説明できる。	I-5	利己主義（エゴイズム）について調べ、考える。	1.0
7	5/15	森	【ユニット4】規範倫理①	帰結主義の考え方と問題点を理解する。	⑦功利主義（1）：ベンタムとミルのアイディアとその根拠を説明できる。	I-7	ベンタムとミルの功利主義について調べ、考える。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
8	5/22	森	【ユニット4】 規範倫理①	帰結主義の考え方と問題点を理解する。	⑧功利主義（2）：ペンタムとミルの議論の問題点を説明できる。	I-8	功利主義の問題点について調べ、考える。	1.0
9	5/29	森	【ユニット5】 授業前半部の復習	授業前半部で学んだことを確認する。また、文章執筆の技法と論文の様式・目的を理解する。	⑨授業前半部で学習した内容を整理できる。また、レポートで要求されていることを説明できる。	I-7	授業前半部の内容を復習する。	1.0
10	6/5	森	【ユニット5】 授業前半部の復習	授業前半部で学んだことを確認する。また、文章執筆の技法と論文の様式・目的を理解する。	⑩レポートに要求される事柄を踏まえて、執筆に必要な技術を説明できる。	II-3	論文・レポートをはじめとする文章の書き方について調べ、考える。	1.0
11	6/12	森	【ユニット6】 規範倫理②	義務論の考え方と問題点を理解する。	⑪義務論（1）：カントのアイディアとその根拠を説明できる。	I-4	カントの義務論について調べ、考える。	1.0
12	6/19	森	【ユニット6】 規範倫理②	義務論の考え方と問題点を理解する。	⑫義務論（2）：カントの議論の問題点を説明できる。	II-1	義務論の問題点について調べ、考える。	1.0
13	6/19	森	【ユニット7】 自由・権利・責任	実践的な場面に即して、倫理的問題を考える。	⑬ケーススタディ3：ドーピングやエンハンスメントにまつわる倫理的問題を、講義で学んだことを踏まえて、自分なりに議論できる。	II-1	個人の権利について調べ、考える。	1.0
14	6/26	森	【ユニット7】 自由・権利・責任	実践的な場面に即して、倫理的問題を考える。	⑭ケーススタディ4：刑法上の責任と免責にまつわる倫理的問題を、講義で学んだことを踏まえて、自分なりに議論できる。	II-1	道徳的責任と法的責任について調べる。	1.0
15	6/26	森	【ユニット8】 全体の復習	講義の内容を再確認する。	⑮講義全体の総括：講義の内容をふまえつつ、倫理的問題について、自分でうまく考えることができる。	I-8	これまでの内容をふまえて倫理的問題をみずから見出し、考える。	1.0

ライフコースの社会学 【講義】

科目番号 OD072008

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口 奈央

担当教員：友枝 敏雄

（一般目標）

人間は社会的な存在だと言われる。人間が社会を作り、その社会によって人間が作られる。医療従事者は人と接する上で、医療的な技術だけでなく、人とのコミュニケーション能力が求められている。この授業では、コミュニケーション能力の上昇を、他者理解という観点から考えていく。ミクロレベルの社会およびマクロレベルの社会における他者理解の方法とはいかなるものであるのか、他者理解によって、社会における人々の関係が円滑になり、幸せな社会にするにはどうしたらよいのかについて、学びながら、医療従事者として社会に貢献していく意欲を醸成していく。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-16

（教育方法）

資料配布と講義

（学習方法）

事前学習としては、講義資料および教科書を予習し、事前に内容を把握しておくこと。授業終了後、授業についての簡単な感想（コメント）を作成し、メールで送る。また、事後学習としては、授業で理解できなかった点を文献などを使って復習しておくこと。
【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

基本的にはレポートのみ（100%）。ただし、授業後に作成しメールで送る、授業の感想（コメント）は、レポート評価に加算される可能性がある。
総合評価をポータルサイトに掲示する。

（教科書）

友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴恵著『社会学のエッセンス（新版補訂版）』2017年、有斐閣。

（参考書）

友枝敏雄・山田真茂留編『Do！ソシオロジー（改訂版）』2013年、有斐閣

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	5/7	友枝	社会科学のなかの社会学	社会科学の一分野である社会学を理解する。	大学の学問分野を紹介し、社会学は社会科学の一分野であることを説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
2	5/14	友枝	「社会」の発見と社会学の誕生	19世紀にフランスで社会学が誕生したことを理解する。	西欧近代において「社会」が発見され、「社会」を探求する学問として社会学が誕生したことを説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
3	5/14	友枝	社会学とは	社会学の定義について理解する。	社会学という学問の特色を、経済学、政治学、心理学、文化人類学などの学問と比較しながら説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
4	5/21	友枝	社会の4つの領域と近代化の趨勢	社会の4つの領域について理解する。	社会の4つの領域の活動の担い手および4つの領域の変動の趨勢について説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
5	5/21	友枝	社会現象を客観的に捉えることはできるのか	社会現象を自然現象のように客観的に捉えることができるかどうかについて理解する。	社会現象を理解する際に、文化による違いがある場合とない場合とについて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
6	5/28	友枝	行為と意味（相互主観性）	人間の日々の活動の要素である行為と意味について理解する。	人間の日々の活動の要素である行為と意味について説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
7	5/28	友枝	アイデンティティ	自己を捉える際の中核的な概念であるアイデンティティを理解する。	自己を理解する、もしくは社会のなかの個人を的確に捉える概念としてのアイデンティティについて説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
8	6/4	友枝	スティグマ	自己および他者を捉える概念としてのスティグマを理解する。	自己および他者を捉える概念としてのスティグマについて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
9	6/4	友枝	正常と異常	社会で発生する正常な出来事と異常な出来事を理解する。	社会で発生する正常な出来事と異常な出来事を説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
10	6/11	友枝	ジェンダー	社会現象を捉える際の重要な概念であるジェンダーを理解する。	社会現象を捉える際の重要な概念であるジェンダーについて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
11	6/11	友枝	規範と制度	人間と社会を成り立たせている規範と制度を理解する。	人間と社会に秩序をもたらしている規範と制度について説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
12	6/18	友枝	不平等と正義	社会における不平等と正義を理解する。	社会において何が不平等であり、何が正義であるのかについて、数値データを用いて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
13	6/18	友枝	国家と市民社会	現代の人間に大きな影響を与える国家と市民社会を理解する。	現代の人間に大きな影響を与える国家と市民社会について説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
14	6/25	友枝	グローバル化と公共圏	21世紀の大きな社会変動であるグローバル化を理解する。	グローバル化のなかで、国民国家・資本主義・民主主義がどうなっていくのかについて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
15	6/25	友枝	まとめ	社会的動物としての特性を総合的に再確認する。	これまでの授業内容をふまえて、あらためて、人間と社会のあり方および私たちにとって幸せに暮らせる社会の可能性を説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0

比較文化論 【講義】

科目番号 OD072011

前期：15コマ

評価責任者：岡島 勇太

担当教員：岡島 勇太
西谷 郁

(一般目標)

今日の医療従事者には、医療技術を支え、医療コミュニケーションを円滑にし、医療従事者自身のQOLを高めるための広範な知識や考え方が求められている。それらを遂行するためのひとつの切り口として、比較論的な視点を持つことがあげられる。この視点は、医療環境の国際化、医療の国際協力など、国際的な視点を養い、他国の文化についての見識を高めることにも繋がるが、さらに、異領域相互の比較を行うことで、諸問題の本質的理解力が増すことにもなる。この授業ではそのような視点から、現代文化の比較にとどまらず、歴史的な文化背景（神話や伝説なども含めて）の比較や異領域比較をも講義の対象として、多くの実例を参照しながら、視野を広げ、自ら文化間の諸問題を探し出し、自己学習によってそれを考察し解決する力を身につけることを目標とする。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-1

(教育方法)

講義のほか、比較文化の理解を深める目的でDVD、CD、文芸作品等を適宜使用する。
既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。
(グループワーク)

(学習方法)

授業前後に、自国文化と他国文化の類似点・相違点を考え、疑問点があれば各自で調べる。 【単位修得に必要な授業外学習
(予習・復習) 時間： 15.0 時間】

(評価)

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：最終レポート採点后に成績通知

(教科書)

プリントを配布する。

(参考書)

青木保『多文化理解』岩波新書、2003年。
久保田信之『ここが違う東西比較文化論』学分社、2006。
三苦民雄『人びとのかたち—比較文化論』ふくろう出版、2011。
それぞれの著書は文化を比較することに対する理解を深めるのに役立つ。

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	5/7	西谷	ユニット1 記録と文学の比較：伝染病と記憶	人類の歴史において文字テキスト情報は目的により内容が異なる。文字の役割と意義を考える。	文字テキスト情報を比較分析することで目的と意義を分析し自身の考えを述べる。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
2	5/14	西谷	ユニット2 オリエンタリズムとは何か	ダイバーシティとはなにか、それを実践するためにはどうすべきか実践の重要性を認識する。	自文化と多文化をどう比較するのか、多様性を評価する意義と向き合い方を考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
3	5/14	西谷	ユニット3 麦の伝播と宮崎駿の創造性	麦の伝播を表現するためにチベットの民話を宮崎駿は『シュナの旅』になぜ翻訳したか。比較分析する。	テキストの形式は読者層を的確に見定めることにより決定づけられる。食物の大切さを啓蒙する意義を比較考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
4	5/21	西谷	ユニット4 アレクサンドロスと中村哲先生の文明共存	古代のアレクサンドロスと中村哲先生の実践例から文明共存の実例を比較考察する。	困難な社会状況において相互理解と協力の実践がいかに可能か比較考察する	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
5	5/21	西谷	ユニット5 東アジアの文化交流：金印・沖ノ島・鴻臚館	福岡は異文化交流をどのように可能にしたのか、地域に残る社会経済の足跡を比較分析する。	文化は社会経済や政治など様々な分野と競合し構造化する、その実践例を比較考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
6	5/28	西谷	ユニット6 遣唐使と医療	中国唐王朝と日本は、仏教を通じた食食同源の思想を定着させた。その過程を比較分析する。	医療の実践を行うために仏教がいかに有効に機能したのか比較考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
7	5/28	西谷	ユニット7 歴史小説と観光行動：シルクロードとモンゴル帝国のイメージ形成	文化のイメージが形式化され一般に定着する過程を、歴史小説や観光行動の実例から比較分析する。	歴史小説やゲームで醸成したイメージが観光行動に直結しうるのが比較考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
8	6/4	岡島	ユニット8 欧米文化と日本文化を比較する（1）	「文化を比較する」ということの意味について考える。	文化を比較することの意義を述べる	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
9	6/4	岡島	ユニット9 欧米文化と日本文化を比較する（2）	言語に表れる文化の差異について理解する。（1）	外国文化と自国文化の背景にある相違点や類似点を考察し理解を深める	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
10	6/11	岡島	ユニット10 欧米文化と日本文化を比較する（3）	言語に表れる文化の差異について理解する。（2）	外国文化と自国文化の背景にある相違点や類似点を考察し理解を深める	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
11	6/11	岡島	ユニット11 欧米文化と日本文化を比較する（4）	言語に表れる文化の差異について理解する。（3）	外国文化と自国文化の背景にある相違点や類似点を考察し理解を深める	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
12	6/18	岡島	ユニット12 欧米文化と日本文化を比較する（5）	欧米文化や日本文化の背景について理解する。	文化を比較することの意義を述べる	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
13	6/18	岡島	ユニット13 欧米文化と日本文化を比較する（6）	英語圏文化の特色について理解する。	自国や他国の文化の特徴を比較する	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
14	6/25	岡島	ユニット14 欧米文化と日本文化を比較する（7）	社会生活とマナーについて比較し相違を理解する。	自国や他国の文化の特徴を比較する	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
15	6/25	岡島	ユニット15 欧米文化と日本文化を比較する（8）	欧米文化や日本文化の相違を振り返り今後の国際性の意義を理解する。	自国や他国の文化の特徴を比較する	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

福博の歴史と文化探訪【講義】

科目番号 OD072012

前期：15コマ

評価責任者：藤田 亜美

志村 宗恭（裏千家茶道教室教授）、
高野 龍也（鳥飼八幡宮権禰宜）、
高山 英朗（福岡市博物館学芸課）、
担当教員：原田 昌行（原田織物株式会社社長）、
平山 道宜（紅葉八幡宮禰宜）、
本田 浩二郎（福岡市経済観光文化局文化財部鴻臚館跡整備係長）、
宮川 由衣（西南学院大学博物館学芸員）、
藤田 亜美

（一般目標）

福岡・博多の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から学び、地域について考えることを目的とした地域志向科目である。福博の地域の成り立ちに関わる歴史的背景や社会環境の特性を理解し、革新をもたらし、伝統を守ってきた先人の地域貢献への努力を学び、われわれが社会人としてどのような社会貢献をしていくかを考える姿勢を身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-8, II-4, V-2

（教育方法）

受講定員は20名程度で、講義に加えて現地見学を行う。現地見学は4回あるが、そのうちの3回に参加することが必須である。当該科目では将来の医療人としてふさわしい節度ある行動をすることを重視するため、講師への敬意をもった態度をとることはもちろん、無断欠席や遅刻をしないなど、一般常識に則った行動を求める。

（グループワーク）（フィールドワーク）

（学習方法）

各回の予習の項目について、インターネットや刊行物、図書などで調べておく。特に、現地見学では対象施設に各自で直接集合するので、集合時間に遅れないようにアクセスについても事前に調べておくこと。また、現地見学の最中に様々な指示があるので、指示を聞き漏らさないように常に注意しておくこと。なお、毎回の講義および現地見学に関する振り返り課題およびレポートの提出が必須である。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

出席点（30%）、講義や現地見学に関する振り返り課題（45%）、レポート（25%）の合計で評価する。なお、振り返り課題やレポートの提出は必須であり、提出しなかった場合は減点がある。また、講義や現地見学を欠席した場合、関連する振り返り課題を提出しても評価の対象としない。すべての授業と現地見学およびレポート提出が終了した後、成績を発表する。

（教科書）

特に指定しない。

（参考書）

特に指定しない。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/24	志村・藤田	ユニット1 福岡博多の歴史と文化に触れてみよう	福博の歴史と文化探訪の概要を資料にもとづいて理解する。	現地見学で訪問する施設について説明できる。	I-8	博多・福岡の歴史や文化のキーワードを5つ選ぶとしたら何か、書き出しておく。	1.25
2	5/9	[2回] 本田・藤田	ユニット2 福岡博多の歴史と文化を探索する：現地見学（1）	鴻臚館跡や福岡市博物館の見学を通じて、福岡・博多の歴史と文化を理解する。	鴻臚館や福岡城の歴史について説明できる。	V-2	[2回] 鴻臚館跡遺跡展示館へのアクセス（道順、利用交通機関、所要時間）を調べる。	[2] 0.8
3	5/9	[3回] 本田・藤田			福岡市博物館について説明できる。	V-2	[3回] 鴻臚館跡遺跡展示館とはどのような施設か調べる。	[3] 0.5
4	5/9	[4回] 高山・藤田					[4回] 福岡市博物館へのアクセス（道順、利用交通機関、所要時間）を調べる。	[4] 0.8
5	5/9	[5回] 高山・藤田			現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な態度で学ぶことができる。	II-4	[5回] 福岡市博物館とはどのような施設か調べる。	[5] 0.5

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	5/11	志村・藤田	ユニット3 福岡博多の歴史と茶の文化（1）	「茶」の文化を通じて福岡や博多の歴史を理解する。	福岡博多における「茶」の歴史を学ぶ。	I-8	お茶の木や抹茶の製法はいつ頃どのようにして日本に伝えられたか調べる。	0.8
7	5/16	[7回] 高野・藤田	ユニット4 福岡博多の歴史と文化を探究する：現地見学（2）	鳥飼八幡宮や西南学院大学関連施設の見学を通じて、福岡・博多の歴史と文化を理解する。	鳥飼八幡宮について説明できる。	V-2	[7回] 鳥飼八幡宮へのアクセス（道順、利用交通機関、所要時間）を調べる。	[7] 0.5
8	5/16	[8回] 高野・藤田			西南学院大学とキリスト教文化について説明できる。	V-2	[8回] 鳥飼八幡宮とはどのような神社か調べる。	[8] 0.8
9	5/16	[9回] 宮川・藤田					[9回] 西南学院大学博物館へのアクセス（道順、利用交通機関、所要時間）を調べる。	[9] 0.5
10	5/16	[10回] 宮川・藤田			現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な態度で学ぶことができる。	II-4	[10回] 西南学院大学博物館や聖書植物園とはどのような施設か調べる。	[10] 1.25
11	5/30	[11回] 原田・藤田	ユニット5 福岡博多の歴史と文化を探究する：現地見学（3）	博多町家ふるさと館や福岡アジア美術館の見学を通じて、福岡・博多の歴史と文化を理解する。	博多織の歴史について説明できる。	V-2	[11回] 福岡商工会議所や博多町家ふるさと館へのアクセス（道順、利用交通機関、所要時間）を調べる。	[11] 0.8
12	5/30	[12回] 原田・藤田			福岡アジア美術館について説明できる。	V-2	[12回] 博多織とはどのような織物か調べる。	[12] 0.5
13	5/30	[13回] 藤田					[13回] 福岡アジア美術館へのアクセス（道順、利用交通機関、所要時間）を調べる。	[13] 0.8
14	5/30	[14回] 藤田			現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な態度で学ぶことができる。	II-4	[14回] 福岡アジア美術館とはどのような施設か調べる。	[14] 0.5
15	6/6	[15回] 平山・藤田	ユニット6 福岡博多の歴史と文化を探究する：現地見学（4）	紅葉八幡宮やふくや味の明太子工場ハクハクの見学を通じて、福岡・博多の歴史と文化を理解する。	紅葉八幡宮について説明できる。	V-2	[15回] 紅葉八幡宮へのアクセス（道順、利用交通機関、所要時間）を調べる。	[15] 0.8
16	6/6	[16回] 平山・藤田			ふくや味の明太子工場ハクハクについて説明できる。	V-2	[16回] 紅葉八幡宮とはどのような神社か調べる。	[16] 0.8
17	6/6	[17回] 藤田					[17回] ふくや味の明太子工場ハクハクへのアクセス（道順、利用交通機関、所要時間）を調べる。	[17] 0.8
18	6/6	[18回] 藤田			現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な態度で学ぶことができる。	II-4	[18回] ふくや味の明太子工場ハクハクとはどのような施設か調べる。	[18] 1.0
19	6/8	志村・藤田	ユニット7 福岡博多の歴史と茶の文化（2）	「茶」によるおもてなしを通じて、福岡・博多の歴史と文化を理解する。	「茶」によるおもてなしの文化を説明できる。	I-8	茶道のおもてなしの哲学について調べる。	1.25

後 期

スポーツⅡ 【実習】

科目番号 OD011023

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口 奈央

担当教員：町田由紀子、東和樹

（一般目標）

スポーツをととして健康管理の方法としてスポーツの基礎技術や戦術について体験的に学修し、体力を向上させると同時に、スポーツを楽しむ態度を養う。また練習やゲーム等をととして心理社会的スキル（目標設定スキルやコミュニケーションスキルなど）について理解し、改善・向上させる。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

I-4, I-8, II-3

（教育方法）

実習

（実習・演習）

（学習方法）

体験学習、その他予習の項目に記載の内容を参考にすること 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

授業参加態度（50%）服装違反 減点 1 実技試験および授業中の提出物（50%）
評価後、評価結果を呈示する。

（教 科 書）

なし

（参 考 書）

種目のルール等のプリント配布

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/2	町田由紀子、橋本聖子	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・オリエンテーション ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 II-3	・体調管理について考え実践する	1.0
2	9/9	町田由紀子、橋本聖子	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける ・スポーツ種目の基礎知識を身につける	他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 II-3	・基礎知識を理解する	1.0
3	9/16	町田由紀子、橋本聖子	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける ・スポーツ種目の基礎技能を理解する	他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる。	II-3 II-3	・基礎技術を理解する	1.0
4	9/30	町田由紀子、橋本聖子	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・スポーツ種目の基礎技能を習得する	お互いにコミュニケーションをとる。	II-3	[4回] ・基礎技能の復習をする	4] 1.0
5	10/7				基礎技術の反復練習をする。	I-4	[5回] ・基礎技能の復習をする	5] 1.0
6	10/14	町田由紀子、橋本聖子	ユニット2 スポーツ種目の基礎技術（戦術）	・スポーツ種目の基礎技能（戦術）を理解する	お互いにコミュニケーションをとる。 ケースに応じた基礎技術の反復練習をする。	II-3 I-4	・戦術を理解する	1.0
7	10/21	町田由紀子、橋本聖子	ユニット2 スポーツ種目の基礎技術（戦術）	・スポーツ種目の基礎技能（戦術）を習得する	お互いにコミュニケーションをとる	II-3	[7回] ・戦術を理解する	7] 1.0
8	10/28				ケースに応じた基礎技術の反復練習をする	I-8	[8回] ・戦術を理解する	8] 1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
9	11/4	町田由紀子、橋本聖子	ユニット3 スポーツ種目の基礎知識・基礎技能 （ニュースポーツ①）	・スポーツ種目の基礎知識・基礎技術を理解する ・チームワークを高める	お互いにコミュニケーションをとる 他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3 I-8	・基礎知識・基礎技術を理解する	1.0
10	11/11	町田由紀子、橋本聖子	ユニット3 スポーツ種目の基礎知識・基礎技能 （ニュースポーツ②）	・スポーツ種目の基礎知識・基礎技術を理解する ・チームワークを高める	お互いにコミュニケーションをとる 他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3 I-8	・基礎知識・基礎技術を理解する	1.0
11	11/18	町田由紀子、橋本聖子	ユニット4 スポーツ種目の応用知識・応用技能	・ゲームによる総合技能の習得（動きと戦術）	お互いにコミュニケーションをとる チームメンバーとゲームの内容を振り返り、戦術をたてる	II-3 II-3	・応用技術の復習をする	1.0
12	11/25	町田由紀子、橋本聖子	ユニット4 スポーツ種目の応用知識・応用技能	・ゲームによる総合技能の習得（動きと戦術・ルールと審判の実践）	お互いにコミュニケーションをとる チームメンバーとゲームの内容を振り返り、戦術をたてる	II-3 II-3	[12回] ・応用技術の復習をする ・審判の基礎知識を理解する。 ・ゲームの研究をする [13回] ・審判の基礎知識を理解する。 ・前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う。 [14回] ・ゲームの研究をする。 ・前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う。	[12] 1.0 [13] 1.0 [14] 1.0
15	12/16	町田由紀子、橋本聖子	ユニット5 活動のまとめ	・スポーツ全般の知識と技術	他者と協力して目的達成に寄与する。 お互いにコミュニケーションをとる	II-3 II-3	・スポーツ全般の知識と技術を理解する。	1.0

知的技法Ⅱ 【講義】

科目番号 0D011017

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、永嶋哲也

担当教員：松井貴英、住吉燦史郎、宮内孝啓

（一般目標）

前期の授業（知的技法Ⅰ）では様々な知的技法を学び、グループ・ワークでの研究成果を発表してもらった。しかし、大学では研究成果の発表のみならず、それをレポートや論文にまとめることも求められる。レポートや論文の作成にかかわる知的技法は「アカデミック・ライティング」と呼ばれる。後期の知的技法Ⅱでは、アカデミック・ライティングを学び、グループ単位での問題を自分の問題として捉え直すことを通じて、レポート作成ができるようになることを目指す。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-7, I-8, I-9

（教育方法）

講義。板書・スライド・配布資料を用いながら解説を行う。また、適宜グループ・ワーク（相互添削等）を課す。

（グループワーク）

（学習方法）

授業に集中すること。また、毎回の授業へのリアクション・ペーパーを授業終了後に提出すること。（リアクション・ペーパーの提出がなければ出席とみなさない） 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

平常点（授業への参加状況、授業内で課されるワークへの取り組みの状況およびその成果等、これらをもとに総合的に評価する）30%
学期末のレポート提出70%
掲示により成績通知を行う。

（教 科 書）

指定しない。毎回の講義で扱うレジュメを配布する。

（参 考 書）

河野哲也（2002）．『レポート・論文の書き方入門』，東京，慶応義塾大学出版会．
木下是雄（1994）．『レポートの組み立て方』，東京，筑摩書房．
戸田山和久（2013）．『新版 論文の教室——レポートから卒論まで』，東京，NHK出版．
伊勢田哲治（2005）．『哲学思考トレーニング』，東京，筑摩書房．

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/7	松井、住吉、宮内	ユニット1 イントロダクション	本講義の全体像と目的を理解する	本講義の全体像と目的を説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					「アカデミックライティング」という言葉の内実を説明できる	I-7		
2	9/14	松井、住吉、宮内	ユニット2 レポートの役割	レポートの役割を理解する	レポートとはいかなるものかを説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					大学生のレポートと社会人のレポートがどのようなものかを説明できる	I-7		
3	9/28	松井、住吉、宮内	ユニット3 事実と意見の区別	事実と意見の区別を理解する	事実と意見を区別できるようになる	I-8	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートが事実の記述を重視することを説明できる	I-9		
4	10/5	松井、住吉、宮内	ユニット3 事実と意見の区別	事実と意見の区別を理解する	事実と意見の定義を説明できる	I-8	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
5	10/19	松井、住吉、宮内	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートを作成する手順を説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの主題を決定することができる	I-9		
6	10/28	松井、住吉、宮内	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートの目標規定文（主題文）を作成することができる	I-9	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの材料を集めることができる	I-8		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
7	11/2	松井、住吉、宮内	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートの様々な制約を説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの標準的構成を説明できる	I-7		
8	11/9	松井、住吉、宮内	ユニット5 本講義前半部のまとめ	講義前半部で学んできたことの理解度を確認する	これまでの講義内容を説明できる。また、事実に関する文と意見文を実際に書き分けてみる	I-8	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
9	11/9	松井、住吉、宮内	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要不可欠な作業を実践する	読み手の立場になってレポートの文章を説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの叙述の順序を説明できる	I-7		
10	11/16	松井、住吉、宮内	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要不可欠な作業を実践する	事実の記述と意見の記述をできるようになる	I-9	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					明快で明確な文章を書くことができるようになる	I-7		
11	11/16	松井、住吉、宮内	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要不可欠な作業を実践する	文章のパラグラフ構造を理解し、実際に組み立てることをできるようになる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
12	11/30	松井、住吉、宮内	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要不可欠な作業を実践する	すらすら読める文・文章を書くことができるようになる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
13	11/30	松井、住吉、宮内	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要不可欠な作業を実践する	レポート用紙を正しく使うことができる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					区切り記号を正しく使うことができる	I-7		
14	12/7	松井、住吉、宮内	ユニット7 レポートの書き方	書評作成に向けた文章作成法について説明できる	出典を正しく示すことができる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					表と図を正しく使用できる	I-7		
					レポートの読み直しと修正を行うことができる	I-8		
15	12/14	松井、住吉、宮内	ユニット8 全体のまとめ	本講義で学んできたことの理解度を確認する	本講義で学んできたことを説明できる	I-9	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0

経済学【講義】

科目番号 OD011010

後期：15コマ

評価責任者：学生部長

担当教員：山崎 好裕

（一般目標）

医療人として経済の仕組みができるようになり、経済学に基づく社会情勢の理解が可能になること。

（獲得できるディプロマ・ポリシー〔DP〕）

I-6

（教育方法）

講義形式で授業を行うが、利用可能なツールを用いたアクティブラーニングも適宜取り入れる。□

（その他AL）

（学習方法）

予習はテキストの該当する範囲を読んでおくこと（90分）。復習は授業内容をまとめて理解を定着させること（90分）。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：30.0時間】

（評価）

定期試験で100%の評価とする。
評価結果をポータルサイトに掲示する。

（教科書）

山崎好裕『目からウロコの経済学入門』ミネルヴァ書房、2004年。

（参考書）

特に指定しない。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/9	山崎	経済の大きさって？	GDPの理解	付加価値とGDPについて説明できる	I-6	テキスト1～10ページ	2.0
2	9/28	山崎	所得の分配と社会保障	所得の理解	さまざまな所得について説明できる	I-6	テキスト11～18ページ	2.0
3	10/5	山崎	家計は経済の増幅器	家計の役割の理解	家計と消費について説明できる	I-6	テキスト19～28ページ	2.0
4	10/14	山崎	働けど働けど…	所得格差の理解	雇用と所得について説明できる	I-6	テキスト29～36ページ	2.0
5	10/19	山崎	企業は誰のもの	企業の理解	企業と産業について説明できる	I-6	テキスト37～46ページ	2.0
6	10/26	山崎	投資は経済の原動機	投資の理解	投資と経済について説明できる	I-6	テキスト47～56ページ	2.0
7	11/2	山崎	政府の役目と税金の仕組み	政府の収入の理解	政府と税金について説明できる	I-6	テキスト57～66ページ	2.0
8	11/2	山崎	政府のお金の使い方	政府の活動の理解	政府と政策について説明できる	I-6	テキスト67～76ページ	2.0
9	11/9	山崎	お金は経済の血液	通貨の理解	中央銀行と貨幣について説明できる	I-6	テキスト77～86ページ	2.0
10	11/16	山崎	金融の仕組みをのぞいてみれば	金融市場の理解	銀行と金融について説明できる	I-6	テキスト87～96ページ	2.0
11	11/30	山崎	金利はどうやって決まる？	資本市場の理解	証券会社と保険会社について説明できる	I-6	テキスト97～106ページ	2.0
12	12/7	山崎	国のつきあいと国際収支	国際収支の理解	経常収支と金融収支について説明できる	I-6	テキスト107～116ページ	2.0
13	12/7	山崎	為替レートが決まり方	為替レートの理解	現物市場と先物市場について説明できる	I-6	テキスト117～126ページ	2.0
14	12/14	山崎	物価は経済の体温	物価の理解	物価指数について説明できる	I-6	テキスト127～136ページ	2.0
15	12/14	山崎	これからどうなる！	経済成長の理解	経済成長と景気循環について説明できる	I-6	テキスト137～145ページ	2.0

人文科学 【講義】

科目番号 OD011026

後期：15コマ
 評価責任者：岡島勇太
 岡島勇太
 担当教員：檜崎洋一郎
 Vera Yagubova

（一般目標）

本講義は、国際的な視野に立ち、各講師がさまざまな文学作品を取り上げて、国際力（外国の諸事情、民族性等）やコミュニケーション能力（読み取る力、自分の意見をまとめて伝える力、相手の言葉を理解し応答する力等）の育成、向上を目指す。文学作品は、一時代、一作家に限定せず、国内、国外の広い範囲から取り上げて国際的視野を拓ける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

VI-1

（教育方法）

講義のほか、人文科学の理解を深める目的で視聴覚教材を適宜使用する。既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。（グループワーク）

（学習方法）

授業前後に国際社会における様々な問題点を調べ、講義を通じて問題解決に至る糸口を見つけること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：最終レポート採点后に成績通知

（教 科 書）

プリントを配布する。

（参 考 書）

中国文学入門（講談社学術文庫）
 新版 ロシア文学案内（岩波文庫）
 はじめての文学講義——読む・書く・味わう（岩波ジュニア新書）
 映画で楽しむイギリスの歴史（金星堂）
 それぞれの書籍は平易な文章で書かれていて読みやすく、文芸作品の読み方や国際力の向上に役に立つ。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/2	檜崎	ユニット1 「文学」として読む諸子百家（『論語』）（その1）	中国の思想について理解する。（1）	中国の文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
2	9/4	檜崎	ユニット2 「文学」として読む諸子百家（『論語』）（その2）	中国の思想について理解する。（2）	中国の文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
3	9/9	檜崎	ユニット3 「文学」として読む諸子百家（『老子』）	中国の思想について理解する。（3）	中国の文学作品を解釈し、それぞれの特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
4	9/11	檜崎	ユニット4 「文学」として読む諸子百家（その他の諸子百家たち）（その1）	中国の思想について理解する。（4）	中国の文学作品を解釈し、自分の意見を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
5	9/16	檜崎	ユニット5 「文学」として読む諸子百家（その他の諸子百家たち）（その2）	中国の思想について理解する。（5）	中国の文学作品を解釈し、自分の意見を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	10/14	岡島	ユニット6 ウィリアム・シェイクスピアの作品『ハムレット』など	ヨーロッパ（特にイギリス）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（1）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
7	10/21	岡島	ユニット7 ジェイン・オースティンの作品『分別と多感』など	ヨーロッパ（特にイギリス）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（2）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
8	10/28	岡島	ユニット8 チャールズ・ディケンズの作品『オリヴァー・ツイスト』など	ヨーロッパ（特にイギリス）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（3）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
9	11/4	岡島	ユニット9 J. R. R. トールキンの作品『ホビットの冒険』など	ヨーロッパ（特にイギリス）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（4）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
10	11/11	岡島	ユニット10 ノーベル文学賞作家 カズオ・イシグロの作品『日の名残り』など	ヨーロッパ（特にイギリス）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（5）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、自分の意見を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
11	11/18	Yagubova	ユニット11 ロシアのおとぎ話の不思議な世界へようこそ！ロシアの民謡民話。アレクサンドル・アフナーシエフ、ウラジーミル・ダークリ。ロシアの挿絵とおとぎ話の世界。現代のロシアのおとぎ話。セルゲイ・コズロフ、ユーリ・ノルシュテイン	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（1）	ヨーロッパや日本の文学作品について調べ、自分の意見をまとめて表現する。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
12	11/25	Yagubova	ユニット12 ロシア文学の黄金時代（ゴールデンエイジ）（1）アレクサンドル・プーシキン、ミハイル・レールモンツフ、ニコライ・ゴーゴリ	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（2）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
13	12/2	Yagubova	ユニット13 ロシア文学の黄金時代（ゴールデンエイジ）（2）フョードル・ドストエフスキー、レフ・トルストイ、イワン・ツルゲーネフ、アントン・チェーホフ	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（3）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
14	12/9	Yagubova	ユニット14 ロシア文学のシルバーエイジ： アンナ・アフマトヴァ、マリナ・ツヴェターエワ、ウラジーミル・マヤコフスキー	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（4）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
15	12/16	Yagubova	ユニット15 ソビエト時代と現代ロシア文学： ミハイル・ブルガーコフ、イリフ・ペトロフ、セルゲイ・コズロフ、ボリス・アクニン、エフゲニー・ヴォドラスキン	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（5）	ヨーロッパと日本の文学作品について調べ、自分の意見をまとめて表現する。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0

異文化理解 【講義】

科目番号 OD011024

後期：15コマ
 評価責任者：学生部長
 岡島勇太
 担当教員：西谷郁
 金智淑

（一般目標）

本講義は、異文化の理解を通じて自ら文化間の諸問題を探し出し、自己学習によってそれを考察し解決する力を身につけることを目標とする。医療環境の国際化、医療の国際協力などにより、現代あるいは将来の医療従事者には国際的な視点に立った異文化についての見識が要求されている。この授業ではその中で、姉妹校や、福岡という場所の関係から、特に、中国、韓国、アメリカ、あるいはヨーロッパ等の異文化について理解と見識を深めることを目的とする。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

VI-1

（教育方法）

講義のほか、異文化理解を深める目的でDVD、CD、文芸作品等を適宜使用する。既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。

（グループワーク）

（学習方法）

授業前後に、自国文化と他国文化の類似点・相違点を考え、疑問点があれば各自で調べること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：最終レポート採点后に成績通知

（教科書）

プリントを配布する。

（参考書）

青木保『異文化理解』岩波新書、2001年。 青木保『多文化理解』岩波新書、2003年。 葛 兆光、他『中国再考——その領域・民族・文化』岩波現代文庫、2016年。 任 栄哲『韓国の日常世界—生活・社会・文化の基礎知識』ベスト新書、2004年。 池田智、松本利秋編『早わかりアメリカ』日本実業出版社、2009年。
 それぞれの著書は異文化の理解を深めるのに役立つ。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	岡島	欧米文化について（1）	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（1）	アメリカ文化やヨーロッパ文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
2	9/11	岡島	欧米文化について（2）	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（2）	欧米文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
3	9/11	西谷	中世の東アジア文化について	中世の東アジアでは急速に経済交流が発展し、古典小説が広く流通するようになった。作品のコンセプトと精神性について理解する。	東アジア文化の配布試料、ビデオ映像等を鑑賞して、異文化を理解する。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
4	9/18	西谷	東南アジアのメディア文化について	東南アジアのメディア文化を学び、多くの外国人労働者と共生すべきか、基本的なコミュニケーションの題材を理解する。	今後増加が見込まれる東南アジアの医療関係者とコミュニケーションするための背景となる基礎的な文化を理解し、医療人として将来的に役に立つ実践的な異文化理解の方法を推論する。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
5	9/18	西谷	インドと中東アジアのメディア文化	インドと中東アジアのメディア文化を学び、多くの外国人労働者と共生すべきか、基本的なコミュニケーションの題材を理解する。	今後注目されるインドや中東アジアの情勢の基礎的な文化を理解し、医療人として将来的に役に立つ実践的な異文化理解のための類似点や相違点を列挙する。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
6	9/25	岡島	欧米文化について（3）	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（3）	異文化の人々との接し方より良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
7	10/2	西谷	中国近代のメディア文化について	中国の近代のメディア文化を理解するために、二人の女優が対峙した誹謗中傷とプロパガンダという問題解決の実例を分析し歴史認識問題について基本的なコミュニケーション方法を理解する。	異文化を理解するためには様々な障害があり誹謗中傷やプロパガンダの問題を理解することで現代のメディアリテラシーの問題を考察する。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
8	10/2	西谷	現代日本とディアスポラについて	アジアの現代文化に多大な影響を及ぼした日本のポップカルチャーと、グローバルに活躍するディアスポラに着目し今後のアジアの異文化理解の意義を考察する。	日本のポップカルチャーの功績とディアスポラが実践する異文化を越えた活躍の在り方を理解し未来の活動へと結びつける。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
9	10/9	岡島	欧米文化について（4）	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（4）	異文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
10	10/16	岡島	欧米文化について（5）	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（5）	異文化の人々との接し方より良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
11	11/4	金	韓国文化について（1）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（1）	韓国文化の配付資料、ビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
12	11/11	金	韓国文化について（2）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（2）	韓国文化の配付資料、ビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
13	11/18	金	韓国文化について（3）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（3）	韓国文化の配付資料、ビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
14	12/2	金	韓国文化について（4）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（4）	韓国文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
15	12/9	金	韓国文化について（5）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（5）	韓国文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

communication training 【演習】

科目番号 OD011021

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口 奈央

担当教員：町田 由紀子

（一般目標）

創造性・協調性・多様性など、円滑なコミュニケーションに必要ないくつかの方法を通して理解し、身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

I-8, II-1, II-3, II-4

（教育方法）

小グループなどのグループワーク学習を取り入れる。

（グループワーク）（実習・演習）

（学習方法）

グループ学習

各授業の「予習の項目」に記載の内容を参考にすること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

授業参加態度（50%）発表およびレポート・授業中の提出物（50%）

評価後、評価結果を呈示する。

（教 科 書）

指定なし

（参 考 書）

「楽しさをととした心の元気づくり～レクリエーション支援の理論と方法～」（公財）日本レクリエーション協会

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	町田由紀子	ユニット1 オリエンテーション	授業の目的・意義・内容について理解する	自己紹介および相手を知る	II-4	初対面のコミュニケーションについて考える	1.0
2	9/10	町田由紀子	ユニット2 アイスブレイキング	アイスブレイキングの手法を知る	自分を知る、相手を知る作業をする	II-4	アイスブレイクの目的と方法について調べる	1.0
3	9/17	町田由紀子	ユニット2 アイスブレイキング	アイスブレイキングの効果について理解する	多くの人とコミュニケーションをとる	II-3	アイスブレイクの効果について調べる	1.0
4	9/24	町田由紀子	ユニット3 コミュニケーションの手法	バーバルコミュニケーション・ノンバーバルコミュニケーションを理解する	コミュニケーションの方法の違いを理解する	II-3	コミュニケーションの方法について調べる	1.0
5	10/1	町田由紀子	ユニット4 コミュニケーションと信頼関係づくり	からだ気づき・身体の癖を知る	ペアワークを行いながら自分の身体の癖を知る	II-3	コミュニケーションの方法について調べる	1.0
6	10/8	町田由紀子	ユニット4 コミュニケーションと信頼関係づくり	コミュニケーションの距離について理解する	課題解決型ゲームを実践する イニシアティブゲーム1	I-8	課題解決型ゲームについて調べる	1.0
7	10/15	町田由紀子	ユニット4 コミュニケーションと信頼関係づくり	コミュニケーションの距離について理解する	課題解決型ゲームを実践する イニシアティブゲーム2	I-8	課題解決型ゲームについて調べる	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
8	10/22	町田由紀子	ユニット5 ホスピタリ ティトレー ニング プラ インドウオー ク	視覚障害者のコミュニケーションを理解する	視覚障害者のコミュニケーションを理解する	II-1	視覚障害者への配慮について考える	1.0
				環境を理解する	自然を用いたグループワークで環境を知る	II-1		
9	10/29	町田由紀子	ユニット6 コミュニケーション トレーニング	良好な集団づくり（チームビルディング）について理解する	仲間づくりのアクティビティとふりかえりの重要性を理解する	II-1	チームビルディングについて調べる	1.0
10	11/5	町田由紀子	ユニット6 コミュニケーション トレーニング	良好な集団づくり（意見を言う・聞く・理解する）	他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3	イニシアティブゲームについて調べる	1.0
					多様性について理解する	II-3		
11	11/12	町田由紀子	ユニット6 コミュニケーション トレーニング	良好な集団づくり（意見を言う・聞く・理解する）	他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3	イニシアティブゲームについて調べる	1.0
					自分の意見をはっきりと言う、人の意見を受け止める	II-3		
12	11/19	町田由紀子	ユニット7 チーム作業1 ホスピタリ ティトレー ニング 手 話・手話ソ ング	聴覚障害者のコミュニケーションを理解する	聴覚障害者のコミュニケーションを理解する	II-1	挨拶など日常生活で使える手話表現について調べる	1.0
13	11/26	町田由紀子	ユニット7 チーム作業2 ホスピタリ ティトレー ニング 手 話・手話ソ ング	レクリエーション支援企画書作成	対象にあわせたレクリエーション・ワークと素材・アクティビティの活用について考える	II-3	支援技術について考える	1.0
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3		
14	12/3	町田由紀子	ユニット7 チーム作業3 支援技術	レクリエーション支援発表	他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4	支援技術について考える	1.0
					支援技術を発揮する	II-4		
15	12/10	町田由紀子	まとめ	コミュニケーションスキルの向上に必要なものについて理解する	対人コミュニケーションについてこれまでの授業の内容を元に考える	II-4	コミュニケーションとは何か考える	1.0

課題解決演習Ⅰ【演習】

科目番号 OD011018

後期：15コマ

評価責任者：松浦 尚志、永嶋 哲也、藤田 亜美

【論題設定責任者】

池邊 哲郎、岡島 勇太、岸川 咲吏、佐藤 平、進 正史、谷口 卓、長岡 良礼、藤兼 亮輔

担当教員：【演習担当教員】

江頭 敬、岡田 彩子、筑井 朋子、豊永 憲司、永嶋 哲也、藤田 亜美、松浦 尚志、壬生 正博、三輪 佳愛、矢田部 尚子、大和 寛明、山本 繁、湯浅 賢治

（一般目標）

社会問題や医療倫理について考え、討論（ディベート）や発表を通じて、コミュニケーション能力を修得するとともに、歯科医師としての将来像と使命感を醸成する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I -8, I -9, II -2, II -3, II -4, VI -5

（教育方法）

1 グループ8～10名のグループ討論

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

次回の授業の課題（項目）に関する情報をインターネットなどで収集し、自分なりの意見をもっておく。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

1) グループごとのディベートにおける個人単位（発言内容、発言回数、役割の遂行度など）の観察評価

2) ディベートにおけるグループ単位の観察評価と対戦評価（ディベート対戦による勝者への加点）

以上1)2)については各授業の最後にグループごとに勝敗と評価内容をフィードバックする。

3) 提出物における個人単位の評価を、毎週各グループにライターがつき、点数をつけて評価する。全部の平均が60点以上を合格とする。

3)については全授業終了後に成績を発表し60点未満の者に面談と小論文を課してフィードバックする。

（教科書）

なし

（参考書）

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/29	松浦、永嶋、藤田ほか	ユニット1 オリエンテーション ディベートルールを学ぶ	本演習の目的を理解する。	ディベートの意義について説明できる。 他人の意見を理解できる。 聞きやすい明瞭な発声ができる。	II -4 II -4 II -3	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	1.0
2	10/6	松浦、永嶋、藤田ほか	ユニット2 ディベート練習 身近な話題を話し合う	競技ディベートの方法を理解する。	討論ディベートのルールを説明できる。	II -4	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	2] 1.0
3	10/6				自分の意見や考えを発表できる。	II -3		3] 1.0
4	10/6				聞きやすい明瞭な発声ができる。	II -3		4] 1.0
5	10/13	松浦、永嶋、藤田ほか	ユニット3 社会問題について話し合う（1）	社会問題に対して意見をもつ。（1）	情報収集し、まとめることができる。	I -8	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	5] 1.0
6	10/13				自分の意見を整理し、他者と議論できる。	II -2		6] 1.0
7	10/13				皆の前で発表できる。	II -3		7] 1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
8	10/20	松浦、永嶋、藤田ほか	ユニット4 社会問題について話し合おう（2）	社会問題に対して意見をもつ。（2）	情報収集し、まとめることができる。	I-8	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	8] 1.0
9	10/20				自分の意見を整理し、他者と議論できる。	II-2		9] 1.0
10	10/20				皆の前で発表できる。	II-3		10] 1.0
11	10/27	松浦、永嶋、藤田ほか	ユニット5 社会問題について話し合おう（3）	社会問題に対して意見をもつ。（3）	情報収集し、まとめることができる。	VI-5	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	11] 1.0
12	10/27				自分の意見を整理し、他者と議論できる。	VI-5		12] 1.0
13	10/27				皆の前で発表できる。	II-2		13] 1.0
14	11/10	松浦、永嶋、藤田ほか	ユニット6 社会問題について話し合おう（4）	社会問題に対して意見をもつ。（4）	情報収集し、まとめることができる。	VI-5	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	14] 1.0
15	11/10				自分の意見を整理し、他者と議論できる。	VI-5		15] 1.0
16	11/10				皆の前で発表できる。	II-2		16] 1.0
17	11/24	松浦、永嶋、藤田ほか	ユニット7 自分自身について考えよう 自律をしよう	自分を律することを決めることができる。	情報収集し、自分の考えをまとめることができる。	I-9	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	17] 1.0
18	11/24				自分の考えを自分一人で深めることができる。	I-9		18] 1.0
					自分の意見を他者に提示できる形に整理できる。	II-2		

情報処理実習Ⅱ 【講義・実習】

科目番号 OD011015

後期：15コマ

評価責任者：内田竜司

担当教員：内田竜司

（一般目標）

本実習において、学生は多様な情報や知識を論理的に分析・考察する能力を獲得するために、情報リテラシーを向上させるとともに、パソコンの基本的な操作、Windows11の基本操作、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトの実践的利用法について修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-8, I-9, II-2, II-3, II-4

（教育方法）

スライドによる解説講義を踏まえた演習課題への取り組みを中心に、内容に応じてアクティブラーニング（ディスカッション、ディベート、グループワーク、問題解決学習、調査学習、等）や双方向学修形式の授業を行う。

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

講義中はデモ画面を注視すること。授業にはUSBメモリーを必ず持参し、授業で作成した提出課題のファイルを保存しておくこと。日頃、パソコンにできるだけふれること。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

〔形成的評価〕講義時間内で実施する確認テストにより講義内容の理解度を確認する。また、授業で提示する演習課題に取り組み、随時、指導する。

〔フィードバック〕講義時間内で実施する確認テストにより理解度を自己確認できる。また、演習課題については授業時間内に随時、指導するので自己評価し、修正する。

〔総括的評価〕講義時間内で実施する確認テストおよびメールに添付して提出する演習課題について、提出方法を含め評価し、集計後に成績判定を行う。

（教科書）

PDFファイル（Moodleにアクセスしてダウンロード）

（参考書）

なし。

必要に応じインターネット検索等を活用して、疑問点については自分で調べる。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	10/9	内田	プレゼンテーション基礎Ⅰ	効果的なプレゼンテーション技法と、建設的なフィードバック法を修得する。	上手なプレゼンテーションのポイントの説明できる。 フィードバックのポイントを説明できる。 決められた時間内でプレゼンテーションができる。 建設的なフィードバックを実践する。	I-8 I-8 II-3 II-4	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
2	10/9	内田	企画立案	企画を立案する手順や企画書にまとめるポイントを修得する。	企画を立案する必要性を説明できる。 企画を立案する手順を説明できる。 企画書にまとめるポイントを説明できる。 企画を立案できる。 企画書にまとめることができる。 立案した企画のプレゼンテーションができる。	I-8 I-8 I-8 I-9 I-9 II-3	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
3	10/16	内田	プレゼンテーション基礎Ⅱ	効果的なプレゼンテーション技法と、建設的なフィードバック法を修得する。	上手なプレゼンテーションのポイントの説明できる。 フィードバックのポイントを説明できる。 決められた時間内でプレゼンテーションができる。 建設的なフィードバックを実践する。	I-8 I-8 II-3 II-4	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
4	10/16	内田	プレゼンテーション基礎Ⅲ	効果的なプレゼンテーション技法と、建設的なフィードバック法を修得する。	上手なプレゼンテーションのポイントを説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					フィードバックのポイントを説明できる。	I-8		
					決められた時間内でプレゼンテーションができる。	II-3		
					建設的なフィードバックを実践する。	II-4		
5	10/23	内田	情報収集Ⅰ	レポート作成に必要な情報収集方法を修得する。	必要な情報の収集方法について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					文献の検索方法を説明できる。	I-8		
					必要な情報を収集することができる。	I-9		
					文献検索を使って必要な医学論文を探すことができる。	I-9		
6	10/23	内田	情報収集Ⅱ	レポート作成（医学系）に必要な情報収集方法を修得する。	必要な情報の収集方法について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					文献の検索方法を説明できる。	I-8		
					必要な情報を収集することができる。	I-9		
					文献検索を使って必要な医学論文を探すことができる。	I-9		
7	10/30	内田	レポート作成	レポートの作成方法を修得する。	レポートの構成について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					参考文献の引用方法について説明できる。	I-8		
					レポートを作成できる。	I-9		
					参考文献リストを作成できる。	I-9		
8	11/6	内田	データ統計の基礎Ⅰ	データ統計に必要な統計的手法を修得する。	基本的な統計学の用語について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					データのわかりやすい表現方法について説明できる。	I-8		
					基本的な統計量を求めることができる。	I-9		
					データをわかりやすく表現できる。	I-9		
9	11/6	内田	データ統計の基礎Ⅱ	データ統計に必要な統計的手法を修得する。	基本的な統計学の用語について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					基本統計量について説明できる。	I-8		
					基本統計量を求めることができる。	I-9		
					データをわかりやすく表現できる。	I-9		
10	11/13	内田	データ統計の基礎Ⅲ	データ統計に必要な統計的手法を修得する。	度数分布表とヒストグラムについて説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					散布図について説明できる。	I-8		
					度数分布表とヒストグラムを作成できる。	I-9		
					散布図を作成できる。	I-9		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
11	11/13	内田	データ分析	データから情報を取り出すための分析方法を修得する。	分析方法について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					データの活用について説明できる。	I-8		
					データを分析できる。	I-9		
					分析結果を解釈し、課題を特定することができる。	I-9		
					分析結果についてプレゼンテーションができる。	II-3		
12	11/20	内田	情報リテラシーと情報セキュリティ	情報リテラシーを身に付けるとともに、情報セキュリティ対策を修得する。	情報リテラシーについて説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					情報セキュリティについて説明できる。	I-8		
					情報リテラシーについて実践できる。	I-9		
					情報セキュリティについて実践できる。	I-9		
13	11/20	内田	医療・ヘルスケア分野におけるIoT	医療・ヘルスケア分野で活用されているIoTについて理解する。	IoTについて説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					医療・ヘルスケア分野で活用されているIoTについて説明できる。	I-8		
					IoTの活用について説明できる。	I-8		
					医療・ヘルスケア分野で活用されているIoTを活用できる。	I-9		
14	11/27	内田	社会学的考察 I	社会学的考察により結論を導き出すプロセスについて理解する。	社会学について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					客観的、論理的な思考について説明できる。	I-8		
					一人で社会学考察を行うことができる。	I-9		
					グループで社会学考察を行うことができる。	II-2		
					グループ討論で結論を複数挙げることができる。	II-4		
15	11/27	内田	社会学的考察 II	社会学的考察により結論を導き出すプロセスについて理解する。	社会学について説明できる。	I-8	授業内容をシラバスで確認し、不明な点を調べておくこと。	1.0
					客観的、論理的な思考について説明できる。	I-8		
					一人で社会学考察を行うことができる。	I-9		
					グループで社会学考察を行うことができる。	II-2		
					グループ討論で結論を複数挙げることができる。	II-4		

基本操作法実習 【実習】

科目番号 OD011009

後期：17コマ

評価責任者：林道夫

担当教員：佐藤平、都留寛治、丸田道人、梶本昇（物理系）
林道夫、谷口卓（化学系）

（一般目標）

自然化学実験の入門コースとして、実験の取り組み方、基本的な実験操作法、危険物を含む様々な化合物の取り扱い方法や関連法令についての情報検索方法、データーの取り扱い方などを修得する。また実験結果のまとめ方や考察手法および発表方法を学ぶ。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

I-8

（教育方法）

グループに分かれて各実習を行う。

（実習・演習）

（学習方法）

物理系：予習方法として、実習書の当該箇所をあらかじめ読んで手順をよく理解しておく。また自習内容に関連する科学用語の意味を「基礎物理学」および「医療工学」講義の教科書やインターネット等により調べておく。

化学系：実習書をあらかじめ読み、手順をよく理解しておくこと。実習書に用意された設問を解き、レポートを完成させることで、実習で学んだ知識と技術を習得する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 11.9 時間】

（評 価）

実習・課題の実行度（60%）、レポート（40%）

単位の認定には原則として全ての実習・課題に取り組む必要がある。

レポート提出後、不十分な部分についてはフィードバックを行い再提出を求めることがある。

また必要に応じて不足している習得知識についての補足説明を行い、今後の学習方法の改善に関して個々にフィードバックを行う。

（教 科 書）

配布するテキスト

（参 考 書）

物理系

「基礎物理学」教科書：原康夫著『第3版 物理学入門 新装版』学術図書出版社、2024

「医療工学」教科書：中 裕編著『第8版 スタンダード歯科理工学』学建書院、2024

化学系：

「統合データベース」(<http://www.genome.jp/ja/>)

「製品評価技術基盤機構データベース」 (<http://www.nite.go.jp/chem/index.html>)

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/1	全員	ユニット1. 計測機器の取り扱い	ノギスとマイクロメーターの測定原理を理解し、レポートの作成法を学ぶ。	ノギスとマイクロメーターを用いて試料の体積を測定する。	I-8	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	1] 0.7
2	9/1							2] 0.7
3	9/1							3] 0.7
4	9/1				誤差の算出方法と有効数字の意味を説明する。	I-8		4] 0.7
5	9/1				レポートを作成する上でのルール、必要事項を理解する。	I-8		5] 0.7
			ユニット2. 重力加速度の測定	重力加速度の測定法を理解する。	振り子の周期から重力加速度を測定する。	I-8		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	9/8	全員	ガイダンス	実習内容とそれらに関する知識を修得する。	実習に参加できる。 実習に必要な基礎的な知識を確認する。	I -8 I -8	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	0.7
7	9/8	全員	ユニット3. 物質の密度と熱伝導の測定	密度の意味と測定原理、熱伝導を理解する。	歯科で使用する種々の材料の密度を測定して同定を行う。	I -8	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	7] 0.7
8	9/8							8] 0.7
9	9/8				様々な物質の熱伝導性を観測する。	I -8		9] 0.7
10	9/14	全員	ユニット4. 化学実験に関する基本事項	化学実験を行う時に注意すべき点、薬品に関する情報の検索方法、溶液の調製方法を理解する。	化学実験にふさわしい服装や態度について学ぶ。	I -8	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	10] 0.7
11	9/14							11] 0.7
12	9/14							
13	9/15				薬品に関するデータベースにアクセスし、必要な情報を入手する。	I -8		12] 0.7
14	9/15							13] 0.7
15	9/15							
16	9/15				目的とする濃度の溶液を調製する。	I -8		14] 0.7
17	9/15							15] 0.7
			ユニット5. 中和滴定による酢酸の定量	酸と塩基および中和滴定、中和反応における濃度と滴定量の関係を理解する。	中和滴定を行い、滴定量を測定する。	I -8		16] 0.7
					中和滴定における滴下量から酸または塩基の濃度を算出する。	I -8		17] 0.7
			ユニット6. 吸光度法による硫酸銅水溶液の定量	ランベルト・ベールの法則、検量線について理解し、実験データを用いたグラフの作成法を習得する。	溶液の吸光度を測定する。	I -8		
					測定データを用いてグラフを作成する。	I -8		
					作成した検量線を用いて濃度未知の溶液を定量する。	I -8		

一般数学 【講義】

科目番号 OD011004

後期：15コマ

評価責任者：岡田彩子

担当教員：岡田彩子

（一般目標）

2年次の基礎統計学へ円滑に橋渡しできる数学的素養を養い、「わかる」「役に立つ」と実感できるよう、直感的な理解を重視しながら基礎から丁寧に学ぶ。さらに、論理的思考力や数量的な表現力を培い、学習の自信と応用力を身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-7

（教育方法）

配布資料を利用した講義を中心に行う。

（学習方法）

講義で配布されるプリントをよく読み、実際に問題を解くようにしましょう。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評価）

定期試験で評価する。ただし定期試験で不合格の場合は、再試験を行う。
総合評価はポータルサイトに掲示する。

（教科書）

特になし

（参考書）

「ゼロからわかる歯科臨床論文を読み解く方法 Evidence-based dentistryの実践のために」 康永秀生 監修 新興医学出版社

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/8	岡田彩子	EBM	数学的思考がEBMにどのように活用されるかを理解する。	EBMにおける数学の役割を説明できる。	I-7	基礎数学の復習をする。	1.0
2	9/29	岡田彩子	集合と論理	集合の基本概念と論理の基礎を理解する。	集合演算や論理式を用いて問題を解ける。	I-7	前回の復習をするとともに集合と論理について予習をする	1.0
3	10/6	岡田彩子	数列	数列の定義と基本的な性質を理解する。	等差数列・等比数列の一般項や和を計算できる。	I-7	前回の復習をするとともに数列について予習をする	1.0
4	10/13	岡田彩子	行列①	行列の定義を理解する。	簡単な行列計算を行える。	I-7	前回の復習をするとともに行列について予習をする	1.0
5	10/20	岡田彩子	行列②	行列の基本演算を理解する。	連立方程式を行列で解くことができる。	I-7	前回の復習をするとともに行列について予習をする	1.0
6	10/27	岡田彩子	複素数平面	複素数を平面上で表現し、演算や幾何的解釈を理解する。	複素数を座標として扱い、演算結果を図示できる。	I-7	前回の復習をするとともに複素数平面について予習をする	1.0
7	10/27	岡田彩子	場合の数	場合の数の基本概念を理解する。	樹形図や和と積の法則を用いて問題を解ける。	I-7	前回の復習をするとともに場合の数について予習をする	1.0
8	11/10	岡田彩子	順列	順列の公式を用いて問題を解ける。	順列の公式を用いて問題を解ける。	I-7	前回の復習をするとともに順列について予習をする	1.0
9	11/10	岡田彩子	組合せ	組合せの定義と計算方法を理解する。	組合せの公式を用いて問題を解ける。	I-7	前回の復習をするとともに組合せについて予習をする	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
10	11/17	岡田彩子	確率	確率の基本概念を理解する。	基本的な確率問題を解ける。	I-7	前回の復習をするとともに確率について予習をする	1.0
11	11/24	岡田彩子	基礎統計①	統計の基本概念と用語を理解する。	統計の基本概念と用語を理解する。	I-7	前回の復習をするとともに基礎統計について予習をする	1.0
12	12/1	岡田彩子	基礎統計②	データの広がり の理解と計算方法を学ぶ。	確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解している。	I-7	前回の復習をするとともに正規分布について予習をする	1.0
13	12/1	岡田彩子	基礎統計③	データの視覚的表現を理解し、解釈できる。	調査方法と統計的分析法を理解している。	I-7	前回の復習をするとともに統計的分析法について予習をする	1.0
14	12/8	岡田彩子	数学史	数学の歴史的発展を理解する。	学んだ内容を歴史的背景と結びつけて説明できる。	I-7	前回の復習をするとともに数学史について予習をする	1.0
15	12/8	岡田彩子	総まとめ	これまで学んだ数学的知識を整理し、実践力を養う。	医療統計や国家試験問題に含まれる数学を自力で解ける。	I-7	これまでの復習をする。	1.0

細胞生物学Ⅱ 【講義】

科目番号 OD011020

後期：26コマ

評価責任者：日高真純

担当教員：日高真純
藤兼亮輔

（一般目標）

生体は、それを構成する細胞から器官系統のレベルに至るまで、互いに情報を伝達し合うことにより統一され、個体としての機能を発揮している。本授業では、DNAの構造と複製・修復のしくみ、遺伝子発現とその制御、遺伝子工学、細胞骨格、細胞の増殖や細胞死、遺伝のしくみ、組織の成り立ちなどについて学習し、生命現象の基礎を理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-1, Ⅲ-2

（教育方法）

教科書に基づいた板書、資料プリント、及びプロジェクター等を用いた解説、レポート作成、及び演習問題（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

授業前に下記の「予習の項目」の該当箇所を読んで講義内容の全体像をつかむこと。また、授業後には該当箇所の図を説明できるように復習すること 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 39.0 時間】

（評 価）

中間試験：40%、定期試験：60%、講義態度（レポート提出状況、出席状況等）も考慮する。
中間試験後に解説を行う。すべての試験答案と評価を開示して質問を受け付ける。

（教 科 書）

B. Alberts他著、中村桂子他監訳「Essential 細胞生物学」第5版、南江堂、2021

（参 考 書）

和田 勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」、第4版、羊土社、2020

（生物を習ったことのない学生でもわかるように図を入れてやさしく解説してある）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間		
1	9/3	[1回] 日高	ユニット1 DNAの複製、修復、組換え	DNA複製、DNA修復、DNA組換えのしくみを理解する。	DNAの半保存的複製について説明する。	Ⅲ-1	[1回] 教科書の199～215頁	[1] 1.5		
2	9/7	[2回] 日高			DNA複製に必要なタンパク質を説明する。	Ⅲ-1	[2回] 教科書の199～215頁	[2] 1.5		
3	9/10				DNA複製におけるリーディング鎖とラギング鎖、及び、ラギング鎖のつなぎ合わせについて説明する。	Ⅲ-1	[3回] 教科書の215～226頁	[3] 1.5		
					テロメアとテロメラーゼによるDNAの末端複製問題の解決のしくみを説明する。	Ⅲ-1				
					DNAの相同性を利用した組換え反応を説明する。	Ⅲ-1				
					DNA修復反応の分子機構を説明する。	Ⅲ-1				
					突然変異の原因と、変異が遺伝子と生物に及ぼす影響を説明する。	Ⅲ-1				
4	9/14	[4回] 日高	ユニット2 DNAからタンパク質へ	遺伝情報の流れ（セントラルドグマ）における転写（DNAからRNA）、翻訳（RNAからタンパク質）のしくみを理解する。	DNAとRNAを構成するヌクレオチドの違いを説明する。	Ⅲ-1	[4回] 教科書の227～243頁	[4] 1.5		
5	9/17	[5回] 日高			転写を触媒するRNAポリメラーゼの働きを説明する。	Ⅲ-1	[5回] 教科書の227～243頁	[5] 1.5		
6	9/24				遺伝子発現に関わるmRNA、tRNA、rRNAの機能を説明する。	Ⅲ-1	[6回] 教科書の243～265頁	[6] 1.5		
					転写に関与するDNA上の構造を説明する。	Ⅲ-1				
					転写の開始、伸長、終結の各過程を説明する。	Ⅲ-1				
					遺伝暗号とは何か説明する。	Ⅲ-1				
					遺伝暗号を解明した実験について説明する。	Ⅲ-1				
					tRNAが遺伝暗号とアミノ酸をつなぐしくみを説明する。	Ⅲ-1				
					リボソームの構造とその翻訳における働きを説明する。	Ⅲ-1				

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
7	9/28	[7回] 日高	ユニット3 遺伝子発現の調節	遺伝子発現の調節の意義とそのしくみを理解する。	遺伝子発現調節の意義を説明する。	Ⅲ-1	[7回] 教科書の267～278頁	[7] 1.5
8	10/1	[8回] 日高			DNA結合タンパク質の働きを説明する。	Ⅲ-1	[8回] 教科書の278～287頁	[8] 1.5
9	10/5	[9回] 日高			遺伝子発現調節のしくみについて説明する。	Ⅲ-1	[9回] 教科書の287～295頁	[9] 1.5
					転写後の遺伝子発現調節のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
10	10/15	[10回] 日高	ユニット4 遺伝子とゲノムの進化	遺伝的変動が生み出すゲノムの進化の機構を理解する。	生殖細胞と体細胞における遺伝子変異の結果の違いを説明する。	Ⅲ-1	[10回] 教科書の297～308頁	[10] 1.5
11	10/19	[11回] 日高			遺伝子点変異、重複、欠失、エキソンの混ぜ合わせ、水平伝播について説明する。	Ⅲ-1	[11回] 教科書の309～331頁	[11] 1.5
					生物の進化系統樹について説明する。	Ⅲ-1		
					ゲノム上を動く遺伝因子（トランスポゾン）について説明する。	Ⅲ-1		
					ヒトゲノム解読の意義を説明する。	Ⅲ-1		
12	10/22	[12回] 日高	ユニット5 現在の組換えDNA技術	DNAの解析法及び、遺伝子組換え技術を用いた遺伝子クローニングの原理と安全性について理解する。	制限酵素の活性と、その利用法について説明する。	Ⅲ-1	[12回] 教科書の333～364頁	[12] 1.5
13	10/26	[13回] 日高			DNAの解析法（ゲル電気泳動、塩基配列決定法）の原理を説明する。	Ⅲ-1	[13回] 教科書の333～364頁	[13] 1.5
					cDNAライブラリーの構築法を説明する。	Ⅲ-1		
					PCR法の原理を説明する。	Ⅲ-1		
					遺伝子改変動物の作製法を説明する。	Ⅲ-1		
					遺伝子組換え生物取り扱いの規制について説明する。	Ⅲ-1		
14	10/29	日高	中間試験（ユニット1～5）	ユニット1～5に関する知識を確認する。	ユニット1～5に関する演習問題を解く。	Ⅲ-1	教科書の199～364頁	1.5
15	11/5	日高	中間試験（ユニット1～5）の復習	ユニット1～5に関する知識を習得する。	ユニット1～5に関する演習問題を復習する。	Ⅲ-1	教科書の199～364頁	1.5
16	11/9	[16回] 藤兼	ユニット6 細胞骨格	細胞骨格（中間径フィラメント、微小管、アクチンフィラメント）の構造と機能を理解する。	細胞骨格の概要について説明する。	Ⅲ-1	[16回] 教科書の573～579頁	[16] 1.5
17	11/12	[17回] 藤兼			中間径フィラメントの構造と性質、機能を説明する。	Ⅲ-1	[17回] 教科書の580～592頁	[17] 1.5
18	11/16	[18回] 藤兼			微小管の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	[18回] 教科書の592～608頁	[18] 1.5
					微小管の動的不安定について説明する。	Ⅲ-1		
					微小管のモータータンパク質（ダイニンとキネシン）と微小管結合タンパクについて説明する。	Ⅲ-1		
					アクチンフィラメントの構造と機能を説明する。	Ⅲ-1		
					アクチンのモータータンパク質（ミオシン）とアクチン結合タンパクについて説明する。	Ⅲ-1		
					アクチンのトレッドミル運動について説明する。	Ⅲ-1		
					筋原線維の構造を説明する。	Ⅲ-1		
					筋収縮のしくみとその制御について説明する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
19	11/19	[19回] 藤兼	ユニット7 細胞周期	細胞周期の調節機構と細胞分裂、細胞周期チェックポイントのしくみ、及び、細胞死について理解する。	細胞の増殖と細胞周期の過程を説明する。	Ⅲ-1	[19回] 教科書の609～617頁	[19] 1.5
20	11/26	[20回] 藤兼			サイクリンが細胞周期を調節するしくみを説明する。	Ⅲ-1	[20回] 教科書の617～639頁	[20] 1.5
21	11/30	[21回] 藤兼			サイクリン依存タンパクキナーゼの機能と調節機構について説明する。	Ⅲ-1	[21回] 教科書の639～649頁	[21] 1.5
					細胞周期チェックポイントの機能と調節機構について説明する。	Ⅲ-1		
					有糸分裂の過程を説明する。	Ⅲ-1		
					有糸分裂における細胞骨格（微小管、アクチンフィラメント）の役割を説明する。	Ⅲ-1		
					アポトーシスとネクローシスの違いを説明する。	Ⅲ-1		
22	12/3	[22回] 日高	ユニット8 有性生殖と遺伝学の力	有性生殖の意義と、遺伝、減数分裂のしくみを理解する。	有性生殖の意義を説明する。	Ⅲ-1	[22回] 教科書の651～663頁	[22] 1.5
23	12/7	[23回] 日高			減数分裂のしくみと、体細胞分裂との違いを説明する。	Ⅲ-1	[23回] 教科書の654～663頁	[23] 1.5
24	12/10	[24回] 日高			メンデルの遺伝の法則を説明する。	Ⅲ-1	[24回] 教科書の664～690頁	[24] 1.5
					連鎖、交差のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
25	12/14	[25回] 日高	ユニット9 組織のつくる社会：組織、幹細胞、がん	組織の成り立ちと維持、及び、がんについて理解する。	細胞外マトリクスと結合組織について説明する。	Ⅲ-2	[25回] 教科書の691～709頁	[25] 1.5
26	12/17	[26回] 日高			上皮層と細胞結合について説明する。	Ⅲ-2	[26回] 教科書の709～733頁	[26] 1.5
					胚性幹細胞とiPS細胞の特徴と作製法について説明する。	Ⅲ-2		
					がんと遺伝子について説明する。	Ⅲ-2		

細胞化学 【講義】

科目番号 OD011011

後期：22コマ

評価責任者：林 道夫

担当教員：林 道夫、 谷口 卓

（一般目標）

前期の基礎化学の知識を基に、生体高分子である糖質、脂質、タンパク質、核酸について学ぶ。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-1

（教育方法）

教科書と配布プリントを元にスライドを用いた講義を行い、演習問題により知識の定着を図る。

（ディスカッション・ディベート）

（学習方法）

講義前に下記の予習の項目に記載された箇所を読んでおくこと。講義後は講義で習ったことや演習問題の復習を行うこと。

【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 22.0 時間】

（評 価）

中間試験と定期試験の比率を4:6とし、総合的に判定する。総合評価はポータルサイトに掲示する。

（教 科 書）

Alberts B. 他 著、 中村桂子他 監訳 『Essential 細胞生物学』 南江堂 2021年

（参 考 書）

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	林	生体を構成する物質	生体は水、有機分子、無機分子から構成されることを理解する。	生体を構成する主要な4元素を列挙する。	Ⅲ-1	教科書 p. 41, 50-51, 58-59, 66	1.0
					生体の有機分子は主に糖質、脂質、タンパク質、核酸に分類されることを説明する。	Ⅲ-1		
					それぞれの有機分子の最小構成単位を列挙する。	Ⅲ-1		
					生体を構成する主な無機分子を列挙する。	Ⅲ-1		
			生体を構成する物質の表し方	生体構成成分について構造式の描き方を理解する。	価標を用いた正確な構造式の描き方を説明する。	Ⅲ-1		
					簡略化した構造式の描き方を説明する。	Ⅲ-1		
2	9/4	林	有機分子の基本となる炭化水素1	炭化水素の構造と特徴を理解する。	鎖式炭化水素、環式炭化水素、芳香族炭化水素を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 44-45, 66	1.0
					飽和炭化水素と不飽和炭化水素を説明する。	Ⅲ-1		
					アルカン、アルケン、アルキンの構造の特徴を説明する。	Ⅲ-1		
					代表的な直鎖状アルカンの名称やその構造を列挙する。	Ⅲ-1		
3	9/11	林	有機分子の基本となる炭化水素2	芳香族炭化水素の構造と特徴を理解する。	ベンゼンの構造を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 66	1.0
					代表的な芳香族炭化水素を列挙する。	Ⅲ-1		
					芳香族炭化水素の構造異性体を列挙する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間	
4	9/18	林	生体に関わる脂質の働き	脂質の働きを理解する。	糖質、タンパク質、核酸とは異なり、脂質は水に溶けないことを説明する。	Ⅲ-1	[4回] 教科書 p. 54-55, 74 [5回] 教科書 p. 55, 74	4] 1.0	
5	9/18				リン脂質などの脂質が細胞膜の構成成分であることを説明する。	Ⅲ-1			5] 1.0
					中性脂肪などの脂質がエネルギー源となれることを説明する。	Ⅲ-1			
					脂溶性ビタミンなどの脂質が生体に重要な生理活性物質となれることを説明する。	Ⅲ-1			
			生体に関わる脂肪酸	脂質の構成単位である脂肪酸の構造と特徴を理解する。	脂肪酸の構造を説明する。	Ⅲ-1			
					代表的な脂肪酸を列挙する。	Ⅲ-1			
					短鎖、中鎖、長鎖脂肪酸の違いを説明する。	Ⅲ-1			
飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の構造の違いを説明する。	Ⅲ-1								
代表的な飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸をそれぞれ列挙する。	Ⅲ-1								
6	9/25		林	生体に関わるトリアシルグリセロール	エネルギー貯蔵物質であるトリアシルグリセロールの構造と特徴を理解する。	トリアシルグリセロールの構造を説明する。		Ⅲ-1	教科書 p. 55, 74
	トリアシルグリセロールの働きを説明する。	Ⅲ-1							
	トリアシルグリセロールの構造の一部はアルコールでできているが、一般的なアルコールの命名法を理解する。	アルコールの命名法を説明する。			Ⅲ-1				
7	10/2	林	生体に関わるリン脂質、コレステロールと脂溶性生理活性物質	リン脂質、コレステロールや脂溶性生理活性物質の構造と特徴を理解する。	リン脂質の構造を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 55, 74-75	1.0	
	代表的なリン脂質を列挙する。				Ⅲ-1				
	リン脂質の働きを説明する。				Ⅲ-1				
	コレステロールの働きを列挙する。				Ⅲ-1				
	コレステロール、ステロイドホルモン、胆汁酸に特徴的な構造を説明する。				Ⅲ-1				
	エイコサノイドを説明する。				Ⅲ-1				
	プロスタグランジンやトロンボキサンに特徴的な構造をそれぞれ説明する。				Ⅲ-1				
8	10/9	林	生体に関わる糖質	糖質の働きを理解する。	単糖を説明する。	Ⅲ-1	[8回] 教科書 p. 52-53, 72-73	8] 1.0	
9	10/9				ペントースとヘキソースを説明する。	Ⅲ-1			[9回] 教科書 p. 52-53, 72-73
					アルドースとケトースを説明する。	Ⅲ-1			
					立体異性体を説明する。	Ⅲ-1			
					エピマーを説明する。	Ⅲ-1			
					鏡像異性体を説明する。	Ⅲ-1			
			生体に関わる単糖類	単糖の構造と特徴を理解する。	α アノマーと β アノマーを説明する。	Ⅲ-1			
ピラノースとフラノースを説明する。	Ⅲ-1								
代表的な単糖を列挙する。	Ⅲ-1								
単糖の還元性を説明する。	Ⅲ-1								

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
10	10/16	林	生体に関わる単糖の誘導体	単糖の誘導体の構造と特徴を理解する。	単糖の誘導体を列挙し、それぞれの構造を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 52-53, 72-73	1.0
			生体に関わる二糖類	二糖の構造と特徴を理解する。	スクロースを構成する2つの単糖を列挙し、それらの糖の間の結合を説明する。	Ⅲ-1		
					ラクトースを構成する2つの単糖を列挙し、それらの糖の間の結合を説明する。	Ⅲ-1		
					マルトースを構成する2つの単糖を列挙し、それらの糖の間の結合を説明する。	Ⅲ-1		
11	10/23	林	生体に関わる多糖類	多糖の構造と特徴を理解する。	代表的な多糖を列挙する。	Ⅲ-1	教科書 p. 52-53, 73	1.0
					デンプンを構成する単糖を列挙し、その結合様式を説明する。	Ⅲ-1		
					デンプンを分解する酵素を列挙し、分解産物である糖を説明する。	Ⅲ-1		
					グリコーゲンを構成する単糖を列挙し、その結合様式を説明する。	Ⅲ-1		
					セルロースを構成する単糖を列挙し、その結合様式を説明する。	Ⅲ-1		
			生体に関わる複合糖質	複合糖質の構造と特徴を理解する。	代表的な複合糖質を列挙する。	Ⅲ-1		
12	10/30	林、谷口	中間試験	中間試験	中間試験	Ⅲ-1		1.0
13	10/30	林	生体に関わるビタミン	ビタミンの構造と働き、及び欠乏症を理解する。	ビタミンの特徴を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 56-58, 78-79	1.0
					主なビタミンの働きを列挙する。	Ⅲ-1		
					代表的なビタミンの欠乏症を列挙する。	Ⅲ-1		
14	11/6	谷口	生体に関わるアミノ酸とタンパク質の働き	アミノ酸やタンパク質の働きを理解する。	アミノ酸の働きを列挙する。	Ⅲ-1	[14回] 教科書 p. 56, 76-77, 118, 120	[14] 1.0
15	11/12				タンパク質の働きを列挙する。	Ⅲ-1	[15回] 教科書 p. 76-77, 120	[15] 1.0
16	11/13		生体に関わるアミノ酸	生体を構成する20種類のアミノ酸の構造と特徴を理解する。	基本的なアミノ酸の構造を説明する。	Ⅲ-1	[16回] 教科書 p. 76-77, 120	[16] 1.0
					タンパク質を構成する20種類のアミノ酸を列挙し、その特徴を述べる。	Ⅲ-1		
					20種類のアミノ酸の側鎖の構造を説明する。	Ⅲ-1		
17	11/19	谷口	生体に関わるタンパク質	タンパク質の構造と特徴を理解する。	ペプチド結合を説明する。	Ⅲ-1	[17回] 教科書 p. 59, 62-63, 70-71, 76, 126-127, 129-130 [18回] 教科書 p. 59, 62-63, 70-71, 76, 126-127, 129-130, 135-136	[17] 1.0 [18] 1.0
18	11/20				タンパク質の一次～四次構造を説明する。	Ⅲ-1		
					コラーゲンに多く存在するアミノ酸を列挙する。	Ⅲ-1		
					カルシトニン、インスリン、グルカゴン、副甲状腺ホルモン（PTH）などの一部のホルモンはタンパク質であることを説明する。	Ⅲ-1		
			生体に関わるアミノ酸誘導体	神経伝達物質やホルモンであるアミノ酸誘導体の構造と特徴を理解する。	生体アミンの構造を説明できる。	Ⅲ-1		
					ドパミン、アドレナリン、ノルアドレナリン、ヒスタミン、セロトニンは生体アミンであることを説明する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間			
19	11/20	林	生体に関わるヌクレオチドと核酸の働き	ヌクレオチドと核酸の働きを理解する。	核酸は遺伝情報物質やタンパク質合成に関わることを説明する。	Ⅲ-1	[19回] 教科書 p. 56-59, 78-79 [20回] 教科書 p. 56-59, 78-79	[19] 1.0			
20	11/27				ヌクレオチドはエネルギー通貨、シグナル伝達物質、補酵素として働くことを説明する。	Ⅲ-1			[20] 1.0		
					ヌクレオチドを構成する3要素を列挙する。	Ⅲ-1					
					ヌクレオシドとヌクレオチドの構造の違いを説明する。	Ⅲ-1					
			生体に関わるヌクレオチド	ヌクレオチドの構造と特徴を理解する。	ヌクレオチドを構成する塩基の構造を説明する。	Ⅲ-1					
					ヌクレオチドの命名法を説明する。	Ⅲ-1					
					代表的なヌクレオチドを列挙する。	Ⅲ-1					
					オリゴヌクレオチドの構造を説明する。	Ⅲ-1					
21	12/4	林	DNAとしての核酸	遺伝情報物質としてのDNAの構造と特徴を理解する。	DNAはヌクレオチドがホスホジエステル結合により重合してできることを説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 56-58, 79, 174-177, 229-232	1.0			
DNAを構成する塩基4種類を列挙する。	Ⅲ-1										
DNAの塩基対合における塩基の組合せを説明する。	Ⅲ-1										
DNAの塩基対合に使われる化学結合を述べる。	Ⅲ-1										
RNAとしての核酸	タンパク質合成に関与するRNAの構造と特徴を理解する。		RNAとDNAの構造の違いを説明する。	Ⅲ-1							
			mRNA、rRNA、tRNAのそれぞれの構造の特徴と働きを説明する。	Ⅲ-1							
22	12/11		林	生体に関わる様々なヌクレオチド	エネルギー通貨、シグナル伝達分子、補酵素として働くヌクレオチドの構造と特徴を理解する。	ATPの構造と働きを説明する。			Ⅲ-1	教科書 p. 57, 79, 104-112, 440, 549	1.0
cAMPの構造とシグナル伝達物質としての働きを説明する。	Ⅲ-1										
FAD、NAD ⁺ やNADP ⁺ の構造と補酵素としての働きを説明する。	Ⅲ-1										

Practical English I 【講義】

科目番号 OD011007

後期：15コマ
 評価責任者：学生部長
 Nielsen P. Moelgaard
 担当教員：Jay J. Palarino
 Geoffrey Wolfson

(一般目標)

In face-to-face communication, students should be able to:
 -use appropriate expressions in each situation
 -understand "who, what, when, where" type questions and answer them correctly
 -understand simple questions and statements related to daily life and correspond to them
 -understand minimum courtesy on interpersonal communication

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-4

(教育方法)

The method of instruction is a student-centered one with different speaking activities such as games, role plays, information gaps, dialogues, and interview. Occasionally quizzes and review exercises will be given.
 (グループワーク)

(学習方法)

Read out the sentences from the textbook many times, and memorize them before and after every class. 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

(評価)

Graded comprehensively from class performance, regular exam, etc.: notify the grades after the regular exam

(教科書)

New Connection Book 1 (SEIBIDO)
 This course book helps learners to communicate confidently and fluently in English.

(参考書)

Japanese-English dictionary
 English-Japanese dictionary
 We recommend that you use a dictionary to help improve your English skills.
 (Entrust the students with choosing a dictionary.)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/2	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 1 Meeting People	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 1)	Greeting people, making introductions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
2	9/9	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 2 Time to Eat	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 2)	Asking about a meal, talking about eating habits, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
3	9/16	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 3 Living with Technology	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 3)	Making suggestions, making and responding to invitations, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
4	9/30	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 4 Shopping for Clothes	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 4)	Receiving customers, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
5	10/7	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 5 A Helping Hand at Home	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 5)	Complaining about machines, asking for a lower price, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
6	10/14	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 6 Going Places	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 6)	Asking for directions, giving directions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
7	10/21	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 7 Not Feeling So Good	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 7)	Making an appointment, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
8	10/28	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 8 The Big Screen	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 8)	Apologizing, talking about movies, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
9	11/4	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 9 How Do You Feel?	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 9)	Asking about someone's feelings, talking to people with different feelings, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
10	11/11	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 10 All in Good Fun	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 10)	Talking about likes and dislikes, asking for and giving opinions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
11	11/18	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 11 Game Time	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 11)	Talking about injuries, listing requirements, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
12	11/25	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 12 Rain or Shine	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 12)	Describing weather conditions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
13	12/2	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 13 Eating Out	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 13)	Ordering a meal, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
14	12/9	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Unit 14 School Life	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 14)	Discussing Problems, stating your goals, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
15	12/16	Moelgaard, Palarino, Wolfson	Review lessons and oral test	Doing review lessons and taking an oral test	Review, using and applying learned English expressions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0

系統解剖学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011104

後期：15コマ

評価責任者：児玉 淳

担当教員：林 慶和、児玉 淳、小倉 綾乃

（一般目標）

人体の構造と機能を理解する上で最も基礎となる解剖学を、系統解剖学的に基本となる骨学から修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-2、Ⅲ-6

（教育方法）

教科書・配布資料等を中心とした講義を行う。また、e-learning を用いた自習課題を課す。さらに講義で学習した形態を3次元構造で理解・認識するために、各人で頭蓋標本のスケッチを行う。

（実習・演習）

（学習方法）

教科書や骨標本を参照・観察しながら、解剖学の基本と骨学の内容を理解する。

講義に欠かさず出席し、予習と特に復習に力を入れて整理していくこと。

講義の進行に応じて小テストを行う。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

定期試験（90％）平常点（10％）（課題、小テスト、頭蓋スケッチにより評価する）

出席状況および途中退室等の受講態度が芳しくない場合は平常点に反映させる。

課題、小テストの詳細については初回講義時に説明する。

評価はポータルサイトに掲示する。

（教 科 書）

1. 森 於菟 他著 分担解剖学 第1巻（骨学・靱帯学・筋学）第11版 金原出版 1992

2. 口腔解剖学 第2版 医歯薬出版

（両方とも前期購入済み）

口腔医学を学ぶために必要な人体の構造をまとめている（1年から6年まで使用します）

（参 考 書）

1：イラスト解剖学 松村譲児 中外医学社

2：口腔の機能と解剖 田畑純、角田佳折 南山堂 2021

3：人体解剖学 改訂42版 藤田恒太郎 南江堂

4：ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第2版 医歯薬出版

上記参考書はテキストとして広く知られており、基礎から臨床関連知識まで幅広く網羅している。

（1年から6年まで使用します）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	林	ユニット1 骨学総論	骨の構造と役割を理解する。	骨の基本的役割を説明する。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靱帯学・筋学）1-26ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					骨の形態用語が列挙できる。	Ⅲ-2		
					骨の構造について説明する。	Ⅲ-2		
2	9/10	林	ユニット2 骨 学各論	体幹の骨を説明できる。	体幹の骨が列挙できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靱帯学・筋学）27-53ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					胸郭について説明できる。	Ⅲ-2		
					胸骨、肋骨、肋軟骨、肋骨の形態的特徴を説明する。	Ⅲ-2		
3	9/17	林	ユニット2 骨 学各論	体幹の骨を説明できる。	椎骨の基本構造（椎体、椎弓、横突起、棘突起、椎孔）を説明する。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靱帯学・筋学）27-53ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					頸椎、胸椎、腰椎、仙椎（骨）、尾椎（骨）の形態的特徴を説明する。	Ⅲ-2		
4	9/24	林	ユニット3 骨 学各論	上肢の骨について説明できる。	上肢の骨を分類できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靱帯学・筋学）122-140ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					上肢帯の骨を説明できる。	Ⅲ-2		
					自由上肢の骨を説明できる。	Ⅲ-2		
5	10/1	林	ユニット4 骨 学各論	下肢の骨について説明できる。	下肢の骨を分類できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。（分担解剖学 第1巻（総説・骨学・靱帯学・筋学）141-172ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					下肢帯の骨を説明できる。	Ⅲ-2		
					自由下肢の骨を説明できる。	Ⅲ-6		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	10/15	林	ユニット5 骨学各論	頭の骨について説明できる。	頭蓋を頭蓋骨と顔面骨に分類する。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					頭に存在する骨の構成を説明できる。	Ⅲ-6		
					頭の骨の連結について説明できる。	Ⅲ-6		
					頭の骨の機能について説明できる。	Ⅲ-6		
7	10/22	林	ユニット5 骨学各論	頭の骨について説明できる。	頭蓋を頭蓋骨と顔面骨に分類する。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					頭蓋骨を脳頭蓋と顔面頭蓋に区分する。	Ⅲ-6		
					体表から触れることのできる頭蓋の形態の部位を解剖する。	Ⅲ-6		
8	10/29	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	頭蓋骨に属する前頭骨、頭頂骨、側頭骨、後頭骨、蝶形骨、篩骨、涙骨、鼻骨、下鼻甲介、鋤骨を説明できる。側頭窩について説明する。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					頭蓋骨に属する骨に存在する孔、棘、頭、突起、隆起、切痕等について説明できる。側頭下窩について説明する。	Ⅲ-6		
9	11/5	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	顔面骨に属する頬骨、上顎骨、口蓋骨、下顎骨、舌骨を説明できる。内頭蓋底、外頭蓋底に存在する孔、裂、窩、突起等について述べる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					顔面骨に属する骨に存在する孔、棘、頭、突起、隆起、切痕等について説明できる。	Ⅲ-6		
10	11/12	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	眼窩、鼻腔、口腔を構成する骨を説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					側頭窩、側頭下窩、翼口蓋窩を説明できる。	Ⅲ-6		
11	11/19	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	内頭蓋底、外頭蓋底を説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					内頭蓋底、外頭蓋底を構成する骨を説明できる。	Ⅲ-6		
12	11/26	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	頭蓋の各部における交通（導通路）について説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
13	12/3	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	顎関節について説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 130-132ページ)	1.0
					頭蓋に付着する筋とその付着部について説明できる。	Ⅲ-6		
14	12/10	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	下顎骨の運動について説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靱帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 202-203ページ)	1.0
					頭蓋の成長様式について説明できる。	Ⅲ-6		
15	12/17	林、児玉、小倉	ユニット7 頭蓋スケッチ	頭蓋をスケッチし、名称、位置、構造、形態を理解する。	これまで学んだ頭蓋をスケッチし解剖する。	Ⅲ-6	講義中および実習前に配布されるプリントを読み、まとめる。	1.0

生理学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011105

後期：15コマ

評価責任者：藤田 亜美

担当教員：藤田 亜美、進 正史

（一般目標）

人体は細胞から構成され、組織、器官、器官系、個体レベルで構造的・機能的に統合されており、生理学では細胞から個体レベルにおける正常な機能とそれらの統合メカニズムを解き明かそうとしている。生理学Ⅰでは、人体の各器官の機能に関する基本的な知識を身につけることを目的として、動物性機能の中心である神経、筋、感覚器系と植物性機能を司る自律神経系の基本的機能について学習し、理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー〔DP〕）

Ⅲ-1, Ⅲ-2

（教育方法）

講義ユニット毎に配付する資料及び教科書に沿って行動目標に掲げた内容をスライドや板書等により解説する。

（学習方法）

授業前に教科書に目を通しておく。授業後は配布資料、講義ノート、教科書をもとに講義の内容を要約し、重要事項を理解する。理解が不十分な項目は教科書や参考書で復習すると共にチューデントアシスタントや教員への質疑を通じて確実に修得する。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

中間試験30%、定期試験70%とする。中間試験および定期試験の成績は試験終了後、概ね2週間以内に通知する。

（教科書）

岩田幸一、井上富雄、船橋 誠、加藤隆史 編 「基礎歯科生理学 第7版」 医歯薬出版 2020
（全身から口腔領域にわたって生理学の基本的事項が簡潔かつ解りやすく記載されている。口腔医学を学ぶ上で有用なテキストである。2学年で履修する生理学Ⅱと生理学Ⅲおよび3学年の口腔生理学でも本教科書を使用するため、1学年から3学年で学んだ知識の統合に有用である。）

（参考書）

多久和 典子 他 著 「なるほどなっとく！解剖生理学 改訂3版」 南山堂 2023
（生理学に関する基本的な事項が多様なイラストによって解りやすく記載されている。）

大森治紀、大橋俊夫、河合康明、黒澤美枝子 監修 「標準生理学 第10版」 医学書院 2025年
（生理学全般を広く網羅し、情報が充実している。）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	進	ユニット1 神経の興奮伝導	神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	ニューロンの静止電位の発生機序を説明できる。	Ⅲ-1	教科書のp16-21	0.5
					ニューロンの活動電位の発生機序を説明できる。	Ⅲ-1		
2	9/10	進	ユニット1 神経の興奮伝導	神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	興奮伝導の機序を概説できる。	Ⅲ-1	教科書のp21-34	0.5
					興奮の伝導速度による神経線維の分類を説明できる。	Ⅲ-1		
3	9/17	進	ユニット1 神経の興奮伝導	神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	シナプスの構造と伝達物質及び興奮伝達機序を説明できる。	Ⅲ-1	教科書のp35-42	0.5
					興奮性シナプスと抑制性シナプスの特徴を比較し、相違点と機能を説明できる。	Ⅲ-1		
4	9/24	藤田	ユニット2 末梢神経系の構成と機能	末梢神経を分類し、それぞれの機能を理解する。	中枢神経系と末梢神経系の構成を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp279-282	0.5
					脳神経の構成と機能を説明できる。	Ⅲ-2		
					脊髄神経の構成と機能を説明できる。	Ⅲ-2		
5	10/6	藤田	ユニット2 末梢神経系の構成と機能	末梢神経を分類し、それぞれの機能を理解する。	自律神経による機能調節の特徴を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp283-287	1.0
					自律神経系の神経伝達物質と受容体を説明できる。	Ⅲ-2		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	10/15	藤田	ユニット2 末梢神経系の 構成と機能	末梢神経を分類し、それぞれの機能を理解する。	各器官に対する自律神経系の作用を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp288-290	1.0
					自律神経反射を説明できる。	Ⅲ-2		
7	10/22	藤田、進	中間試験	-	-	Ⅲ-2	1回～6回までの講義で配付した資料とノート及び教科書	3.0
8	10/29	進	ユニット3 筋の収縮	骨格筋の構造と収縮機序および収縮特性を理解する。	骨格筋の構造と収縮機序を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp42-45	1.0
					神経-筋接合部における興奮伝達機序を説明できる。	Ⅲ-2		
9	11/5	進	ユニット3 筋の収縮	骨格筋の構造と収縮機序および収縮特性を理解する。	等張性収縮と等尺性収縮の違いを説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp45-50	1.0
					心筋と平滑筋の構造を骨格筋と比較し、相違点を説明できる。	Ⅲ-2		
10	11/6	藤田	ユニット4 運動機能と反射	脊髄反射および脳による運動の制御を理解する。	運動単位を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp221-223	1.0
					反射と反射弓について説明できる。	Ⅲ-2		
					筋紡錘と腱器官の構造と機能を説明できる。	Ⅲ-2		
11	11/13	藤田	ユニット4 運動機能と反射	脊髄反射および脳による運動の制御を理解する。	伸張反射の機序を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp224-229	1.0
					α - γ 連関について説明できる。	Ⅲ-2		
					屈曲反射の機序を説明できる。	Ⅲ-2		
12	11/26	藤田	ユニット4 運動機能と反射	脊髄反射および脳による運動の制御を理解する。	脊髄の下行路を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp229-243	1.0
					運動の調節機構を説明できる。	Ⅲ-2		
13	12/3	藤田	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚の種類と性質について理解する。	感覚受容器の特徴を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp180-192	1.0
					体性感覚の特徴や刺激の受容、感覚の伝導路を説明できる。	Ⅲ-2		
14	12/10	藤田	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚の種類と性質について理解する。	視覚の特徴や刺激の受容、感覚の伝導路を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp192-206	1.0
					聴覚と平衡覚の特徴や刺激の受容、感覚の伝導路を説明できる。	Ⅲ-2		
15	12/17	藤田	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚の種類と性質について理解する。	痛覚の特徴や刺激の受容、感覚の伝導路を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp206-220	1.0
					内臓感覚の特徴を説明できる。	Ⅲ-2		
					脊髄の上行路を説明できる。	Ⅲ-2		

歯科理工学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011106

後期：19コマ
評価責任者：都留寛治
都留寛治
丸田道人
担当教員：梶本 昇
佐藤 平

（一般目標）

歯科治療で使用する材料や器械の正しい選択と取扱いができるために、歯科材料の基本性質（物理的性質、化学的性質、生物学的性質）とその使用法に基づいて分類し、その組成、硬化反応、基本的な性質を理解し必要な特性を発現させるための基盤的知識を身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-21

（教育方法）

指定教科書の解説を中心に、補助学習のプリントの配布とe-Learningを行う。

【資源】

講義には教科書「スタンダード歯科理工学」および「歯科理工学サブテキスト」を持参すること。

（実習・演習）

（学習方法）

【予習方法】

授業前にスタンダード歯科理工学の該当箇所を通読し、理解できない語句を調べてノートにまとめておくこと。

【復習方法】

授業実施時に配布するプリントを用いて、スタンダード歯科理工学の該当箇所を復習する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：19.0 時間】

（評価）

【評価の割合】

定期試験による評価（100%）

【フィードバックの時期と方法】

フィードバックの時期：試験終了後

フィードバックの方法：試験結果に基づき、追加学習すべき項目を直接指導する。

*授業を欠席した場合は配布プリントを各自で受け取りに来ること。

（教科書）

新谷明一 他 監修『スタンダード歯科理工学第8版』：学建書院：2026

（参考書）

歯科理工学会編：歯科理工学教育用語集 第4版、医歯薬出版、2025。

（歯科理工学の専門用語を解説したもので、歯科理工学を学ぶ時の辞書として有用である。）

宮崎隆他編：臨床歯科理工学、医歯薬出版、2006。

（歯科における疾患別に利用される歯科材料が豊富なカラー写真や図とともに解説されており、臨床治療と歯科材料とも関わりが理解しやすい。）

日比野靖著：「歯科理工学サイドリーダー第6版、学建書院2008。

（歯科材料の特徴および物性を簡潔にまとめているので歯科材料全体の把握に便利である。後半部には演習形式の設問や歯科医師国家試験の過去問の解説があり知識の整理に役立つ。）

小倉英夫他編：コア歯科理工学、医歯薬出版、2008。

（臨床実習に必要な歯科理工学関連の知識について初学者を対象として多くの図表を用い平易に解説している。）

中村正明他編：目で見える歯科理工学、医歯薬出版、1992

（イラストを豊富に使用し、歯科臨床的視点からの記述が多いため、歯科臨床との関係を理解する一助となる。）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	都留	歯科治療と歯科材料	歯科治療と歯科材料を関係づける。	歯科治療と歯科材料を関係づける。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
2	9/10	[2回] 都留	歯科材料の基本的性質	歯科材料を材料の基本的性質（物理・化学・生物・光学）から理解するための基盤的知識を修得する。	歯科材料の種類と構造を理解できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	2] 1.0
3	9/17	[3回] 佐藤			歯科材料の物理的（力学的・機械的性質を含む）性質とその評価法を説明できる。	Ⅲ-21		3] 1.0
4	9/24				歯科材料の化学的性質とその評価法を説明できる。	Ⅲ-21		4] 1.0
					歯科材料の生物学的性質（生体活性、安全性）とその評価法を説明できる。	Ⅲ-21		
5	10/1	梶本	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	グラスアイオノマーセメントの分類を列挙できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
				グラスアイオノマーセメントの成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21			
				グラスアイオノマーセメントの硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21			
				グラスアイオノマーセメントの特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21			
6	10/15	梶本	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	コンポジットレジンの硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	6] 1.0
7	10/16				コンポジットレジンに求められる所用性質を説明できる。	Ⅲ-21		7] 1.0
8	10/22				コンポジットレジンの分類を列挙できる。	Ⅲ-21		8] 1.0
					コンポジットレジンの成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21		
					コンポジットレジンの特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		
9	10/29	梶本	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	歯科用アマルガムの成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
				歯科用アマルガムの硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21			
				歯科用アマルガムの安全性を説明できる。	Ⅲ-21			
10	10/30	丸田	鑄造操作の流れ	鑄造操作の流れを理解する。	鑄造に用いる歯科材料とその役割が説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
11	11/5	丸田	印象用材料	印象用材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	印象材に求められる所要性質を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	11] 1.0
12	11/6				印象材の分類を列挙できる。	Ⅲ-21		12] 1.0
					印象材の成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21		
					印象材の硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					印象材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		
13	11/12	都留	模型用材料	模型用材料を分類し、それぞれの組成・硬化反応を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	模型材に求められる所要性質を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	13] 1.0
14	11/19				模型材の分類を列挙できる。	Ⅲ-21		14] 1.0
					模型材の硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					模型材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
15	11/26	丸田	パターン材	パターン材を分類し、それぞれの組成・熱的性質を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	パターン材に求められる所要性質を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	15] 1.0
16	12/3				パターン材の分類を列挙できる。	Ⅲ-21		16] 1.0
					パターン材の成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21		
					パターン材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		
17	12/4	都留	埋没材	埋没材を分類し、それぞれの組成と硬化反応を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	埋没材に求められる所要性質を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	17] 1.0
18	12/10				埋没材の分類を列挙できる。	Ⅲ-21		18] 1.0
					埋没材の硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					埋没材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		
19	12/17	梶本	鋳造欠陥	それぞれの鋳造用材料の所用性質を発現させるための適切な鋳造操作を修得する。	鋳造操作が列挙できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
					鋳造欠陥とその防止法を説明できる。	Ⅲ-21		

介護施設体験実習【実習】

科目番号 OD011201

後期：15コマ

評価責任者：都築 尊（咬合修復学講座 有床義歯学分野）

都築 尊（咬合修復学講座 有床義歯学分野）

児玉 淳（生体構造学講座 機能構造学分野）

大城 希美子（口腔治療学講座 歯周病学分野）

内田 竜司（教育支援・教学 I R 室）

担当教員：古野 みはる（福岡医療短期大学 歯科衛生学科）
秋竹 純（福岡医療短期大学 歯科衛生学科）
岡田 賢司（介護老人保健施設 サンシャインシティ 施設長）
斎田 直樹（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 施設長）
村上 弘子（介護老人保健施設 サンシャインシティ 介護長）
横手 政代（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 介護長）
安井 みずえ（介護老人保健施設 サンシャインシティ 歯科衛生士）
黒松 幸絵（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 歯科衛生士）

（一般目標）

超高齢社会の今、高齢者医療や在宅医療の概要を知るとともに、現場で必要となるフィジカルアセスメントや高齢者の尊厳を尊重した態度を身につける。また、障害について知り、歯科医療を提供する際に必要となる知識・技能・態度を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-4, I-5, I-9, II-1, II-3, II-4, III-22, IV-12, IV-15, IV-17, V-1, V-2

（教育方法）

講義、グループワーク（小グループ討論、プレゼンテーション、全体討議）、その他のアクティブラーニング（シンク・ペア・シェア、ジグソー学習、協働型ケーススタディ）
（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（フィールドワーク）（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

予習：各回の予習項目を読み、実行する。

復習：実習後シラバス記載事項にもとづいて振り返りを行なう。

【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

授業受講態度。

提出物。

福岡歯科大学医科歯科総合病院サービスマナーマニュアルに準拠した身だしなみ、標準予防策に基づいた安心安全の行動規範、および要介護高齢者の尊厳を尊重した態度が身についているかを実習中に評価する。

上記の総合評価についてポータルサイトで掲示を行う。

（教科書）

特に指定しない

（参考書）

特に指定しない

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/25	都築・内田	ユニット1 介護・高齢者福祉	介護とは何かを知り、介護の現状を理解する。	介護とは何かを説明できる。 介護の現状について説明できる。	V-1 V-2	介護の現状について調べる。	1.0
2	9/25	都築・秋竹	ユニット2 要介護高齢者とのコミュニケーション概論	要介護高齢者の尊厳を尊重するコミュニケーションの技法を理解する	言語的コミュニケーションの特性を説明できる。	II-3	言語的コミュニケーションについて調べる。	1.0
3	9/25	都築・秋竹	ユニット2 要介護高齢者とのコミュニケーション概論	要介護高齢者の尊厳を尊重するコミュニケーションの技法を理解する	非言語的コミュニケーションの特性を説明できる。	II-3	非言語的コミュニケーションについて調べる。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
4	9/29	都築・内田	ユニット4 エチケット・マナー	医のプロフェッショナルリズムに基づいたエチケット・マナーを身につける。	服装・アクセサリーの持つ非言語的メッセージについて説明できる。 医療人としての適切な身だしなみを説明できる。 施設利用者に不安を与えない言語的・非言語的メッセージについて説明できる。	II-3 II-1 II-3	医療人としての適切な身だしなみについて考える。	1.0
5	9/29	都築・内田	ユニット5 感染予防策	感染対策について理解し、高齢者施設における感染制御の基本を身につける。	感染成立の3要因と感染対策について説明できる。 高齢者施設における感染制御について説明できる。 標準予防策について説明できる。 正しい手指消毒を実施できる。 正しい手洗いを実施できる。	IV-15 IV-15 IV-15 IV-15 IV-15	感染・感染予防について調べる。	1.0
6	9/29	都築・内田	ユニット7 介護施設体験	介護施設の概要を知る。	介護施設の概要を説明できる。 今回は見学できない介護施設との違いについて説明できる。 見学時に注視すべきことを列記できる。	V-1 V-2 V-2	介護施設について調べる。	1.0
7	10/6	都築・内田・大城	ユニット7 介護施設体験	介護施設を見学し、サービス内容や利用者像を理解するとともに、多職種連携の重要性を知る。	医療人としての適切な身だしなみで介護施設体験実習に参加する。	I-4	[7回] 施設見学にふさわしい適切な身だしなみで実習に臨む。 [8回] 施設見学時に必要な感染対策について考える。 [9回] 施設利用者に不安を与えない行動態度・言葉遣いについて考える。	7] 1.0 8] 1.0 9] 1.0
8	10/6				介護施設体験実習に適したマスクを正しく装着できる。	IV-15		
9	10/6				介護施設体験実習に適した个人防护具（PPE）を正しく着脱できる。	IV-15		
					介護施設体験実習に適した手指消毒を正しく実施できる。	IV-15		
					マスク・ガウンの安全な着脱方法を身につける。	IV-15		
					実習経験から学んだことを具体的に述べることができる。	V-2		
					介護施設のサービス内容を説明できる。	V-2		
					介護施設の利用者像を説明できる。	V-2		
					介護施設での多職種連携について説明できる。	IV-17		
					介護施設の感染予防対策について説明できる。	IV-15		
		ユニット8 介護施設体験実習の振り返り	介護施設における歯科医師の役割を説明できる。	介護施設における歯科医師の役割を説明できる。	I-5	I-5 I-9		
				多職種連携における歯科医師の役割を説明できる。	IV-17			
				介護施設における歯科医師の役割を説明できる。	I-5			
				今後、プロフェッショナルな歯科医師となるために学ばなければならないことを記述できる。	I-9			

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
10	11/17	都築・古野	ユニット3 認知症	認知症について理解し、認知症患者との関わり方を身につける。	認知症の病態、診断、治療について説明できる。 認知症患者や家族との接し方について説明できる。	Ⅲ-22 Ⅱ-4	認知症患者が安心して暮らすことができるのはどのような地域なのか、考える。	1.0
11	11/17	都築・古野	ユニット3 認知症	認知症介護を主題とした視覚教材を見て、認知症についての理解を深める。	認知症の病状進行について説明できる。 認知症患者や家族との接し方について説明できる。	Ⅲ-22 Ⅱ-4	認知症患者と家族との関わりについて考える。	1.0
12	11/17	都築・内田	ユニット6 障害について	障害について理解し、障害のある患者に歯科医療を提供する方法を身につける。	障害について説明できる。 身体障害について説明できる。	Ⅳ-12 Ⅳ-12	障害について調べる。	1.0
13 14	12/1 12/1	都築・内田・大城	ユニット6 障害について	車椅子の構造を理解し、車椅子の基本的操作、移乗・移動介助を身につける。	車椅子の構造を説明できる。 車椅子の基本的な操作を実施できる。 車椅子の移乗・移動の介助が実施できる。	Ⅳ-12 Ⅳ-12 Ⅳ-12	[13回] 車椅子について調べる。 [14回] 色々な障害をもつ患者が歯科治療を受ける場面を想像し、どんな留意点があるか、考える。	[13] 1.0 [14] 1.0
15	12/1	都築・内田・大城	ユニット6 障害について	実習経験から学んだことを具体的に述べることができる。	障害者の歯科治療時の心理状態を感じる。 障害者に対する歯科治療時の配慮を実施できる。	Ⅱ-4 Ⅱ-4	これまでに学んだことを反芻する。	1.0

ドイツ語Ⅰ 【講義】

科目番号 OD012005

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、岡島勇太

担当教員：池田奈央

（一般目標）

ドイツ語は語彙や文法の点で英語と似た点があり、不定詞句という文章の基本の形においてその語順には日本語と似た部分がある。その一方で、当然のことながら名詞に性があったり人称変化したりするなど、両言語と異なる部分も多々ある。この類似点や相違点を知ることは、これまで身に付けてきた英語や日本語に新たな光を当てる機会となる。本授業では、ドイツ語の文法を学ぶことは当然として、この学習を通して言語を学ぶことについて新たな視点や気づきを得ることを目標とする。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

VI-1

（教育方法）

教科書を補助的に用い、ドイツ語の文法を学んでいく。ドイツ語の発音に関しては、ドイツ語の詩や歌、動画などを教材とする。また、ドイツ語の語彙の暗記より、都度辞書を引くことを推奨する。ドイツ語の文章を正しく発音できるようになることと、辞書があれば簡単な文章が訳せるようになることを最終的な目標とする。授業で学んだことが身になるように定期的に小テストを実施する。小テスト・定期試験時、教科書や配布プリント、文法書などの持ち込みは不可だが、辞書のみ持ち込みを許可する（プレゼンテーション）

（学習方法）

主に教員の用意した練習問題を解く。授業中は独和辞典を使うので、必ず持参すること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

授業中の小テスト、中間テスト、定期テストの総合点で成績を評価する。定期試験の範囲は後学期学習全範囲とする。出席点は成績に含まれない。授業内容の復習のために授業中、練習課題を与える。授業時間内に終わらなかったときは宿題となる。授業中に長時間席を外したときは出席を取り消す。授業態度は成績につけないが、他の学生の迷惑になる行為があった際は教室からの退室を求め、その日の出席を取り消す場合がある

（教科書）

＜必ず購入＞根本道也編『ドイツってどんな国？』、同学社

＜必ず購入＞根本道也、他編著、『アポロン独和辞典』第4版、同学社

（参考書）

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/7	池田	オリエンテーション、アルファベットの発音練習	ドイツ語の発音の基本を学ぶ。	アルファベットの読み方、ウムラウトについて学ぶ。	VI-1	都度指示する	1.0
2	9/28	池田	発音規則、詩・歌の朗読	ドイツ語の発音・リズムに触れる。	発音規則を学び、単語、文章、詩などを抑揚やアクセントに意識しながら声に出して読む。	VI-1	都度指示する	1.0
3	9/28	池田	定冠詞と不定冠詞	定冠詞と不定冠詞の違い、格変化を学ぶ。	文章中にある名詞を見て、何格かわかるようになる。	VI-1	都度指示する	1.0
4	10/5	池田	名詞の性・数・格、人称代名詞	名詞の性、数、格による変化、人称代名詞の種類と格変化を学ぶ。	名詞の性、数、格が何を意味するのか、とりわけ格について学ぶ。	VI-1	都度指示する	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
5	10/5	池田	名詞の性・数・格、人称代名詞	名詞の性、数、格による変化、人称代名詞の種類と格変化を学ぶ。	名詞の性、数、格が何を意味するのか、とりわけ格について学ぶ。	VI-1	都度指示する	1.0
6	10/19	池田	不定詞、動詞の人称変化	基本的な動詞の形である不定詞と、人称によって動詞がどう変化するのか学ぶ。	不定詞句を定形第二位の形にする。その際に人称変化させることで動詞の現在形の人称変化を身に付ける。	VI-1	都度指示する	1.0
7	10/19	池田	ドイツ語の語順	ドイツ語の語順の法則、文章の構成要素の優先順位について学ぶ。	語順の法則をもとに、与えられた分の構成要素を並び替えて不定詞句を作る練習をこなす。さらにその不定詞句を定形第二位の形にできるようにもする。	VI-1	都度指示する	1.0
8	10/26	池田	ドイツ語の語順	ドイツ語の語順の法則、文章の構成要素の優先順位について学ぶ。	語順の法則をもとに、与えられた分の構成要素を並び替えて不定詞句を作る練習をこなす。さらにその不定詞句を定形第二位の形にできるようにもする。	VI-1	都度指示する	1.0
9	10/26	池田	中間復習	独和辞書を用いて、課題を解く。	主にドイツ語の文章を和文へと翻訳する。その際、いかに独和辞書を使いこなしているか、文法が身についているかを見る。	VI-1	ここまでの内容	1.0
10	11/2	池田	定冠詞類と不定冠詞類	定冠詞類と不定冠詞類の種類、格変化を学ぶ。	文章中にある名詞を見て、何格かわかるようになる。	VI-1	都度指示する	1.0
11	11/9	池田	不定代名詞と指示代名詞	不定代名詞と指示代名詞の種類、格変化を学ぶ。	文中の形から何格かわかるようになる。	VI-1	都度指示する	1.0
12	11/16	池田	疑問文	疑問詞の種類、疑問文の種類、語順を学ぶ。	疑問文の語順について学んだ後、不定詞句から疑問文の形に変化させられるようになる。その際、決定疑問文と補足疑問文の両方に変化させられるようにする。	VI-1	都度指示する	1.0
13	11/30	池田	疑問文	疑問詞の種類、疑問文の種類、語順を学ぶ。	疑問文の語順について学んだ後、不定詞句から疑問文の形に変化させられるようになる。その際、決定疑問文と補足疑問文の両方に変化させられるようにする。	VI-1	都度指示する	1.0
14	12/7	池田	否定	否定詞の種類、用法を学ぶ。	不定詞の形で肯定文を否定文にすることで、否定詞をどこに配置するべきか、ドイツ語の語順と絡めて否定文について学習する。	VI-1	都度指示する	1.0
15	12/14	池田	総括	独和辞書を用いて、課題を解く。	主にドイツ語の文章を和文へと翻訳する。その際、いかに独和辞書を使いこなしているか、文法が身についているかを見る。（定期試験に備えた課題をこなす）	VI-1	これまでの総括	1.0

中国語Ⅰ 【講義】

科目番号 OD012006

前期：15コマ

評価責任者： 学生部長、岡島勇太

担当教員： 矢羽田朋子

（一般目標）

①本授業では、初めて学ぶ学生を対象にして中国語の入門程度の文法を指定の教科書を用いて学んでいきます。発音の基礎からスタートし、基本的な文法の学習を通じて、簡単な「聞く・話す・読む・書く」というコミュニケーションが出来るレベルの中国語能力を身につけることを目標とします。②現代はグローバル化の時代で、多文化共生の時代でもあります。異文化間のコミュニケーションというのは、言葉だけでは成立しません。相手の文化についても知ろうとする必要があります。本授業では中国語だけではなく、中国人の生活習慣や考え方、中国文化等についても理解を深めることが出来るよう視聴覚教材等も取り入れていきたいと考えています。本授業をきっかけにして、中国に対して興味を持ってもらえればと思います

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

VI-1

（教育方法）

指定の教科書を中心に講義を進めます。また視聴覚教材等を用いて、置換練習や短い会話文の音読、練習問題に取り組み、「聞く・話す・読む・書く」に加えて「訳す」といった能力を着実に身につけていきます。また実力を測る為に、定期試験の他、適宜小テストを行います。（実習・演習が含まれます。）
（グループワーク）（実習・演習）

（学習方法）

授業前の学習としては、単元ごとに設けられている単語や文法のポイントを確認しておくことが望ましいです。使用する教科書には音声ダウンロードサービス（無料）がありますので、是非活用してください。授業後の学習としては、課文を暗唱できるぐらいまで繰り返し読むことにより、学習内容を定着させることが望ましいです。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評 価）

定期試験50%、課題及び小テスト50%で評価します。出席は評価点に含まれませんが、無断欠席した回の小テストは0点評価にします。（※欠欠は配慮します。）授業に対して積極的に参加する姿勢を求めます。総合評価はポータルサイトに掲示します。

（教 科 書）

福田翔・張正『半期で学ぶ入門中国語』金星堂

（参 考 書）

授業の中で適宜紹介します。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/7	矢羽田	ガイダンス・中国及び中国語の基礎的な話	①中国について知る。②中国語の基礎的な内容を学習する。	①中国語学習のポイント（予習・復習の仕方）について理解し、学習計画を立てる。②中国語の発音方法や表記方法についてグループワークで学習する。	VI-1	特になし	1.0
2	9/28	矢羽田	第1課 単母音・声調（四声）・軽声	①中国語の発音方法の特徴を理解する。②基本的な挨拶表現を覚える。	①中国語の発音方法や表記方法についてグループワークで学習する。②基本的な挨拶ができるようになる。	VI-1	10～11頁	1.0
3	10/28	矢羽田	第2課 複母音・子音①	①中国語の複母音と子音①の特徴を理解する。②人称代名詞と親族の言い方を覚える。	①中国語の母音を発音出来るようになる。②家族名称を理解する。	VI-1	12～13頁	1.0
4	10/5	矢羽田	第3課 子音② 鼻母音	①子音②と鼻母音の特徴を理解する。②指示代名詞の言い方を覚える。	①中国語の子音を発音できるようになる。②基本的な指示代名詞を発音出来るようになる。	VI-1	14～15頁	1.0
5	10/5	矢羽田	第4課 r化・変調	①r化・変調の特徴を理解する。②1～100までの数字と曜日の言い方を覚える。	①イレギュラーな発音方法を理解する。②数字を使った簡単な表現を言えるようになる。	VI-1	16～17頁	1.0
6	10/19	矢羽田	ミニテスト①	①中国語の発音表記の仕組みを理解する。②簡単な挨拶や基本的な人称代名詞を覚える。	①今まで学習した内容を定着させる。	VI-1	10～17頁	1.0
7	10/19	矢羽田	第5課 プロフィールを伝えよう！①、②	①動詞の「是」の用法を理解する。②「的」の用法を理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、練習問題を解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	20～21頁	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
8	10/26	矢羽田	第5課 プロフィールを伝えよう！② 第6課 どこへ行く？何を食べる？①	①家族について、たずねて答えられるようになる。②学部をたずねて、答えられるようになる。③動詞述語文・疑問視疑問文を理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、練習問題を解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	18～21頁、24～25頁	1.0
9	10/26	矢羽田	第6課 どこへ行く？何を食べる？②	①どこへ行くかたずねて、答えられるようになる。②何を食べるかたずねて、答えられるようになる。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、練習問題を解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	22～25頁	1.0
10	11/2	矢羽田	第7課 中国語を学ぼう！①	①形容詞述語文を理解する。②願望の表現を理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、練習問題を解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	28頁～29頁	1.0
11	11/9	矢羽田	第7課 中国語を学ぼう！② 第8課 行き先を伝えよう！①	①感想をたずねて、答えられるようになる。②学びたい科目についてたずねて、答えられるようになる。③連動文を理解する。④始点と終点「～から～まで」の表現を理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、練習問題を解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	26～29頁、32～33頁	1.0
12	11/16	矢羽田	第8課 行き先を伝えよう！ ② 第9課 旅行の予定を話そう！①	①どこに行つて何をするかたずねて、答えられるようになる。②どれくらい時間がかかるかたずねて、答えられるようになる。③経験の表現を理解する。④比較文を理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、練習問題を解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	30～33頁、36～37頁	1.0
13	11/30	矢羽田	第9課 旅行の予定を話そう！②	①経験についてたずねて、答えられるようになる。②料理の味についてたずねて、答えられるようになる。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、練習問題を解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	34～37頁	1.0
14	12/7	矢羽田	確認テスト③	基本的な中国語を理解し、相手の質問に答えることができるだけでなく、自分自身について話せるか確認する。	基本的な中国語を理解し、相手の質問に答えることができるだけでなく、自分自身について話せるようになる。	VI-1	10～37頁	1.0
15	12/14	矢羽田	総復習	今まで学習した内容を総復習する	①グループであいさつ表現やフレーズの発音練習を行う。②教科書の質問文を使ってペアで会話練習をする。③練習問題で実力をはかる。	VI-1	10～37頁	1.0

論理学・日本語表現法【講義】

科目番号 OD012003

後期：15コマ

評価責任者：永嶋哲也

担当教員：永嶋哲也

（一般目標）

さまざまな情報に対して批判的に思考する科学的態度がとれるようになるために、文章を論理的に読み取る練習問題を解くことで、論理的な思考と論理的な表現を身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-7, I-8, I-9, II-3

（教育方法）

教科書に沿って板書による説明がなされる。練習問題を解き、答え合わせをする。
基本的に内容が知識の積み上げ式であるため、欠席せずにならず毎回出席すること。
（実習・演習）

（学習方法）

授業中に、集中して説明を聞き、指示に従い教科書の記述を読み、練習問題を解く。授業の進度が速すぎると感じる場合は授業前にテキスト該当箇所を読み予習しておく。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

出席、授業態度などの平常点（20%）、ノート提出による達成度評価（30%）、学期末レポート（50%）などを総合評価する。
提出をしたノートには、コメント（フィードバック）を記し、次の講義時に返却する。

（教科書）

野矢茂樹『新版 論理トレーニング』（哲学教科書シリーズ）、産業図書、2006
日常言語を用いた非形式論理学について練習問題を中心に編まれた国内唯一の教科書であることが、選定理由である。

（参考書）

野矢茂樹『論理学』東京大学出版会、1994
野矢茂樹『論理トレーニング101題』産業図書、2001
グレアム・ブリスト『論理学』岩波新書、2008

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	永嶋哲也	ユニット1 概説	論理とは何かを理解する	演繹と論理の関係を説明する	I-9	教科書1-13頁を読んでおく。	0.5
2	9/10	永嶋哲也	ユニット2 接続	論理的な接続について理解する	文と文の接続関係をとらえる	II-3	教科書15-26頁を読んでおく。	1.0
3	9/17	永嶋哲也	ユニット2 接続	論理的な接続について理解する	議論の大枠をとらえる	I-7	教科書43-50頁を読んでおく。	1.0
4	9/24	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	議論の構造をとらえる	I-7	教科書55-60頁を読んでおく。	1.5
5	10/1	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	論証の構造を図で表す	I-7	教科書55-60頁を読んでおく。	0.5
6	10/15	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	論証を評価する	I-8	教科書61-67頁を読んでおく。	1.0
7	10/22	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	推測を演繹と区別する	I-7	教科書71-74頁を読んでおく。	1.0
8	10/29	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	価値評価の論証構造を説明する	I-7	教科書87-92頁を読んでおく。	1.0
9	11/5	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	価値評価の適切さを判断する	I-8	教科書92-95頁を読んでおく。	1.5
10	11/12	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	否定と反対を説明する	I-7	教科書101-105頁を読んでおく。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
11	11/19	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	連言・選言と量化を説明する	I-7	教科書105-112頁を読んでおく。	1.0
12	11/26	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	両立可能・不可能を説明する	I-7	教科書105-112頁を読んでおく。	1.0
13	12/3	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	逆、裏、対偶を説明する	I-7	教科書117-121頁を読んでおく。	1.0
14	12/10	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	条件文を組み合わせて結論を導き出す	I-8	教科書122-123頁を読んでおく。	1.5
15	12/17	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	全称文の三段論法を使いこなす	I-8	教科書124-27頁を読んでおく。	0.5

心理学入門 【講義】

科目番号 0D012004

後期：15コマ

評価責任者：学生部長

担当教員：本田 賢介

（一般目標）

歯科医師として、豊かな教養と人間性を備えるとともに、人の心の仕組みやストレス等を理解して、様々な患者との幅広いコミュニケーションを図り、対人関係能力を身につけた治療を行使するため、心理学の基礎知識を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-16

（教育方法）

教科書に基づいたパワーポイントによる説明・解説を行う。また、学生には資料を配布し、適宜記入をしてもらう。授業の最後には感想を書いてもらう。

併せて、小レポートを実施し、学修成果を確認する。

（その他AL）

（学習方法）

授業には、指定教科書を持参すること。下記、予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。

授業中は、配布されたプリントを完成させ、授業後は、学修した内容の振り返りや自分なりの理解をまとめること（事後学修・復習）。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評価）

レポート：50% 平常評価（小レポート等）：20% 受講態度：30%

総合評価をポータルサイトに掲示する

（教科書）

『歯科衛生学シリーズ 心理学』医歯薬出版 2023

（参考書）

齊藤勇編『図説心理学入門 第2版』誠信書房

東畑開人著『心はどこへ消えた？』文藝春秋

東畑開人著『カウンセリングとは何か 変化するという事』講談社現代新書

東畑開人著『雨の日の心理学』KADOKAWA

立木康介編著『精神分析の名著』中公新書

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	本田	オリエンテーション ユニット1：心理学の歩みと研究方法 講義	心理学の歴史と研究方法について理解する 1) 心理学の歴史を学ぶ 2) 心理学の研究法を学ぶ 4) 心理学で用いられる統計法について学ぶ	1) 心理学の流れを説明することができる 2) 心理学実験におけるデータ収集の方法を説明することができる 3) 集めたデータの結果の分析方法について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP199-208を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
2	9/10	本田	ユニット2：見る・聞く・感じる 講義	知覚について理解する 1) 知覚の成立を学ぶ 2) 知覚の特徴を学ぶ 3) 知覚への影響要因を学ぶ	1) 知覚の成立について説明することができる 2) 知覚の特徴を説明することができる 3) 知覚への影響要因を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP1-14を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
3	9/17	本田	ユニット3：学ぶ・覚える 講義	学習や記憶について理解する 1) ヒトの学習プロセスを学ぶ 2) 記憶のメカニズムを学ぶ 3) 記憶の病理や歪みを学ぶ	1) 学習がどのように成立しているかを説明することができる 2) 記憶のメカニズムを説明することができる 3) 忘却や記憶の歪みについて説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP15-26を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
4	9/24	本田	ユニット4：やる気の心理 講義	動機づけについて理解する 1) 動機づけの機能と種類を学ぶ 2) 欲求を学ぶ	1) 動機づけの機能や種類を説明することができる 2) 欲求の種類と特徴を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP27-37を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
5	10/1	本田	ユニット5：喜怒哀楽のこころ 講義	情動について理解する 1) 感情の理論とメカニズムを学ぶ 2) フラストレーションと防衛機制を学ぶ 3) ストレスとその対処法を学ぶ	1) 感情の種類とメカニズムを説明することができる 2) フラストレーションとどのようにしてフラストレーションに対処するかを説明することができる 3) ストレスに対処することができる	Ⅲ-16	教科書のP39-52を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	10/15	本田	ユニット6：パーソナリティ講義	パーソナリティについて理解する 1) パーソナリティの概念を学ぶ 2) パーソナリティの調べ方を学ぶ 3) パーソナリティに関わる障害を学ぶ	1) これまで提唱されてきたパーソナリティの概念を説明することができる 2) パーソナリティについて調べることができる 3) パーソナリティに関わる障害を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP53-66を精読する。またわからない単語があれば調べておく。	1.0
7	10/22	本田	ユニット7：かしこさの心理講義	知能について理解する 1) 知能とその構造について学ぶ 2) 知能の測定方法を学ぶ 3) 知的能力障害を学ぶ	1) 知能とはどういうもので、どういう構造になっているかを説明することができる 2) 知能の測定方法を説明することができる 3) 知的能力障害の症状や診断基準を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP67-80を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
8	10/29	本田	ユニット8：考えるところ 講義	考えるというについて理解する 1) 考えるとはどういうことかを学ぶ 2) 問題解決方法について学ぶ 3) 創造する過程とその方法を学ぶ	1) 考えるとはどういうことかを説明することができる 2) 問題解決法について説明することができる 3) 創造する過程とその方法について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP82-92を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
9	11/5	本田	ユニット9：発達するところ (1) 講義	乳児期～児童期の特徴について理解する 1) 発達に影響する要因を学ぶ 2) 各発達段階の発達課題について学ぶ 3) 各発達段階の特徴を学ぶ	1) 発達に影響する要因を説明することができる 2) 発達課題についての理論を説明することができる 3) 各発達段階の特徴を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP93-110を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
10	11/12	本田	ユニット10：発達するところ (2) 講義	青年期～高齢期の特徴について理解する 1) 青年期の特徴を学ぶ 2) 成人期の特徴を学ぶ 3) 高齢期の特徴を学ぶ	1) 青年期の特徴を説明することができる 2) 成人期の特徴を説明することができる 3) 高齢期の特徴を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP111-124を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
11	11/19	本田	ユニット11：人と関わるところ 講義	対人関係に関わる理論について理解する 1) 他者の特徴の捉え方と印象形成についてを学ぶ 2) ヒトの行動帰属について学ぶ 3) 他者を好きになる要因を学ぶ	1) 他者の特徴をどのように捉えて、印象を形成しているかを説明することができる 2) ヒトが自他の行動をどのように帰属しているかを説明することができる 3) 他者を好きになる要因について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP125-134を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
12	11/26	本田	ユニット12：健康なところ 講義	メンタルヘルスに関わる事柄について理解する 1) 心の健康、その測定法を学ぶ 2) 心の健康を保つことの役割について学ぶ 3) 様々な心理療法を学ぶ	1) 心の健康とその測定方法について説明することができる 2) 心の健康を保つことの意義を説明することができる 3) 代表的な心理療法について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP149-164を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
13	12/3	本田	ユニット13：人と集うところ 講義	集団心理に関わる理論について理解する 1) 集団の特徴を学ぶ 2) リーダーシップについて学ぶ 3) 集団がヒトの行動に及ぼす影響について学ぶ	1) 集団の特徴にはどのようなものがあるかを説明することができる 2) リーダーシップとそれに関わる理論を説明することができる 3) 集団がヒトの行動に及ぼす影響についてどのようなものがあるのかを説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP135-148を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
14	12/10	本田	ユニット14：映画でみる心理学 講義	映画作品を視聴し、登場人物の行動や発達過程、心理学理論に基づいて理解する	1) これまでに学んだ心理学の理論を自ら見出し、関連づけて説明できる 2) 心理学的視点（発達・対人・認知）を用いて考察できる 3) 人間理解の枠組みとして心理学理論を活用できる	Ⅲ-16	教科書およびこれまで配付されたプリントを精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
15	12/17	本田	ユニット15：カウンセリングの場所・まとめ 講義	カウンセリングについて理解する 1) 歯科医療に関わるカウンセリングのホスピタリティを学ぶ 2) カウンセリングマインドを学ぶ 3) 具体的な心理的援助について学ぶ これまで学んできた内容を振り返り理解を深める	1) 歯科医療に関わるカウンセリングのホスピタリティを説明することができる 2) クライアント中心療法の考え方や技法を説明することができる 3) 歯科医療における心理的支援の意義について説明することができる 4) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義を説明することができる 5) 他者と円滑なコミュニケーションをとるための技法について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP165-182を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。教科書およびこれまで配付されたプリントを精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0

成績評価方法、GPA（Grade Point Average）の活用について

GPA（Grade Point Average）

各授業科目の評点を5段階評価し（A・B・C・C-・D）、それを4から0の点数（GP: Grade Point）に置き換えて、その点数と単位数を掛け、その総和（GPT: Grade Point Total）を履修単位数の合計で割った平均点

評点	評語	Grade Point (GP)
100点～80点	A	4
79点～70点	B	3
69点～60点	C	2
再試60点	C-	1
59点～0点	D	0

GPAの算出方法

$$\text{GPA} = \text{GPT} \div \text{履修単位数の合計}$$

(GPT = [GP × 単位数] の総和)

実際の計算例

科目名	単位数 (a)	評点	評語	GP(b)	(a × b)
〇〇学講義	1	86	A	4	4
〇〇学講義	2	再試60	C-	1	2
〇〇学演習	2	60	C	2	4
〇〇学実習	3	72	B	3	9
計	8 ^{*1}				19 ^{*2}

$$\text{GPA} = 19(\text{GPT}^{*2}) \div 8 (\text{単位数の合計}^{*1}) = 2.38 \quad (\text{小数第3位四捨五入})$$

対象教科

原則として、進級あるいは卒業により認定された全ての授業科目を対象とする。

ただし、次の授業科目や修得単位等は計算に含めない。

- 1) 基礎教養科目で必要単位数を超えて取得した科目
- 2) 編入学または転入学した際の単位認定科目
- 3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- 4) その他教授会で認めた GPA 算出除外科目

GPAの活用目的

- 1) 学生の個別の学習指導に活用

前年度 GPA が2.00未満の学生は、進級するのにかなりの努力が必要な状況にあります。

- 2) 特待生等の選考の参考資料に活用

授 業 要 綱

編集
発行 福岡歯科大学

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
電話 092 (801) 0447番
Fax 092 (801) 0427番